はじめに

このたびは、「SoftBank X04HT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

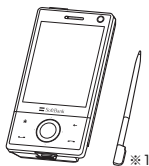
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいた後は、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先 (P.17-24) までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

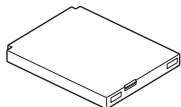
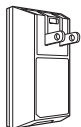
SoftBank X04HTは、3G方式とGSM方式に対応しております。

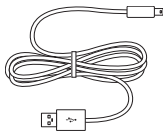
ご注意

- 本書の内容について
  - 一部でも無断転載することは禁止されております。
  - 将来、予告無しに変更することがございます。
  - 万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。
- X04HTの内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果について、当社はいかなる保証もいたしかねます。なお、ソフトウェアのご使用に際して、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは必ずその使用条件をご確認ください。
- 機種変更や解約した場合、USIMが挿入されていない場合、または不正なUSIMが挿入されている場合、PIM機能を含むすべての機能を使用することはできませんのでご注意ください。

お買い上げ品の確認

■X04HT本体

※1 本体に付属しています。

■電池パック（HTBAD1）

■ACアダプタ（HTCAD1）

■USBケーブル（HTDAD1）

■マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル（HTLAC1）

■取扱説明書（1部）

■らくらくスタートブック（1部）

■お使いになる前にディスク（試供品）※2

■アプリケーションCD（試供品）

■スタイラス（2本）

■キャリングケース（試供品）

■ディスプレイ保護シート（試供品）

※2 付属の「お使いになる前にディスク」は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、「お使いになる前にディスク」に収録されているソフトウェアの最新版のダウンロードについては、当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」よりご確認いただけます。

補足

- 付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

目次

1 ご利用になる前に

2 電話機能の使いかた

3 文字入力

4 連絡先／PIM機能

5 メール

6 インターネット

7 情報／データの同期

8 オフィスアプリケーション

9 外部接続／通信

10 データ管理

11 カメラ

12 エンタテイメント

13 セキュリティ

14 設定と管理

15 HTCホーム

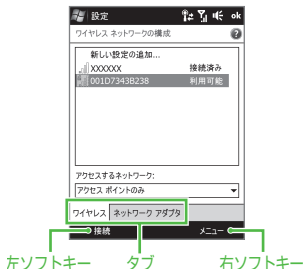
16 その他の機能

17 付録

本書の見かた

操作手順の表記について

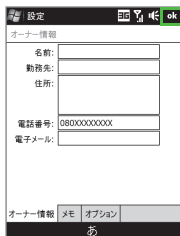
■ソフトキー／タブ名の表記

以下の例のようにソフトキーおよびタブ名は色分けして示しています。

例：右ソフトキー「メニュー」をタップする場合

1. メニュー ＞ … ＞ …

例：タブ「ネットワークアダプタ」をタップする場合

1. ネットワークアダプタタブ ＞ … ＞ …

また、画面下部に「OK」や「完了」など、設定や操作を終了するソフトキーが表示されない場合は、画面右上の「ok」をタップすると、設定や操作を終了することができます。

例：オーナー情報を登録する場合

1. スタート ＞ 設定 ＞ オーナー情報
2. 各項目を入力 ＞ ok

■項目選択

以下の例のように選択するメニュー名や項目名などは色分けして示しています。

例：1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事 ＞ 対象の仕事を選択

特に説明がない場合は、ホーム画面（P.1-11）からの操作手順を記載しています。

詳細な操作手順を記載しています。

■反転表示

以下の例のようにナビゲーションコントロールの上下左右を押して対象の項目にカーソルを合わせる場合は、「反転表示」と表記しています。

例：2. 対象の連絡先を反転表示

■ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。

例：1. 通話が終了したら終了ボタン（━）または通話を終了

- 以降、本書において「SoftBank X04HT」は「本機」と記載させていただきます。
- 本書に記載されている画面表示はあくまで例であり、実際とは異なる場合があります。

安全に関するご注意

- ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 以降で説明する注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。よくお読みのうえ、記載内容を必ず厳守してください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

本書では次のような絵表示をしています。内容をご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」内容を示しています。
⚠警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物損を伴う可能性がある」内容を示しています。

■絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示しています。
	指示に基づく行為の強制（しなければならないこと）を示しています。
	気を付ける必要があることを示しています。

⚠危険

■本機、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて（共通）

本機に使用する電池パックおよび充電器は、指定のオプション品のみを使用する

指定のオプション品以外のものを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火などによって、本機や電池パック、その他の機器の故障の原因となります。指定のオプション品については、お問い合わせください（P.17-24）。

分解や改造をしない

本機および充電器、電池パックの本体は、絶対に分解や改造をしないでください。けがや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口（P.17-24）にご依頼ください。

水にぬらさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やけがの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。

■電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオンポリマー電池

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守る

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷・変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。

火の中に投下しない

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

高温になる場所で使用したり放置したりしない

火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。本機の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、電池カバーの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。

端子に針金などの金属類を接触させたり、端子どうしを接続したりしない

充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやけがの原因となります。

電池パック内部の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける

そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

⚠警告

■本機、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて（共通）

水などの入った容器を近くに置かない

本機や充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。液体がこぼれて本機にかかったり、液体が本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックや本機、充電器、USIMカードを入れない

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、および本機や充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。

USIMカードを乳幼児の手の届かない場所に保管する

乳幼児が飲み込んだりする事故の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない

ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にソフトバンク携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

本機や充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。万一、本機や充電器を落とすなどして破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口（P.17-24）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に異物などが入ったときは

本機の電源を切って電池パックを取り外した後、ACアダプタはACプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器（オプション品）はプラグをシガーライターソケットから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口（P.17-24）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. 電池パックを本機から取り外してください。
4. ソフトバンクの故障受付窓口（P.17-24）に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。

■本機の取り扱いについて

車の運転中に使用しない

運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、本機もこれに該当します。また、付属のマイク付ステレオイヤホン変換ケーブルをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。交通事故の原因となります。

歩行中の使用

歩行中の使用は注意力が散漫になるため周囲にはご注意ください。特に、横断歩道や踏切などでは十分に気を付けてください。

車のダッシュボードの上など、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所に本機を置かない

エアバックが開いたとき、本機がご本人や同乗者に当たる恐れがあり、けがや事故、および故障や破損の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切る

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電子機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

航空機内では、本機の電源を切る

電波の影響で、航空機に搭載されている電子精密機器誤動作の原因、および安全運行に支障をきたす恐れがあります。航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機をフライトモードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、航空機内での使用は法律で禁止されており、罰則の対象となりますので、ご使用については乗務員にご確認ください。

心臓の弱い方は、着信音量やバイブレータ（振動）の設定に気を付ける

大きすぎる着信音や突然の振動は、心臓に悪影響を及ぼす可能性があります。

屋外で使用中、雷が鳴り出したら、直ちに本機の電源を切って安全な場所に移動する

落雷や感電の恐れがあります。

■充電器の取り扱いについて

市販の「変圧器」は使用しない

ACアダプタを、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により火災の原因となります。

コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない

端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。

充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしない

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したらACアダプタには触れない

落雷・感電の原因となります。

指定以外の電源、電圧で使用しない

指定範囲外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。
ACアダプタ：AC100～240V
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V／24V

シガーライター充電器（オプション品）はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、クレイドルの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込む

感電・ショート・火災などの原因となります。

	ACアダプタのコードやシガーライター充電器（オプション品）のコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など） 直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	事故防止のために、シガーライター充電器（オプション品）は、運転に支障がない位置に取り付ける 取り付けが不十分な場合、本機が落下して、けがや事故の原因となります。
	プラグにほこりがついたときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでふき取る 火災の原因となります。

■電池パックの取り扱いについて

	所定の充電時間（P.17-22）を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する 電池パックが漏液・発熱・破壊・発火する原因となります。
	電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける 漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破裂の原因となります。
	電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す 皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。
	電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱や変色・変形など、今までとは異なる状態に気づいたときには、使用を中止して本機から取り外す そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

■スタイラスの取り扱いについて

	スタイラスを人に向けて使用しない ご本人や他の方に先端部分が当たり、けがや失明の原因となります。
	スタイラスを付属の機器以外で使用しない 使用した機器の誤動作・故障・破損の原因となります。
	X04HTに使用するスタイラスは、本体に付属しているものを使用する 指定品以外のものを使用した場合、ディスプレイを破損・汚濁させる原因となります。
	スタイラスの取り外し／収納について 手や指を傷つける場合がありますので、ご注意ください。

■医療電気機器の近くでのご使用上の注意

「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準じた内容について記載しています。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部から本機を22cm以上離して携行および使用する 本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	満員電車の中などの混雑した場所で、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がある場所では本機の電源を切る 本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
	医療機関の屋内では次のことを守る ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）の中には、本機を持ち込まない。 ・病棟内では本機の電源を切る。 ・ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、本機の電源を切る。 ・医療機関内で、使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。
	自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元に確認する 本機から発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

⚠注意

■本機、電池パック、充電器、USIMカード、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル、USBケーブルの取り扱いについて（共通）

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所には置かない

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない

故障の原因となります。

冷気が直接吹きつける場所に長時間放置しない

露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

極端に寒い場所に長時間放置しない

故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい場所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 磁気カードなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。

お子さまが本機を使用する場合は、保護者から取り扱いの内容を教える

使用中においても、指示どおりに使用しているかどうかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■本機の取り扱いについて

本機の温度（発熱）について

充電、動画の撮影・再生の最中や、長時間連続で使用した場合、本機の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れているとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。本機を充電器に接続した状態で長時間連続使用する場合には特にご注意ください。

音量設定については十分気を付ける

思わぬ大音量により耳に悪影響を及ぼす場合があります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

スピーカーフォンがオンになっているときは、必ず本機を耳から離す

スピーカーフォンは、本機を耳から離しても十分聞こえる音量になっています。耳を近づけていると音量が大きすぎるため、耳に悪影響を及ぼす場合があります。

自動車内で本機を使用したとき、車載電子機器に影響を与える場合は使用しない

車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあり、安全を損なう恐れがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さない

ご本人や周囲の方に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障の原因となります。

お客様の体質や体調によって、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異状が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
本体キャビネット（上部）	ステンレススチール	該当なし
カメラプレート	アルミ	ヘアライン
スタイラス	POM／ステンレススチール	クロムメッキ仕上げ
電池パック端子	銅	ニッケルメッキ仕上げ
ミニUSB端子	ステンレススチール／つや消し錫	該当なし
ネジ	鉄	銅メッキ、ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
マイク付ステレオイヤホン変換ケーブル（ミニUSBプラグ）	鉄	錫メッキ仕上げ
ACアダプタ（ACプラグ）	銅	ニッケルメッキ仕上げ
USBケーブル（USBプラグ、ミニUSBプラグ）	鉄	ニッケルメッキ仕上げ

■充電器の取り扱いについて

ACアダプタのコードやシガーライター充電器（オプション品）のコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

ACアダプタのコードやシガーライター充電器（オプション品）のコードの上に重いものをのせない

感電・火災の原因となります。

本機にICカード、磁気カードなどを近づけない

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器（オプション品）をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜く

感電やけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、ACアダプタはACプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器（オプション品）はシガーライターソケットから抜いてから行う

感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器（オプション品）のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

■電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしない

発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしない

発熱・発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる場合があります。

一般のゴミと一緒に捨てない

不要となった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップ窓口へお持ちください。
電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

その他

- 電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5℃～35℃）の場所以外では行わないでください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。

■USIMカードの取り扱いについて

USIMカードの取り外し／取り付けについて

手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

■スタイラスの取り扱いについて

スタイラスの取り外し／取り付けについて

スタイラスには磁石が内蔵されているため、磁気カードなどを近づけたりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

● 事故や故障などにより本機に登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
● 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
● 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
● 本機は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
● 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
● 傍受にご注意ください。
本機はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなこともまったくないとは限りません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
・傍受（ぼうじゅ）とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

● 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
● 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
● 本機を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

● 航空機内での携帯電話による通話や通信は法律で禁止されています。
● 航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機をフライトモードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

お取り扱いについて

● 本機の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量のない状態で放置したりしていると、お客様が本機に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
● 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
● 使用中や充電中は、本機や電池パックの温度がやや高くなることがありますが、異常ではありません。
● カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
● 本機を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本機に印字されている文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のタッチパネルを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- イヤホンをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は防水仕様でありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  - 雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体をかがめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に入り、故障の原因となることがあります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物のつまったバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り出してください。
  - 充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り外し、本機の電源を切ってから取り出してください。
  - データを登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 本機の外部接続端子（USB ポート）には、指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損したりすることがあります。

著作権などについて

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となることがあります。本製品を使用して複製などを行うときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

商標について

- Bluetooth® とそのロゴは、Bluetooth® SIG, INCの登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

- Opera is a trademark or registered trademark of Opera Software ASA.
- NAVITIMEは、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。
- YouTubeは、YouTube, INCの登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Outlook、PowerPoint、Excel、Windows Mobile、Windows Media、Internet Explorer、ActiveSync、Windows Vista、Windows Live、OneNoteは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Adobe®、Acrobat®、Reader®とそれぞれのロゴは、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- TVコール、S!メール、3G HighSpeedはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。これは、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
  - ・MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
  - ・詳細な情報については、米国法人MPEG LA. LLCまでお問い合わせください。

Bluetooth® /ワイヤレスLAN（無線LAN）機器に関するご注意

本機の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）が利用しています。

- 本機を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなどして電波干渉を解消するように対処してください。
- テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
- 電子レンジ、AV機器、OA機器、デジタルコードレス電話機、ファックスなどの電気製品の近くで使用すると接続しにくくなる場合があります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
- 強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。
- 接続する機器どうしの間に障害物があると、接続距離は短くなります。
- Bluetooth®機器とワイヤレスLAN（IEEE 802.11b/g）は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、同じ場所で両方の無線通信を利用すると電波干渉が発生する場合があります。どちらかの無線通信のみを使用するか、10m以上離れてご使用ください。
- その他不明な点やお困りのことが起きたときには、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

周波数帯域について

Bluetooth®およびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の電池パック格納スペースのラベルに記載されています。ラベルの周波数の記載は以下のとおりです。

- 周波数帯：2.4GHz
- 変調方式：FH-SS、DSSS、OF-DM
- 想定される与干渉距離
  FH1：10m以下
  DS4, OF4：40m以下
- 2.4GHz～2.4835GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

携帯電話の比吸収率（SAR）について

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本機のSARは、0.422W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のWebサイトをご参照ください。

総務省
電波利用Webサイト
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人 電波産業会 電磁環境委員会
くらしの中の電波
http://www.arib-emf.org/index02.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ソフトバンクでは、ボディ SARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、1.4W/kgです。

身体装着の場合：本機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。

Cellular Telecommunication & Internet Association (CTIA)
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本機は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は1.71W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトをご参照ください。
http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs193/en/（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ご利用になる前に

代表的な機能

通信関連

■世界対応ケータイ（P.2-11）
ソフトバンクが提携している海外の通信事業者（GSMネットワークや3Gネットワーク）に接続することで、海外でもご利用いただけます。

■TVコール（P.2-3）
相手の顔を見ながら通話することができます。

■マナーモード（P.2-12）
周囲に迷惑がかからないよう、着信音やボタン確認音などの音をスピーカーから出さないように設定することができます。

■スピードダイヤル（P.2-6 、P.16-11）
登録した数字キーや音声によって、電話をかけたり、プログラムを起動することができます。

メール／インターネット関連

■電子メール（P.5-1）
SMS／S!メール／インターネットメールに対応しています。会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することもできます。

■Webブラウザ（P.6-1）
Internet Explorer® MobileやOperaブラウザによってパソコン向けのWebページを閲覧できます。

PIM関連

■連絡先（P.4-2）
相手の電話番号やメールアドレス、住所などの情報を管理できます。

■予定表／仕事（P.4-7、P.4-10）
予定表／仕事などを管理できます。アラームで予定や仕事完了をお知らせすることもできます。

■メモ（P.4-12）
音声でメモを録音したり、付属のスタイラスで手書きのメモを保存したりできます。

マルチメディア関連

■YouTube（P.12-8）
YouTubeの動画コンテンツを閲覧できます。

■カメラ（P.11-1）
320万画素のカメラを搭載。静止画／動画の撮影ができます。

■Windows Media® Player Mobile（P.12-2）
音楽や動画を再生できます。著作権保護付ファイル（OMA DRM1.0）の再生にも対応しています。

ファイル／ストレージ関連

■ファイルエクスプローラ（P.10-2）
フォルダやファイルのコピー･移動･削除などを行うことができます。

■内部ストレージ
大容量の内部ストレージに静止画や動画、音楽などの各種ファイルを保存することができます。

■検索（P.10-7）

キーワードを入力して、本体メモリおよび内部ストレージに保存されているファイルを検索することができます。

ネットワーク関連

■ワイヤレスLAN（P.9-3）

自宅や会社、公衆のアクセスポイントからネットワークにアクセスできます。

■Bluetooth®（P.9-6）

Bluetooth®対応のパソコンやヘッドセットなどの機器と接続します。

■パソコンとのデータ同期（P.7-1）

ActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターを使用して、パソコンとの間でメール／連絡先／予定表／仕事／ファイルなどを同期することができます。

その他の便利な機能

■タッチパネル（P.1-10）

指やスタイラスで直接触れることで、項目の選択や切り替え、画面のスクロールやパンなどの操作を行うことができます。

■HTCホーム（P.15-2）

10個のタブで構成され、さまざまな機能をすばやく操作することができます。

■キーロック（P.13-2）

電源ボタン以外では省電力状態（ディスプレイの表示が消えた状態）を解除できないように設定して、電力の消費を抑えることができます。

■オフィスアプリケーション（P.8-1）

Word Mobile／Excel Mobile／PowerPoint® Mobile／OneNote® Mobile／Adobe Reader LEを搭載し、各種ファイルを利用できます。

オプションサービス

■転送電話サービス（P.2-14）

かかってきた電話を設定した番号へ転送します。

■留守番電話サービス（P.2-14）

電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

■割込通話サービス（P.2-15）

通話中にかかってきた電話を受けることができます（別途お申し込みが必要です）。

■三者通話サービス（グループ通話サービス）（P.2-15）

複数の相手と同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます（別途お申し込みが必要です）。

■発着信規制サービス（P.2-16）

電話をかけたり、受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。

■国際電話設定サービス（P.2-16）

国際電話会社の番号を設定できます。

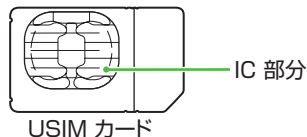
■発信者番号通知サービス（P.2-17）

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは、お客様の電話番号や連絡先などの情報が入ったICカードです。本機のご利用にはUSIMカードが必要です。

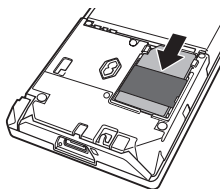
- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードに使用する機器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

その他ご注意

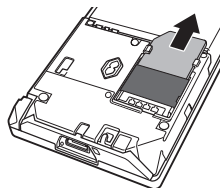
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIMカードや本機を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。

USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付け／取り外しは、電池パックを取り外してから行います（P.1-15）。

■USIMカードの取り付け

1. **USIM カードの IC 部分を下にして、USIMカードをゆっくりと差し込む**

■USIMカードの取り外し

1. **USIMカードをゆっくりと取り出す**

注意

- 無理な取り付け／取り外しを行うと、USIMカードや本機が破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときは、IC 部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます（P.13-3）。
- USIM カードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PIN コードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（P.13-3）。

PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には「9999」に設定されています。
- PIN2コードは変更できます（P.13-3）。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- PUKコードとPINロック解除方法については、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

注意

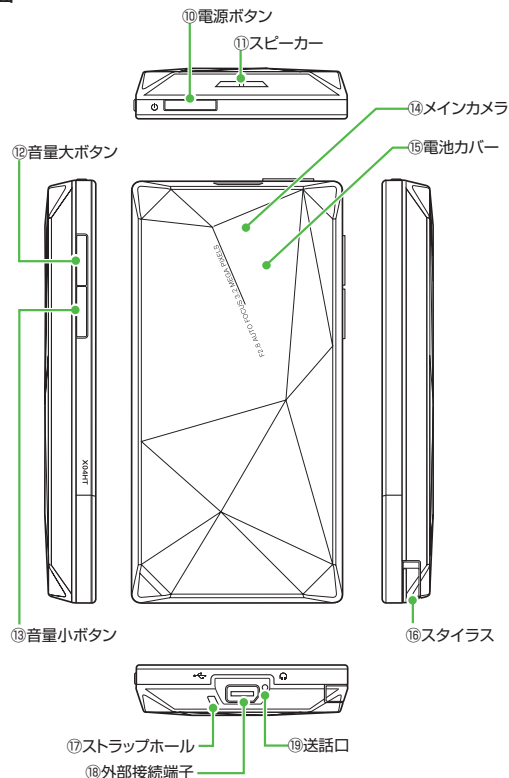
- PUKコードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにご注意ください。
- PUKコードの入力を10回連続して間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。
- USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

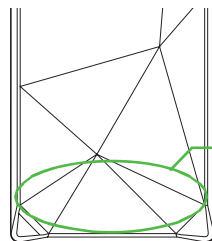
各部の名称と機能

本体

■正面

名　称	説　明
①　受話口	相手の声がここから聞こえます。
②　インカメラ	自分を撮影するときに使用します。
③　タッチパネル（P.1-10）	指やスタイラス（P.1-8）で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやパン（P.1-10）などの操作ができます。
④　ナビゲーションコントロール（P.1-12）	・上下左右に押すとカーソルが移動します。 ・周りを時計回りでなぞると拡大表示、反時計回りでなぞると縮小表示します。 ・充電時や着信時に点滅します。
⑤　ホームボタン（🏠）	現在の画面表示からホーム画面に戻ります。
⑥　通話ボタン（📞）	・電話をかけたり、受けたりします。 ・待受中に1秒以上押すと、ボイス短縮ダイヤルが起動します（P.14-9）。1秒以上押したときの動作は変更できます（P.14-10）。 ・通話中に保留／保留解除を切り替えます。 ・通話中に1秒以上押してスピーカーフォンのオン／オフを切り替えます。 ・着信時は点滅します。
⑦　センターボタン	・カーソルがある項目を選択します。 ・入力した値を決定します。
⑧　戻るボタン（←）	前画面に戻ります。
⑨　終了ボタン（📞）	・通話を終了します。 ・待受中に1秒以上押すと、マナーモードに設定されます（P.2-12）。1秒以上押したときの動作は変更できます（P.14-11）。 ・着信時は点灯します。

■背面

名　称	説　明
⑩　電源ボタン（ ⏻ ）	・ 電源をオンにします。 ・ 1秒以上押すと電源をオフにします。 ・ 押すたびにタッチパネルを点灯／消灯します。
⑪　スピーカー	着信音やスピーカーフォン通話中の相手の声などが聞こえます。
⑫　音量大ボタン	音量を上げます。
⑬　音量小ボタン	音量を下げます。
⑭　メインカメラ	静止画や動画の撮影を行います(P.11-2)。
⑮　電池カバー	電池カバーを開けて、USIMカードや電池パックの取り付け／取り外しをします(P.1-5、P.1-15)。
⑯　スタイラス	タッチパネルを操作するときに使用します。
⑰　ストラップホール	ストラップを取り付けます。
⑱　外部接続端子	充電器やUSBケーブル、マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを接続します。
⑲　送話口	自分の声をここから伝えます。録音するときはマイクになります。

内蔵アンテナに関するご注意

注意

- アンテナは本体下部に内蔵されており、アンテナ付近を手で覆うと、通話品質に影響を及ぼす場合があります。

ディスプレイ(ステータスアイコン)

ディスプレイの上部には本機の状態を示すアイコン(ステータスアイコン)が表示されます。

ソフトキーエリア

※上記はホーム画面(P.1-11)の表示例です。

- タップすると通知内容を表示
- 新着SMSあり
- 新着伝言メッセージあり
- メール送信中
- メール受信中
- メール送信済み
- メール未送信
- 新着S!メールあり
- Bluetooth®検出可能モード
- 新着Windows Live™メール
- 不在着信あり
- スピーカーフォンがオン
- ローミング中
- アラーム設定中
- ワイヤレスLAN接続中
- ヘッドセット接続中
- Bluetooth®通信機能がオン
- EDGE使用中
- Bluetooth®ヘッドセット接続中
- ActiveSync通知
- パソコンとの同期エラー
- 3Gネットワーク使用可
- GPRS使用可
- EDGE使用可
-   ワイヤレスLAN接続で通信中
- ネットワークへの接続可
- ネットワークへの接続不可
- パソコンとの同期中
- 3Gネットワークの接続確認中
- 3Gネットワーク使用中
- GPRS接続確認中
- GPRS使用中
- EDGE接続確認中
- 電池レベル(P.1-14)
- 電波の受信レベル強
- 電波の受信レベル弱
- 電話機能オフ
- 圏外
- オプションサービス検索中
- 発着信中、通話中
- 保留中
- 留守番電話・自動転送設定中
- USIMカード未挿入時にダイヤル
- USIMカード未挿入
- 着信通知がバイブレーション
- 着信通知が着信音
- 着信通知がサイレント
- 充電中

タッチパネルの使いかた

タッチパネルは指やスタイラスで直接触れて操作します。触れかたによってさまざまな操作を行うことができます。

タップ

ホーム画面のタブやスタートメニュー、各種プログラムアイコンなど、目的の項目に触れると、その項目を選択することができます。

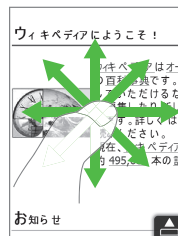
項目の切り替え

静止画や動画、楽曲などの選択時に、上下左右にスライドすると、前後の項目に切り替わります。

スクロール

Webページや連絡先、プログラムの一覧画面など、1画面で表示しきれないときに上下方向にスライドすると、画面が上下にスクロールします。

パン

Operaブラウザやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画を拡大表示するときなど、1画面で表示しきれないときにタッチパネルに触れたままドラッグすると、画面を上下左右、斜め方向に移動させることができます。

拡大表示

Operaブラウザなどでタッチパネルをダブルタップすると、画面が拡大表示されます。もう一度ダブルタップすると、元の表示に戻ります。
また、アルバム再生などで拡大したい部分を時計回りでなぞると、その部分が拡大表示されます。反時計回りでなぞると、元の表示に戻ります。

メニューの表示

文字の入力中やWebページの表示中などに、タッチパネルを1秒以上タップするとメニューが表示される場合があります。
メニューを表示できる画面やメニューの内容については、機能によって異なります。

HTCホームの基本操作

HTCホームのホーム画面は本機の基本画面です。ホーム画面からさまざまな操作を行うことができます。

● 本機の画面に表示される「Today」とは、ホーム画面を指しています。

①スタートメニュー	スタートメニューおよび最近使用したプログラムが表示されます。
②クイックメニュー	現在起動中のプログラムや電池残量などが表示されます（P.1-19）。
③TouchFLO 3D	タッチパネルを操作してタブを切り替え、さまざまな操作を行います。
④電話発信	電話番号を入力して電話をかけることができます（P.2-3）。
⑤プログラム	HTCホームのランチャー画面（プログラムタブ）に切り替わります。

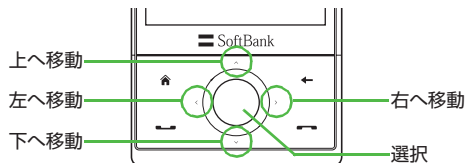
補足

- 表示中の画面からホーム画面に戻るには、ホームボタン（ ）を押します。
- HTCホームの各タブの詳細については、P.15-2をご覧ください。
- スタート ＞ 設定 ＞ Todayのアイテムタブで「TouchFLO 3D」のチェックを外すと、Today画面として設定したテーマや画像、項目などが表示されます。

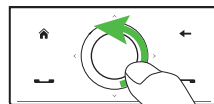
ナビゲーションコントロール

ナビゲーションコントロールを操作して、項目を選択したり、拡大／縮小表示したりできます。

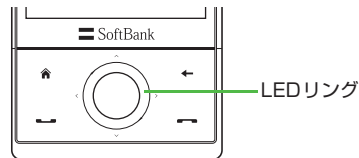
項目選択

ナビゲーションコントロールの上下左右を押してカーソルを移動し、センターボタンを押すと項目を選択できます。

拡大／縮小表示

ナビゲーションコントロールの周りを時計周りでなぞると拡大表示、反時計周りでなぞると縮小表示できます。

ナビゲーションコントロールで拡大／縮小表示できるのは、カメラ、アルバム、Operaブラウザ、Word Mobile、Excel Mobile、Adobe Reader LEです。

拡大表示　　縮小表示

LEDリングの動作

本機の状態に応じて、ナビゲーションコントロールのLEDリングは以下のように動作します。

本機の状態	LEDリングの動作
電池パック充電中	ゆっくり点滅
電池パック充電完了	点灯
電池パックの残量が10％以下	1回ずつ点滅
新着インターネットメール、留守番電話、予定表の通知	上下が2回ずつ点滅
不在着信、新着SMS、新着S!メールあり	反時計回りに2回ずつ点滅

電池パックのお取り扱い

ご利用になる前に

はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

充電時間と利用可能時間の目安

項目	3Gモード	GSMモード
充電時間	ACアダプタ使用時：約180分 パソコンとのUSB接続時：約300分	
連続待受時間	約430時間	約290時間
連続通話時間	約90分	約190分

- 上記は、電池パック（HTBAD1）装着時の数値です。
- 充電時間は、電源を切った状態で充電した場合の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波を正常に送受信できる状態で算出した時間の目安です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、利用可能時間が変動することがあります。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。5℃～35℃の温度範囲でご使用ください。
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるだけでなく、発火や発熱などの原因となります。また、完全に充電できない、電源が入らないなどの原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れた状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると、発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中に充電器や電池パック、本機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックや本機、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒などで清掃してからご利用ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

電池パックの持ちについて

- 次のような場合は、電池パックの消耗が早まり、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  - 本機や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外で待ち受けしているとき
  - 音楽や動画を再生しているとき
  - カメラ撮影を行っているとき
  - プッシュメールの受信（Microsoft Direct Push）をオンにしているとき（P.9-2）
- ディスプレイのバックライトを省電力にしたり、不要な通信機能をオフにしておくことで電池パックの消耗を抑えることができます（P.9-2、P.14-6）。

電池レベル表示の確認

- 電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。ディスプレイの電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

※ レベル1になったら充電することをおすすめします。

- 電池残量が10%以下になると、ナビゲーションコントロールのLEDリングが点滅します。

電池が切れたら

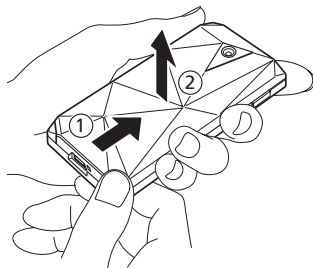
- 電池が残り少なくなると、電池残量が不足している旨のメッセージが表示されます。
- 数回、電池残量不足のメッセージが表示された後、電源が切れます。

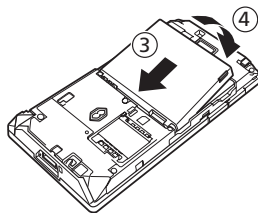
電池パックを取り付ける／取り外す

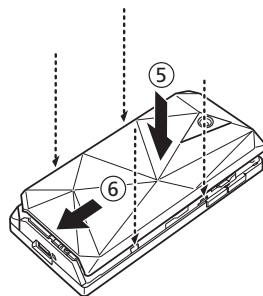
電池パックの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

電池パックの取り付け

1. **電池カバーを取り外す**

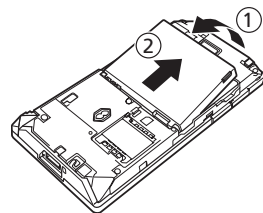
電池カバーを①の方向にスライドさせ、②の方向に持ち上げて取り外します。

2. **電池パックを取り付ける**

電池パックと本機の金属端子が合うように③の方向に差し込んでから、④の方向にはめ込みます。

3. **電池カバーを取り付ける**

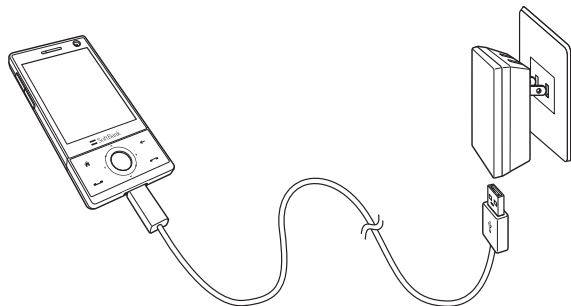
電池カバーのツメが本体の溝に合うように⑤の方向に置き、「カチッ」という音がするまで⑥の方向へ押し込みます。

電池パックの取り外し

1. **電池カバーを取り外す**

2. **電池パックを取り外す**

電池パックを①の方向に持ち上げ、②の方向に取り外します。

3. **電池カバーを取り付ける**

充電する

ACアダプタを使用して充電する

1. ACアダプタ本体にUSBプラグを差し込む

2. 外部接続端子にUSBミニプラグを差し込む

3. ACアダプタのACプラグをAC100Vコンセントに差し込む

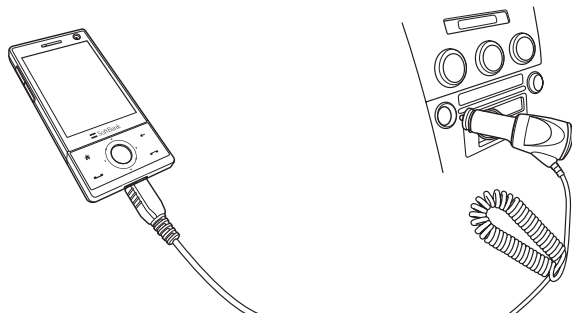
充電中はナビゲーションコントロールのLEDリングがゆっくり点滅します。充電が完了するとLEDリングが点灯します。

4. 充電が完了したらACアダプタを外す

ACプラグをACコンセントから抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜きます。

補足

- パソコンと本機を付属のUSBケーブルで接続して、本機を充電することができます。その場合、以下のことにご注意ください。
  - ・パソコンや本機の電源を切った状態では充電できません。
  - ・パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
  - ・ACアダプタを使用した場合より、充電に時間がかかることがあります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

シガーライター充電器(オプション品)を使用して充電する

1. 外部接続端子にシガーライター充電器のミニUSBプラグを差し込む

2. シガーライター充電器のプラグをシガーライターソケットに差し込む

3. 車のエンジンをかける

充電中はナビゲーションコントロールのLEDリングがゆっくり点滅します。充電が完了すると点灯します。

4. 充電が完了したらシガーライター充電器を外す

プラグをシガーライターソケットから抜き、コードを本機から抜きます。

注意

- オプション品のシガーライター充電器はマイナスアース車専用です（12V／24V両用）。
- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- 車から離れる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合、車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 自動車の運転中は、携帯電話をご使用にならないでください。交通事故の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源ボタン（ ⏻ ）を押す

ホーム画面（P.1-11）が表示されます。

補足

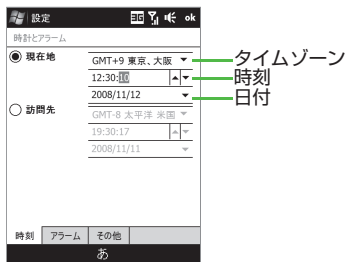
- 電源を入れたときにPINコードを入力するように設定することができます（P.13-3）。
- はじめて電源を入れたときは、クイックスタートウィザードが起動します。画面の指示に従って、各項目を設定してください。これらの設定は後から変更できます。

電源を切る

1. 電源ボタン（ ⏻ ）を1秒以上押す ＞ はい

日付／時刻の設定

画面に表示される日付や時刻を設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 時計とアラーム

2. 現在地

海外での現地時間を設定する場合は、訪問先を選択します。

3. タイムゾーンおよび日付、時刻を設定する

タイムゾーン：▼をタップして都市名を選択します。
時刻：時、分、秒をそれぞれタップし、▲／▼で入力します。
日付：▼をタップし、カレンダーから日付を選択します。

4. ok

基本的な使いかた

プログラムの起動

本機にはあらかじめさまざまなプログラムが登録されており、HTCホームのスタートメニューから起動できます。

- スタートメニューから起動できるプログラムについては、「機能一覧」（P.17-2）を参照してください。
- スタートメニューに表示するプログラムを変更することもできます（P.14-10）。

<例：仕事を起動する場合>

1. スタート ＞ プログラム

プログラム一覧が表示されます。
対象のプログラムが表示されない場合は、画面をスクロールさせてください。

2. 仕事

仕事が起動します。

プログラムを終了する

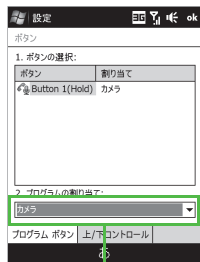
プログラム表示中に終了ボタン（━）を押すとHTCホームに戻りますが、ほとんどの場合プログラムは終了していません。プログラムを終了するには、クイックメニューまたはタスクマネージャからプログラムを終了する必要があります（P.1-19、P.14-12）。

補足

- プログラムを起動したままでは、プログラム実行用メモリが不足し、動作が遅くなることがあります。

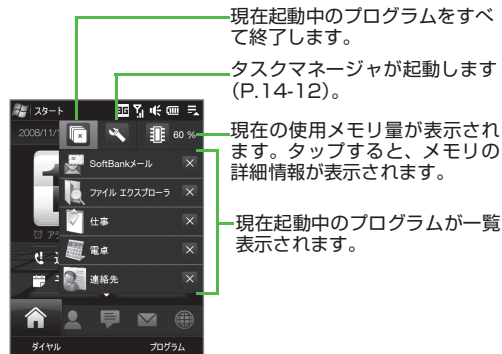
設定値の選択

複数の項目から設定値を選択できるときは、右端に「▼」が表示されます。「▼」をタップして設定値を一覧で表示し、設定したい値を選択します。

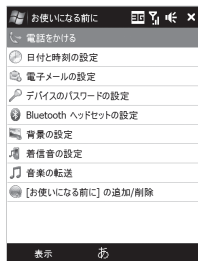
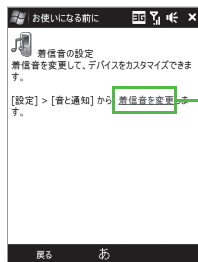
設定値が一覧で表示されます。

選択した項目が表示されます。

クイックメニュー

HTCホーム画面右上の ☰ をタップすると、クイックメニューが表示されます。

クイックメニューには現在起動中のプログラムが一覧表示され、選択するだけでプログラムを切り替えることができます。プログラム名の ☒ をタップすると、そのプログラムのみを終了することができます。

「お使いになる前に」アプリ

本機を使用する前に理解しておいてほしい機能や設定の概要を確認することができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ お使いになる前に

2. 確認したい項目を選択

説明画面が表示されます。画面のアンカーをタップすると、その項目の設定画面が表示されます。

暗証番号

交換機用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作するときや、Webの有料情報の申し込みの際に使用します。

- 交換機用暗証番号は本機の操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の４桁の暗証番号で、本機で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。

- 入力を３回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は、本機の操作で変更できます（P.14-2）。

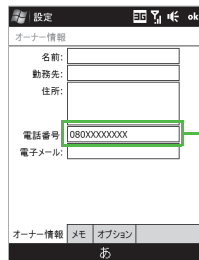
注意

- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号や発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用された場合は、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話機能の使いかた

自分の電話番号を確認する

1. スタート ＞ オーナー情報

オーナー情報画面が表示され、自分の電話番号を確認できます。

2. ok

補足

- スタート ＞ プログラム ＞ SIMマネージャを選択してSIMマネージャを起動させても、自分の電話番号を確認できます。

音量を調整する

音量大ボタン／音量小ボタンを利用して、通話中の音量や着信音量を調整することができます。

通話中の音量を調整する

1. 通話中 ＞ 音量大ボタン／音量小ボタン

音量大ボタン：音量が大きくなります。
音量小ボタン：音量が小さくなります。

補足

- 音量を最小にした場合でも、消音にはなりません。

システム／着信音の音量を調整する

1. 音量大ボタン／音量小ボタン

音量設定画面が表示されます。

2. システム／トーン ＞ 音量大ボタン／音量小ボタン

音量大ボタン：音量が大きくなります。
音量小ボタン：音量が小さくなります。

電話をかける

音声電話をかける

1. **ダイヤル**

   電話番号入力画面が表示されます。

2. **ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力**
3. **通話ボタン（ ）**

   入力した電話番号に発信され、相手が応答すると音声通話ができます。

4. **通話が終了したら終了ボタン（ ）または通話を終了**

補足

- 電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴から該当する相手が表示されます。
- 電話番号を6桁以上入力したときに、該当する電話番号が連絡先に登録されていない場合は、**連絡先に保存？**が表示されます。タップすると入力中の電話番号を連絡先に登録できます。

TVコールをかける

1. **ダイヤル**
2. **ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力**
3. **テレビ電話**

   入力した電話番号に発信され、相手が応答するとTVコールで通話できます。

4. **通話が終了したら終了ボタン（ ）または通話を終了**

注意

- 相手がTVコールに対応していない機器の場合は、TVコールでの通話はできません。

補足

- TV コールがつながらなかった場合は、音声電話に切り替えて再度かけ直すことができます。
- 電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴から該当する相手が表示されます。
- 電話番号を6桁以上入力したときに、該当する電話番号が連絡先に登録されていない場合は、**連絡先に保存？**が表示されます。タップすると入力中の電話番号を連絡先に登録できます。

TVコールのオプション設定

送信する静止画やTVコール起動時のカメラの設定など、TVコールに関する設定を行います。

1. ダイヤル > メニュー > テレビ電話オプション

2. **以下の項目を設定**

項目	説明	
全般タブ	静止画を表示	カメラをオフにしたときに相手に送信する静止画を設定します。
	送信画質設定	相手に送信する映像の画質を画質優先／標準／動き優先から選択します。
	ビデオ画面の環境設定	親画面／子画面の表示を両者（マイビデオ大）／両者（マイビデオ小）から選択します。
	カメラオプション	インカメラの反転表示、TVコール発信時のカメラのオン／オフを設定します。
	情報を表示	TVコール通話中に通話時間および電話番号、名前を表示するかどうかを設定します。
サービスタブ	TVコールに関するサービスを取得します。	
バージョン情報タブ	TVコールのバージョン情報を表示します。	

3. OK

連絡先から電話をかける

電話をかける相手を連絡先に登録しておくと、簡単に電話をかけることができます（P.4-2）。

1. ダイヤル > メニュー > 連絡先

連絡先一覧画面が表示されます。

2. **対象の連絡先を反転表示**

連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、ナビゲーションコントロール（左右）により、発信先を選択することができます。発信先に対応する表示については、「連絡先一覧画面の見かた」（P.4-3）を参照してください。

3. **通話ボタン（ ）**

表示されている発信先に発信されます。

4. 通話が終了したら終了ボタン（ ）または通話を終了

■連絡先詳細画面から発信先を選択してかける場合
1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. 対象の発信先を選択

■TVコールで電話をかける場合
1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示 ＞ メニュー ＞ テレビ電話

USIMカードに登録された連絡先から電話をかける

1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ 連絡先

2. メニュー ＞ SIMマネージャ

3. 対象の連絡先を反転表示

4. メニュー ＞ ダイヤル

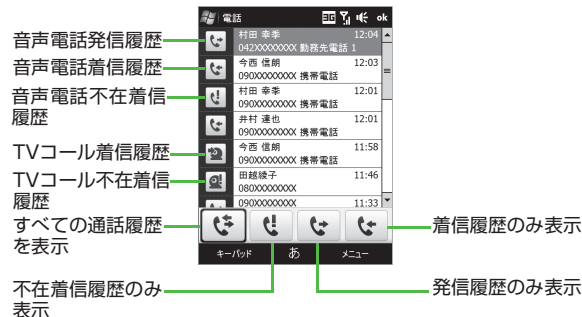
複数の電話番号が登録されている場合は、対象の電話番号を選択します。

5. 通話が終了したら終了ボタン（ ）または通話を終了

通話履歴から電話をかける

不在着信履歴・着信履歴・発信履歴から電話をかけることができます。

1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ 通話履歴

通話履歴の一覧が表示されます。

2. 対象の通話履歴を選択

選択した通話履歴の通話先との履歴一覧が表示されます。
通話先が連絡先に登録されている場合、その連絡先に登録されているすべての電話番号との通話履歴が一覧で表示されます。

3. ダイヤル

反転表示された通話履歴の通話先に発信されます。

4. 通話が終了したら終了ボタン（▬）または通話を終了

■TVコールで電話をかける場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ テレビ電話

■通話履歴を連絡先に登録する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 連絡先に保存 ＞ ＜新しい連絡先＞または追加する対象の連絡先を選択

■通話履歴からメールやSMSを送信する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ S!メール（電話番号）送信／SMS送信

■通話時間を表示する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 通話時間

■通話履歴を削除する場合

＞ 通話履歴 ＞ メニュー ＞ 削除またはすべての履歴を削除 ＞ はい

スピードダイヤルで電話をかける

1～99の数字にあらかじめ電話番号を割り当てておくと、その数字をダイヤルするだけで電話をかけることができます。

電話番号をスピードダイヤルに登録する

連絡先に登録されている電話番号をスピードダイヤルに登録します。

1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ 連絡先

2. 対象の連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

3. 対象の項目（電話番号）を反転表示

4. メニュー ＞ スピードダイヤルに追加

スピードダイヤル登録画面が表示されます。

5. 数字を割り当てる ＞ ok

連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、スピードダイヤルに登録する電話番号を選択します。

■音声を割り当てる場合

連絡先詳細画面で、メニュー ＞ ボイスタグの追加を選択すると、音声を割り当てることができます。

音声を割り当てた連絡先には、音声で電話をかけることができます（P.14-9）。

スピードダイヤルで電話をかける

1. ダイヤル ＞ 電話番号が割り当てられている数字をダイヤル

例：数字「2」に割り当てられている電話番号に電話をかける場合

2. 通話ボタン（▬）

■TVコールで電話をかける場合

＞ テレビ電話

スピードダイヤルに登録した内容を確認する

スピードダイヤルに登録した内容の確認や変更を行うことができます。

1. ダイヤル ＞ メニュー ＞ スピードダイヤル

2. メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
新規作成	スピードダイヤルを新規登録します。
編集	スピードダイヤルに表示する名前や数字を変更します。
削除	スピードダイヤルの登録を解除します。
テレビ電話	TVコールをかけます。

日本国内から国際電話をかける

音声電話／TVコールをかけたり、受けることができます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

1. ダイヤル ＞ 国際コード→国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力

※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。

2. 通話ボタン（▭）

国際電話がかかります。

3. 通話が終了したら終了ボタン（▭）または通話を終了

■TVコールで国際電話をかける場合

ダイヤル ＞ 相手の電話番号をダイヤル ＞ テレビ電話

緊急電話（110／119／118）をかける

本機では発信の制限などを設定しているときでも、以下の操作で緊急電話をかけることができます。

機能	操作
発信規制（P.2-16）	ダイヤル ＞ 緊急電話番号入力 ＞ 通話ボタン（▭）

注意

- 以下の場合、緊急電話をかけることができません。
  - ・デバイスのロックをかけているとき（P.13-2）
  - ・電話機能をオフにしているとき（P.2-13）
  - ・フライトモードをオンにしているとき（P.9-2）
  - ・PIN認証中のとき（PINコード入力画面が表示されているとき）（P.13-3）
  - ・PINロックがかかっているとき（PINロック解除コード入力画面が表示されているとき）（P.1-5）
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

● 本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

補足

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

電話を受ける

1. **音声電話またはTVコールがかかってきたら通話ボタン（　）または応答**
2. **通話が終了したら終了ボタン（　）または通話を終了**

■着信を拒否する場合

＞ 着信拒否

■着信音を消す場合

＞ 着信音をミュートにする

補足

- 電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を設定できます（P.14-3）。また、連絡先に登録されているデータに個別に着信音を設定することもできます（P.4-2）。
- マナーモードに設定すると着信を振動でお知らせします（P.2-12）。
- 連絡先に登録していない相手との通話が終了すると、電話番号を連絡先に登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。

通話中の操作

音声電話画面の操作

音声電話中は、アイコンをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

アイコン	説明
保留	通話を保留にします。
通話を追加	別の相手に電話をかけます（P.2-15）。
メモ	メモを作成します。
ミュート	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。
スピーカー	スピーカーを使って通話します。
連絡先	連絡先を表示します。

TVコール画面の操作

TVコール中は、アイコンをタップしたり、ナビゲーションコントロールを操作することにより、以下の機能を利用できます。

アイコン／ボタン	説明
カメラ オン オフ	カメラのON／OFFを切り替えます。ONにすると、カメラで撮影している映像を相手に送信します。OFFにすると、テレビ電話オプションで設定した静止画を相手に送信します。
カメラ切替	メインカメラ／インカメラを切り替えます。
ビュー交換	親画面／子画面の映像を切り替えます。
ナビゲーションコントロール左右	映像の明るさを調整します。

通話中のメニュー

通話中は、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
保留	通話を保留にします。
明るさ	TVコール時の映像の明るさを調整します。
ミュート	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。
スピーカーフォンをオンにする	スピーカーを使って通話します。
ハンズフリーをオンにする	ハンズフリー対応Bluetooth®ヘッドセット利用時に選択します。
三者通話	複数で同時に通話できます（P.2-15）。
貼り付け	カット／コピーした電話番号を貼り付けます。
連絡先に保存	通話している相手を連絡先に登録します。
連絡先の表示	通話している相手の連絡先を表示します。
メモの作成	メモを作成します。
通話履歴	通話履歴を表示します。
スピードダイヤル	スピードダイヤルの登録内容を表示します。
オプションの表示	電話の各種設定を行います（P.14-2）。
テレビ電話オプション	TVコールの各種設定を行います（P.2-4）。
送信画質設定	TVコールで相手に送信する映像の画質を設定します。

補足

- 通話中に通話ボタン（[—]）を押しても、通話を保留にできます。
- 通話中に通話ボタン（[—]）を1秒以上押しても、スピーカーフォンをオンにできます。

海外で利用する

世界対応ケータイ

本機は世界対応ケータイです。お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外で利用できます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

ネットワークの種類を設定する

必要に応じて海外の通信事業者のネットワークや帯域を選択してください。

1. スタート > 設定 > 電話 > 帯域タブ
2. ネットワークの種類を選択

   Auto：自動的にGSMまたは3Gネットワーク対応の通信事業者間で切り替わります。
   GSM：GSMネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。
   3G：3Gネットワーク対応の通信事業者間でのみ切り替わります。
3. 帯域の種類を選択

   Autoを選択すると、お使いのエリアに応じて自動的に帯域が切り替わります。
4. ok

通信事業者を設定する

ひとつの地域で複数の通信事業者とサービスを提携している場合、本機は自動的に適切な通信事業者に接続します。また、特定の通信事業者を利用したい場合は、手動を選択することもできます。

1. スタート > 設定 > 電話 > ネットワークタブ
2. 自動または手動 > ok

■手動を選択した場合

利用可能なすべてのネットワークを自動的に検索します。検索結果より通信事業者を選択することができます。

■優先するネットワークを設定する場合

> ネットワークの設定 > ネットワークを優先する順に並べ替える > ok

注意

- 帯域の変更時にネットワークの種類を変更できないことがあります。この場合、ネットワークタブでネットワークの選択を自動に設定することで、ネットワークの種類を変更できるようになります。

海外で電話をかける

- お客様のいる国や地域によってはネットワークの種類や帯域を切り替える必要があります（P.2-11、P.2-11）。

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

1. ダイヤル ＞ ダイヤルキーの「0」を１秒以上タップする

   「+」が入力されます。

2. 国番号→相手先番号（先頭の「0」を除く※）の順に入力

   ※イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。

3. 通話ボタン（━）

   電話がかかります。

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

日本国内にいるときと同様に、相手の電話番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の先頭の「0」を除いたりする必要はありません。

1. ダイヤル ＞ 相手先番号を入力

2. 通話ボタン（━）

   電話がかかります。

マナーモード

周囲に迷惑がかからないよう、ボタン１つの操作で着信音やボタン確認音などの音をスピーカーから出さないように設定することができます。

1. 終了ボタン（━）を１秒以上押す

   マナーモードに設定され、ディスプレイの上部にマナーモードのアイコンが表示されます。マナーモードを解除するには、もう一度終了ボタン（━）を１秒以上押してください。

注意

- 終了ボタンの長押しをマナーモード／着信音に設定以外に設定すると、終了ボタン（━）を１秒以上押してもマナーモードに設定されなくなります。
- マナーモードに設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

補足

- 音量小ボタンを押してマナーモードを反転表示にしてもマナーモードに設定できます。
- マナーモード設定中でも、以下については動作音が鳴ります。
  - カメラのシャッター音
  - ゲームの音
  - ボイスタグの認識音

電話機能をオフにする

インターネット接続をワイヤレスLANで行う場合などは、以下の方法で電話機能をオフにしてください。

1. スタート > プログラム > Comm Manager
2. 通話
   電話機能がオフになります。
   もう一度タップするとオンに戻ります。
3. 完了

補足

• Comm Managerの詳細については、P.9-2を参照してください。

オプションサービス

サービス名称	内容
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を設定した番号へ転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けることができます。また、通話相手を切り替えることもできます。
三者通話サービス（グループ通話サービス）※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人まで同時に通話できます。相手を切り替えながら交互に通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。
国際電話設定サービス	国際電話発信時に最初に入力する「+」に設定されている国際コードを変更します。

※ 別途お申し込みが必要です。

注意

• 電波の届かない場所では、本機から操作できません。

補足

- サービスの詳細については当社Webサイト「http://www.softbank.jp/」をご覧ください。

転送電話サービス

転送電話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ネットワーク設定 > 留守番電話／転送 > 転送設定
2. 以下の項目を設定

転送条件	説明
転送設定	電話がかかってきたときに呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
転送先	転送先の電話番号を入力します。
呼出時間設定	呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

3. OK > ok

■転送電話サービスを解除する場合

> 留守番電話／転送 > 留守番／転送全てOFF > はい > ok

補足

- 転送先の入力時に連絡先をタップすると、連絡先に登録されている電話番号を入力できます。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ネットワーク設定 > 留守番電話／転送 > 留守番電話設定 > ON
2. 以下の項目を設定

転送条件	説明
留守番電話設定	電話がかかってきたときに呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
呼出時間設定	呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

3. OK > ok

■留守番電話サービスを解除する場合

> 留守番電話／転送 > 留守番／転送全てOFF > はい > ok

補足

- 圏外または電源オフのときは、呼び出すことなく留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

メッセージを確認する

1. 新しい伝言メッセージが録音されたことを示す「」アイコンがディスプレイに表示される

2. 「1416」をダイヤルして留守番電話センターに接続する

この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを確認してください。

補足

- スタート > 設定 > 接続タブ > ネットワーク設定 > 留守番電話／転送 > 留守番電話設定 >留守番再生を選択するか、スピードダイヤルの1から発信しても、メッセージを確認できます。

割込通話サービス

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ネットワーク設定 > 割込通話

2. ONまたはOFF > はい > ok

■設定状態を確認する場合

> 現在の設定確認 > ok

割込通話に応答する

1. 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が鳴る

2. 通話ボタン（ ）または応答

後からかけてきた相手と通話することができます。
最初に通話していた相手は保留状態になります。
切り替えをタップするたびに通話の相手が切り替わります。

補足

- 終了ボタン（ ）を押すと、通話中の相手との通話が切れ、保留中の相手との通話が開始されます。

三者通話サービス（グループ通話サービス）

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

●画面に表示される「三者通話」とは「グループ通話」を指しています。

通話中に別の相手に電話をかける

1. 通話中 > メニュー > 保留

2. キーパッド > 電話番号を入力 > 通話ボタン（ ）

連絡先を呼び出してから通話ボタン（ ）を押して別の相手に電話をかけることもできます。

3. 相手が応答したらメニュー > 三者通話

3人目以降の相手に電話をかけるには操作1～3を繰り返します。

■他の相手を保留にして1人の相手とだけ通話する場合

1. グループ通話中にメニュー > プライベート
2. 通話したい相手を選ぶ > プライベート

メニュー > 三者通話でグループ通話に戻ります。

補足

- グループ通話中に終了ボタン（ ）を押すと、すべての通話が切れます。

発着信規制サービス

制限項目		規制内容
着信規制	全着信規制	すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	国際着信規制	海外での使用時に、すべての電話着信やSMSの受信ができません。
発信規制	全発信規制	緊急電話（110／119／118）を除く、すべての電話発信、SMSの送信ができません。
	国際発信規制	すべての国際電話の発信ができません。
	日本／滞在国以外発信規制	日本国内または滞在国以外への発信ができません。

注意

- 発着信規制サービスの操作には、「発着信規制用暗証番号」（P.1-20）が必要になります。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

補足

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

発着信規制サービスを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ ネットワーク設定 ＞ 発着信規制
2. 着信規制および発信規制を設定 ＞ OK
3. 発着信規制用暗証番号を入力 ＞ OK

国際電話設定サービス

国際コードを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ ネットワーク設定 ＞ 国際電話設定
2. 国際コード ＞ 国際コードを入力
3. 「よろしければチェックボックスをチェックし、「保存」をタップしてください。」にチェックを付ける
4. 保存

発信者番号通知サービス

発信者番号通知サービスを設定する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ネットワーク設定 > 発信者番号通知
2. 通知するまたは通知しない > はい > ok

■現在の設定状況を確認する場合

> 現在の設定確認 > ok

補足

- 本設定の内容にかかわらず、電話番号の前に以下の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  - ・相手にお客様の番号を通知する場合：相手の電話番号の前に「186」を付ける
  - ・相手にお客様の番号を通知しない場合：相手の電話番号の前に「184」を付ける

文字入力

文字入力について

本機では入力パネルを使用して文字を入力することができます。

● 文字を入力する機能や文字入力欄などでの入力パネルの表示／非表示は、画面下中央のあ（入力モードや文字の種類によって表示は異なります）をタップします。

入力モードを切り替える

入力モードにはキーパッド（10キー入力）、キーボード（ひらがな／カタカナ）、キーボード（ローマ字／かな）、手書き検索、手書き入力の5種類があります。

1. 画面下中央の をタップ

文字入力メニューが表示されます。

2. 対象の入力モードを選択

選択した入力モードの入力パネルが表示されます。

入力パネル

キーパッド

①文字入力キー

キーに表示されている文字を入力します。

②濁点・半濁点／シフト／＊キー

漢字／ひらがな、カタカナ入力の場合は、濁点／半濁点を入力します。
英字入力の場合は、英字を大文字で入力します。
数字入力の場合は、＊を入力します。

③文字切替キー

タップするたびに入力する文字の種類がカタカナ→英字→数字→漢字／ひらがなの順に切り替わります。
1秒以上タップすると文字種選択画面が表示され、文字の種類の選択および入力に関する設定を行うことができます。

④戻るキー

文字入力キーに割り当てられている1つ前の文字に戻ります。
1秒以上タップすると次の文字を入力できる状態になります。同じ文字入力キーの文字を続けて入力することができます。

⑤バックスペースキー

　カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると文字を連続して削除します。

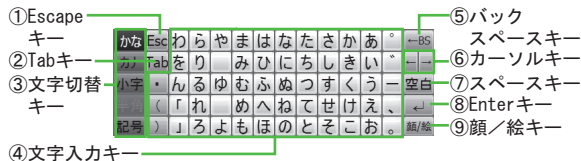
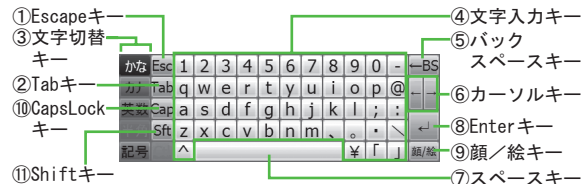
⑥Enterキー

　項目の選択、値の入力、改行などを行います。

⑦絵／記号キー

　記号／顔文字／絵文字の一覧画面に切り替わります。

キーボード

■ひらがな／カタカナ

■ローマ字／かな

①Escapeキー

　操作を取り消します。

②Tabキー

　一定の位置までカーソルを移動させます。

③文字切替キー

　入力する文字の種類を漢字／ひらがな（かな）、カタカナ（カナ）、英数字（英数）、小文字（小字）、全角／半角（半角）、記号（記号）に切り替えます。

④文字入力キー

　文字を入力します。

⑤バックスペースキー

・直前の文字を削除します。

・変換中は、元の読み（入力）に戻します。

⑥カーソルキー

　カーソルを左右に移動させます。

⑦スペースキー

　空白を入力します。

⑧Enterキー

　項目の選択、値の入力、改行などを行います。

⑨顔／絵キー

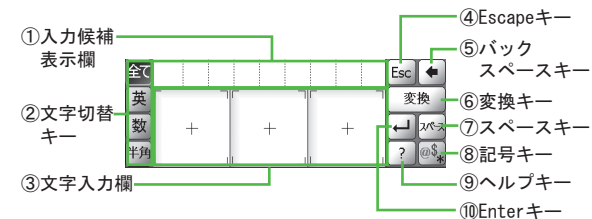
　顔文字／絵文字の一覧画面に切り替わります。

⑩CapsLockキー

　大文字入力モードにロックし、大文字を連続で入力できます。

⑪Shiftキー

　大文字を１回入力できます。

手書き入力

①入力候補表示欄
　文字入力欄に書いた文字から推測される文字候補が表示されます。対象の文字をタップすると、文字が入力されます。

②文字切替キー
　手書きで入力する文字の種類をすべて（全て）、英字（英）、数字（数）、全角／半角（半角）に切り替えます。

③文字入力欄
　スタイラスを使って、手書きで文字を書きます。文字を書き終わってしばらくすると、書いた文字が入力されます。

④Escapeキー
　操作を取り消します。

⑤バックスペースキー
　カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると文字を連続して削除します。

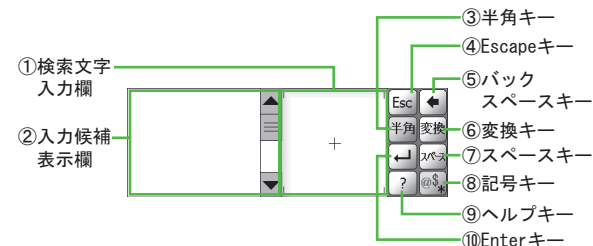
⑥変換キー
　文字候補の最初に表示されている文字が入力されます。入力文字の変換はできません。

⑦スペースキー
　空白を入力します。

⑧記号キー
　記号一覧画面に切り替わります。

⑨ヘルプキー
　各キーの機能を確認できます。

⑩Enterキー
　項目の選択、改行などを行います。

手書き検索

①検索文字入力欄
　スタイラスを使って、手書きで文字を書きます。

②入力候補表示欄
　検索文字入力欄に書いた文字から推測される文字候補が表示されます。対象の文字をタップすると、文字が入力されます。

③半角キー
　全角／半角を切り替えます。

④Escapeキー
　操作を取り消します。

⑤バックスペースキー
　カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると文字を連続して削除します。

⑥変換キー

文字候補の最初に表示されている文字が入力されます。入力文字の変換はできません。

⑦スペースキー

空白を入力します。

⑧記号キー

記号一覧画面に切り替わります。

⑨ヘルプキー

各キーの機能を確認できます。

⑩Enterキー

項目の選択、改行などを行います。

文字の入力方法

ひらがな／漢字を入力する

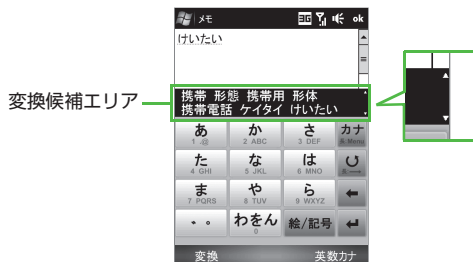
キーパッドで入力する

漢字を入力するには、文字入力キーをタップしてひらがなを入力し、変換候補から選択します。

<例：「携帯」と入力する場合>

1. 文字の種類が「漢字／ひらがな」になっていることを確認
2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

か(4回) あ(2回) た(1回) あ(2回)
け い た い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。
変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の ▲／▼ をタップして変換候補をスクロールすることができます。

英数カナをタップすると、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。
変換をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。

3. 「携帯」をタップ

「携帯」が入力されます。
選択した文字によっては、さらに変換候補を選択することが可能です。

補足

- 一度入力した文字列は自動的に記憶され、変換時に使用頻度が高い文字列が優先的に表示されます（学習辞書）。

キーボードで入力する

漢字を入力するには、文字入力キーをタップしてひらがなを入力し、変換候補から漢字を選択するか、漢字に変換します。

● ローマ字でのひらがな入力については、P.17-17を参照してください。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

1. 文字の種類が「漢字／ひらがな（かな）」になっていることを確認

2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

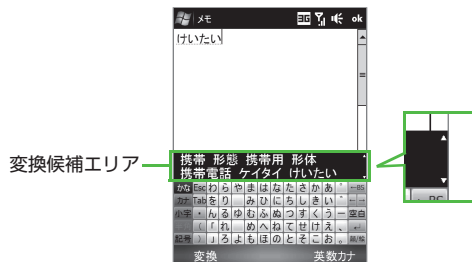
■ひらがな／カタカナの場合

「け」	「い」	「た」	「い」
け	い	た	い

■ローマ字／カナの場合

「k」「e」	「i」	「t」「a」	「i」
け	い	た	い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。

変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の ▲ ／ ▼ をタップして前後の変換候補に切り替えることができます。

英数カナをタップすると、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。

変換をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。

カーソルキーをタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3. 「携帯」をタップ

「携帯」が入力されます。

選択した文字によっては、さらに変換候補を選択することが可能です。

補足

- 一度入力した文字列は自動的に記憶され、変換時に使用頻度が高い文字列が優先的に表示されます（学習辞書）。

記号／絵文字／顔文字を入力する

登録されている記号／絵文字／顔文字を入力できます。

● 利用できる記号や絵文字については、P.17-19を参照してください。

キーパッドで入力する

1. 文字入力中 ＞ 絵／記号キー

最初に記号一覧画面が表示されます。記号／絵文字／顔文字一覧は以下のように切り替えます。

2. 対象の記号／絵文字／顔文字キーをタップ

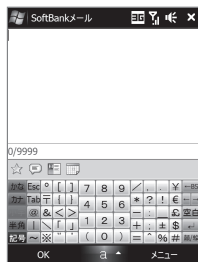
連続入力キーをタップすると、連続して入力できます。

注意

- 絵文字はSMS、S!メールでのみ使用できます。メモなど絵文字非対応の機能では、絵文字は表示されません。また、絵文字非対応ソフトバンク携帯電話では、絵文字は表示されません。

キーボードで入力する

1. 記号キーまたは顔／絵キー

記号一覧または顔文字／絵文字一覧画面が表示されます。

2. 対象の記号／顔文字／絵文字キーをタップ

補足

- キーボードでは、「かお」と入力してから変換をタップしても顔文字を入力できます。

予測変換機能を設定する

予測変換機能をオンにしていると、入力した文字から予測される変換候補が予測変換候補エリアに表示されます。

1. 文字入力中 > 画面下中央の をタップ > 設定

2. 10キー入力／ひらがな／カタカナ／ローマ字／かなを選択 > オプション > 設定タブ

3. 「予測入力を有効にする」にチェックを付ける／外す > ok > ok

補足

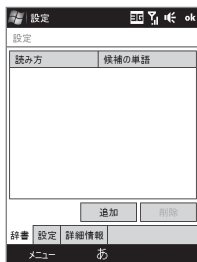
- スタート > 設定 > 入力でオプションをタップし、設定タブを選択しても、予測変換機能を設定できます。

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語をお好きな読みで辞書に登録しておくと、その読みで入力して変換したときに登録した単語が表示されます。

新しい単語を登録する

1. 文字入力中 ＞ 画面下中央の をタップ ＞ 設定
2. 10キー入力／ひらがな／カタカナ／ローマ字／かなを選択 ＞ オプション

   辞書画面が表示されます。

3. 追加
4. 読みかたと候補の単語を入力 ＞ OK
5. ok ＞ ok

単語を削除する

1. 文字入力中 ＞ 画面下中央の をタップ ＞ 設定
2. 10キー入力／ひらがな／カタカナ／ローマ字／かなを選択 ＞ オプション
3. 対象の単語を選択 ＞ 削除 ＞ OK ＞ ok
4. ok ＞ ok

補足

- スタート ＞ 設定 ＞ 入力でオプションをタップしても、単語を登録／編集できます。

連絡先／PIM機能

連絡先

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

● 本機に登録できる連絡先の件数は、本体メモリの空き容量によって異なります。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードの種別によって異なります。
● 連絡先に登録できる内容は以下のとおりです。

登録内容	説明
名前	姓名とそれぞれのフリガナ、ニックネームを登録できます。
画像	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
勤務先	勤務先、フリガナ、部署、役職、住所、事業所などの情報を登録できます。
表題	登録した連絡先の表示のしかたを設定できます。
電話番号	勤務先、携帯電話、自宅電話、自動車電話、会社代表電話、PHS、秘書の電話の番号をそれぞれ登録できます。
FAX番号	勤務先、自宅の番号をそれぞれ登録できます。
IM	インスタントメッセージの宛先を登録できます。
電子メール	電子メールのアドレスを登録できます。
着信音	着信音を個別に設定できます。
Webページ	WebサイトのURLなどを登録できます。
自宅住所	自宅の住所を登録できます。
分類項目	連絡先の分類を選択できます。
ポケットベル	ポケットベルの番号を登録できます。
その他のデータ	その他の住所、秘書、上司、ID番号、アカウント、カスタマーID、誕生日、記念日、配偶者、子供、メモの情報を登録できます。

補足

• 連絡先一覧画面から**メニュー** > **オプション**をタップし、「市外局番：」に番号を入力すると、市外局番があらかじめ入力された状態で電話番号を入力できます。

新しい連絡先を登録する

1. **スタート** > **連絡先** > **新規作成**

2. **登録先を選択**

Outlook連絡先：本体メモリに登録します。
SIMカード連絡先：USIMカードに登録します。

3. **各項目を入力** > **ok**

■個別に着信音を登録する場合

「着信音」を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたとき、個別に着信音を鳴らすことができます。

■電話番号に「p」（ポーズ）や「w」（ウェイト）を挿入した場合

電話番号に「p」（ポーズ）や「w」（ウェイト）を挿入すると、電話をかけるときに、間に約1秒のポーズや一時停止（ウェイト）を入れることができます。ウェイトで一時停止したときは、通話ボタン（ ）を押すとダイヤルを再開します。

■新しい分類項目を作成する場合

＞ 分類項目選択画面 ＞ 新規 ＞ 分類項目名を入力 ＞ 完了

連絡先の内容を確認する

連絡先の表示方法を変更する

1. スタート ＞ 連絡先

連絡先一覧画面が表示されます。

2. メニュー ＞ 表示方法 ＞ 表示方法を選択

名前：連絡先の一覧が表示されます。

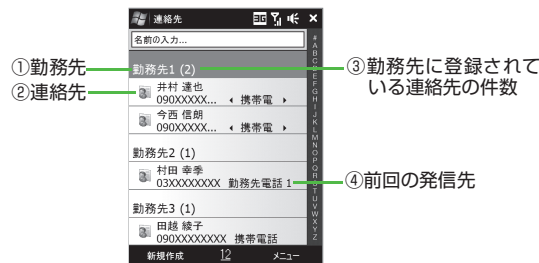
勤務先：勤務先の一覧が表示されます。対象の勤務先を選択すると、その勤務先に登録されている連絡先の一覧が表示されます。

■条件を指定して表示する場合

＞ メニュー ＞ フィルタ ＞ 項目を選択

補足

- フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、メニュー ＞ フィルタ ＞ すべての連絡先をタップします。
- 連絡先一覧画面からメニュー ＞ オプションをタップし、「名前のみを表示する」にチェックを付けると、連絡先一覧画面には名前のみ表示されます。

連絡先一覧画面の見かた

勤務先表示の場合

① 勤務先

② 連絡先

:本体メモリに登録されている連絡先

:USIMカードに登録されている連絡先

③ 勤務先に登録されている連絡先の件数

④ 前回の発信先（ナビゲーションコントロール（左右）により入れ替えることができます。）

携：携帯電話に登録されている番号
社、社2：勤務先電話に登録されている番号
家、家2：自宅電話に登録されている番号
代：会社代表電話に登録されている番号
ポ：ポケットベルに登録されている番号
車：自動車電話に登録されている番号
PHS：PHSに登録されている番号
秘：秘書の電話に登録されている番号
sms：携帯電話に登録されている番号へのSMS
E、E2、E3：電子メールに登録されているアドレス
im、im2、im3：IMに登録されているアドレス
Web：Webページに登録されているURL

連絡先を検索する

連絡先を簡単に検索することができます。
連絡先の表示方法により検索の対象が異なります。

1. スタート > 連絡先
2. メニュー > 表示方法 > 名前または勤務先
3. 検索文字列入力欄に検索する名前（姓／名）、または勤務先の最初の文字を入力

表示方法が名前の場合は、名前（姓／名）が検索の対象、表示方法が勤務先の場合は、勤務先が検索の対象となります。
続けて文字を入力すると、さらに絞り込むことができます。

■例：表示方法が名前のときに「い」を入力した場合
姓または名のフリガナが「い」ではじまる連絡先が表示されます。

■例：表示方法が勤務先のときに「い」を入力した場合
勤務先のフリガナが「い」ではじまる連絡先が表示されます。

補足

- 絞り込んだ内容を元に戻す場合は、検索文字列入力欄の文字を消去してください。
- フィルタ機能を併用することができます。
- 連絡先一覧画面からメニュー > オプションをタップし、「タブを表示する」にチェックを付けると、連絡先一覧画面に行タブが表示されます。

連絡先の詳細内容を確認する

1. スタート > 連絡先
2. 対象の連絡先を選択

   連絡先詳細画面が表示されます。
   概要／メモタブで表示内容を切り替えることができます。

連絡先の内容を変更する

1. スタート > 連絡先
2. 対象の連絡先を反転表示
3. メニュー > 編集
4. それぞれの値を編集 > ok

連絡先を削除する

1. スタート > 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニュー > 連絡先の削除 > はい

連絡先からメールを作成する

SMS／S! メールを作成する

1. スタート ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニュー ＞ SMS送信／S! メール（電話番号）送信／S! メール（メール）送信

   SMS送信：「携帯電話」に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。

   S! メール（電話番号）送信：「携帯電話」に登録されている電話番号を宛先にしたS! メールを作成します。

   S! メール（メール）送信：「電子メール」に登録されている電子メールアドレスを宛先にしたS! メールを作成します。
4. 本文などを入力しメール送信

   詳細については、「SMS／S! メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。

補足

- 連絡先一覧画面からメニューをタップしても、SMS／S! メールを作成することができます。
- 「携帯電話」に電話番号が登録されていない場合は、SMS送信、S! メール（電話番号）送信は表示されません。
- 「電子メール」に電子メールアドレスが登録されていない場合は、S! メール（メール）送信は表示されません。

インターネットメールを作成する

1. スタート ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. 対象の電子メールアドレスを選択
4. インターネットメールのアカウントを選択
5. 件名や本文などを入力しメール送信

   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

連絡先を送信する

連絡先をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-6を参照してください。

1. スタート ＞ 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニュー ＞ 連絡先の送信 ＞ ビーム

   送信先の検索がはじまります。

   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

連絡先をS!メールで送信する

1. スタート > 連絡先
2. 対象の連絡先を選択
3. メニュー > vCardとして送信
4. 宛先や件名、本文などを入力しメール送信

   詳細については、「SMS／S!メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。

SIMマネージャを使う

USIMカードに連絡先を登録することができます。

USIMカードに連絡先を追加する

1. スタート > 連絡先 > メニュー > SIMマネージャ
2. 新規作成
3. 各項目を入力 > 保存

補足

- 電話番号2、電子メールに入力した内容は、SIMマネージャからのみ参照できます。連絡先一覧画面（P.4-3）などからは参照できません。

SIMマネージャのメニュー

SIMマネージャでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
編集	USIMカードの連絡先を編集します。	
削除	USIMカードの連絡先を削除します。	
ダイヤル	USIMカードの連絡先に電話をかけます。	
送信	USIMカードの連絡先にメールを送信します。	
連絡先の削除	本体メモリの連絡先を削除します。	
連絡先に保存	USIMカードの連絡先を本体メモリに保存します（P.4-7）。	
USIMに保存する連絡先	本体メモリの連絡先をUSIMカードに保存します（P.4-7）。	
すべて選択	USIMカードの連絡先をすべて選択します。	
最新情報に更新	現在の連絡先の表示を更新します。	
ツール	USIM情報	USIMカードに関する情報を表示します。
バージョン情報	SIMマネージャのバージョン情報を表示します。	

本体メモリの連絡先をUSIMカードに保存する

1. スタート > 連絡先 > メニュー > SIMマネージャ
2. メニュー > USIMに保存する連絡先

   名前と電話の一覧が表示されます。USIMカードに保存しない項目がある場合は、チェックを外してください。
3. 保存 > はい > ok

■本体メモリから特定の電話番号を選んでUSIMカードにコピーする場合

> スタート > 連絡先 > 対象の連絡先を選択 > 対象の項目を反転表示 > メニュー > SIMカードに保存 > 名前と電話番号を確認（必要であれば修正）> ok

USIMカードの連絡先を本体メモリに保存する

1. スタート > 連絡先 > メニュー > SIMマネージャ
2. 対象の連絡先を反転表示 > メニュー > 連絡先に保存
3. ok

予定表

予定を登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、登録した内容をお知らせします。

予定表を表示する

表示する単位を切り替える

1. スタート > 予定表
2. 日／週／月／年／予定一覧

   タップするたびに日単位→週単位→月単位→年単位→予定一覧の順に切り替わります。

補足

- メニューより表示する単位を切り替えることもできます。
- 月単位、年単位の表示で日付をタップすると、日単位の表示に切り替わります。

指定した日の予定を表示する

1. スタート > 予定表
2. メニュー > 指定の日付へ移動 > 日付をタップ

■今日の予定を表示する場合

> メニュー > 今日へ移動

条件を指定して表示する

1. スタート ＞ 予定表
2. メニュー ＞ フィルタ ＞ 項目を選択

予定表のオプション設定

表示形式やアラームの初期値など、予定表に関する設定を行います。

1. スタート ＞ 予定表
2. メニュー ＞ ツール ＞ オプション
3. 以下の項目を設定

項目	説明
既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日にするか月曜日にするかを設定します。
週単位の表示	週単位の表示にて、1週間のうち何日表示するかを設定します。
30分単位で表示する	チェックを付けると、日単位、週単位表示の時間軸が30分単位で表示されます。
週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。
新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時のアラームの初期値を設定できます。
アイコンの表示	予定登録画面に表示するアイコンを設定します。
会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

4. ok

予定を登録する

1. スタート ＞ 予定表
2. メニュー ＞ 新しい予定
3. 以下の項目を設定

項目	説明
件名	予定の名称を入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
パターン	1回だけの予定か定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
アラーム	事前通知（開始日時からどのくらい前に通知するか）を設定します。
分類項目	予定の分類を選択できます。分類を設定すると、フィルタ機能の条件として指定できます。
出席者	出席者を連絡先から設定できます。出席者を設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。
公開方法	予定の種類を設定します。
秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	メモを入力できます。

4. ok

予定を変更する

1. **スタート ＞ 予定表**
   月単位、年単位の表示の場合は、変更する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示にしてください。
2. **変更する予定を選択**
3. **メニュー ＞ 編集**
   定期的な予定の場合は、すべての予定を編集するか選択した予定のみを編集するかの確認メッセージが表示されます。
4. **それぞれの項目を編集 ＞ ok**
   出席者を登録している場合は、予定を変更したことを出席者に通知するかどうかの確認メッセージが表示されます。

予定を削除する

1. **スタート ＞ 予定表**
   月単位、年単位の表示の場合は、削除する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示にしてください。
2. **対象の予定を選択**
3. **メニュー ＞ 削除 ＞ はい**
   定期的な予定の場合は、すべての予定を削除するか選択した予定のみ削除するかの確認メッセージが表示されます。
   出席者を登録している場合は、予定を削除したことを出席者に通知するかどうかの確認メッセージが表示されます。

予定を送信する

予定をS!メールで送信する

1. **スタート ＞ 予定表**
   月単位、年単位の表示の場合は、送信する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示にしてください。
2. **対象の予定を選択**
3. **メニュー ＞ vCalendarとして送信**
4. **宛先や件名、本文などを入力しメール送信**
   詳細については、「SMS／S!メールを作成する」（P.5-4）を参照してください。

注意

- 予定の内容をvCalendarファイルとして保存することはできません。

予定をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-6を参照してください。

1. **スタート ＞ 予定表**
   月単位、年単位の表示の場合は、送信する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示にしてください。
2. **対象の予定を選択**
3. **メニュー ＞ ビーム**
   送信先の検索がはじまります。
   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

仕事

大事な用件や仕事の進捗状況を管理することができます。仕事には優先度やアラームなどを設定できます。

新しい仕事を登録する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. メニュー ＞ 新しい仕事
3. 以下の項目を設定

項目	説明
件名	仕事の名称を入力または選択します。
優先度	仕事の優先度を設定します。
進捗状況	作業中の仕事か終了した仕事かを設定します。
開始日	仕事の開始日を設定します。
期限	仕事の期限を設定します。
パターン	1回だけの仕事か定期的（毎週、毎月、毎年）な仕事かを設定します。
アラーム	アラーム通知する日時を設定します。
分類項目	仕事の分類を設定できます。分類を設定すると、フィルタ機能の条件として指定できます。
秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	メモを入力できます。

4. ok

■件名のみの仕事を登録する場合

＞「ここをタップして新しい仕事を追加」と表示されている枠をタップ ＞ 件名を入力

優先度が高い場合は ! 、低い場合は ↓ をタップしてから件名を入力します。

仕事の内容を編集する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. 対象の仕事を選択
3. 編集 ＞ それぞれの値を編集 ＞ ok

登録した仕事を削除する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. 対象の仕事を選択
3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. メニュー ＞ オプション
3. 以下の項目を設定

項目	説明
新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定するかどうかを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示するかどうかを設定します。
仕事入力バーを表示する	件名のみの仕事を登録する入力バーを表示するかどうかを設定します。

4. ok

仕事内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルタ機能を利用することができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. メニュー ＞ 並べ替え ＞ 項目を選択

■フィルタ機能で条件を指定して表示する場合

＞ メニュー ＞ フィルタ ＞ 項目を選択

補足

- フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、メニュー ＞ フィルタ ＞ すべての仕事をタップします。ただし、作業中の仕事または終了した仕事で絞り込んでいる場合は、絞り込んでいる条件（チェックが入っている項目）を再度タップします。
- 並べ替えとフィルタは併用できます。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. 対象の仕事を反転表示
3. 作業の終了／作業中

   タップするたびに表示が切り替わります。
   作業の終了をタップすると、自動的にチェックボックスにチェックが付きます。

補足

- 仕事を登録するときに、作業の終了した仕事として登録することもできます。

仕事を送信する

仕事をBluetooth®通信で送信する

● Bluetooth®通信機能の設定についてはP.9-6を参照してください。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 仕事
2. 対象の仕事を選択
3. メニュー ＞ ビーム

   送信先の検索がはじまります。
   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

メモ

メモを作成／描画する

1. スタート ＞ プログラム ＞ メモ

   メモ画面が表示されます。
2. 新規

   メモ入力画面が表示されます。
3. 内容を入力

   ■文字を入力する場合

   入力パネルを表示して文字を入力します。

   ■絵を描く場合

   スタイラスでタッチパネル上に絵を描きます。
4. ok

ボイスメモを録音／再生する

ボイスメモを録音する

メモ画面で音声を録音した場合は、音声ファイルとして登録されます。メモ入力画面で音声を録音した場合は、ボイスメモとしてメモに添付されます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ メモ

   メモ画面が表示されます。

2. メニュー > 録音ツールバーの表示

音声ファイルとして録音する場合は、操作4へ進んでください。

3. **新規**

メモ入力画面が表示されます。
録音ツールバーが消えた場合は、操作2を繰り返します。

4. ●

録音が開始されます。

5. ■

録音が停止します。
メモ入力画面で録音した場合は、続けて音声を録音することができます。

6. ok

ボイスメモを再生する

1. スタート > プログラム > メモ

メモ画面が表示されます。

2. **対象のメモを選択**

メモ入力画面が表示されます。
音声ファイルを選択した場合は、録音されている内容が再生されます。

3. **対象の をタップ**

録音されている内容が再生されます。

4. ok

■ボイスメモ再生中の録音ツールバーの操作について

アイコン	説明
●	新しいボイスメモの録音
■	停止
⏸／▶	一時停止／再生
⏮／⏭	巻戻し／早送り
🔈	音量調整

メモのメニュー

メモでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■メモ画面

項目	説明
録音ツールバーの表示	録音ツールバーを表示します。
名前の変更／移動	メモの名前変更、移動、保存場所を設定します。
削除	メモを削除します。
コピー作成	メモをコピーします。
すべて選択	すべてのメモを選択します。
送信	メモを利用してメールを送信します（P.4-14）。
ファイルをビームする	メモをBluetooth®通信で送信します。
オプション	既定のモード、テンプレート、保存場所や録音ツールバーを使用したときの動作を設定します。

■メモ入力画面

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>録音ツールバーの表示</td><td colspan="2">チェックを付けると、録音ツールバーが表示されます。</td></tr>
<tr><td>描画</td><td colspan="2">チェックを付けると、スタイラスで絵を描くことができます。</td></tr>
<tr><td>元に戻す</td><td colspan="2">直前の動作を元に戻します。</td></tr>
<tr><td>やり直し</td><td colspan="2">「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td>切り取り／コピー</td><td colspan="2" rowspan="2">メモの内容をコピーしたり、移動したりします。</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td></tr>
<tr><td rowspan="2">編集</td><td>クリア</td><td>選択している項目を消去します。</td></tr>
<tr><td>すべて選択</td><td>メモ内のすべての項目を選択します。</td></tr>
<tr><td>ズーム</td><td colspan="2">表示を拡大、縮小します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ツール</td><td>名前の変更／移動</td><td>メモの名前変更、移動、保存場所を設定します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>メモを削除します。</td></tr>
<tr><td>送信</td><td>メモを利用してメールを送信します（P.4-14）。</td></tr>
<tr><td>ビーム</td><td>メモをBluetooth®通信で送信します。</td></tr>
</table>

メモを編集する

● 音声ファイルは編集できません。

1. スタート ＞ プログラム ＞ メモ
2. 対象のメモを選択
   メモ入力画面が表示されます。
3. 内容を編集
4. ok

メモを利用してメールを送信する

1. スタート ＞ プログラム ＞ メモ
2. 対象のメモを反転表示
3. メニュー ＞ 送信
4. インターネットメールのアカウントを選択
   メモの内容が自動的にメールの本文に貼り付けられます。
5. 宛先や件名などを入力しメール送信
   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

メール

メールの種類について

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで、電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。

補足

- メッセージは全角または半角で70文字（すべて半角英数で入力した場合は160文字）まで入力できます。ファイルを添付することはできません。

S!メール

ソフトバンク携帯電話やパソコン、インターネットメールに対応している携帯電話などとの間で、画像や音楽を添付したメッセージを送受信できます。

● メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）は変更することができます（P.5-18）。

補足

- 件名、本文、メールアドレス、添付ファイルを合わせて最大300Kバイトまで送受信できます。添付ファイルは最大で20件まで添付することができます。

インターネットメール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されているインターネットメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。

● インターネットメールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります（P.5-19）。

● 本機のインターネットメールで送受信を行うと、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーを同じ状態に保つように動作します。

注意

- インターネットメールは、SMSやS!メールとは異なり、自動的にメールは受信されません。メールサーバーとの同期を行う（ActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターの同期とは異なります）ことによって、メールの受信が行われます。
- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Exchange Serverでメール機能を使用する場合には、自動的にメールを受信できます（P.5-3）。
- インターネットメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

Exchange Serverによるメール

会社のExchange Serverのメールを使用する場合、ActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターにて設定を行います。設定方法については社内システム管理者にご確認ください。

パソコンとの同期によるOutlookメール

お手持ちのパソコンとActiveSyncやWindows Mobile®デバイスセンターで同期すると、本機に「Outlookメール」というアカウントが自動的に作成されます。「Outlook メール」は ActiveSync や Windows Mobile® デバイスセンターを使ってパソコンと同期するためのアカウントですので、このアカウントでメールを受信することはできません。また、このアカウントから送信したメールは、パソコンと同期したときにパソコン側のOutlookの送信トレイに移動されます。

- パソコンとの同期対象の初期値は受信トレイのみですが、パソコン側のOutlookで作成したフォルダなどを、本機からの操作により同期対象に設定することができます（スタート ＞ Outlook ＞ Outlook メール ＞ メニュー ＞ ツール ＞ フォルダの管理 ＞ 対象のフォルダを選択）。

SMS／S!メールを作成する

SMS／S!メールを新規に作成して送信します。

1. スタート ＞ プログラム ＞ SoftBank メール

フォルダ一覧画面が表示されます。

2. 新規作成

3. メールの種類（S!メール／SMS）を選択

メール作成画面が表示されます。

S!メール

SMS

4. 「宛先」（宛先入力欄）をタップ

宛先画面が表示されます。

5. 宛先の入力方法を選択

連絡先：連絡先から宛先を選びます。
送信履歴：送信履歴から宛先を選びます。
宛先直接入力：宛先を直接入力します。
通話履歴：通話履歴から宛先を選びます。

S!メールで、宛先をCcやBccに設定したい場合は、宛先画面で対象の宛先を反転表示 ＞ メニュー ＞ Ccに変更またはBccに変更を選択してください。

6. 「件名」（件名入力欄）をタップ ＞ 件名を入力 ＞ OK

SMSの場合は、件名を入力できません。

7. 「本文を入力」（本文入力欄）をタップ ＞ 本文を入力 ＞ OK

本文を装飾したり、本文に情報を貼り付ける操作については、P.5-5を参照してください。

8. 送信

メールが送信されます。

9. 消去

■SMSとS!メールを切り替える場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ S!メールで送信またはSMSで送信

SMSを作成している場合は、S!メールのメール作成画面が、S!メールを作成している場合は、SMSのメール作成画面が表示されます。

■メールの作成を中止する場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ 編集をキャンセル

作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

補足

- 宛先のCc、Bccには、参考に送信したい相手を設定します。なお、Bccに設定したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

本文を装飾したり、情報を貼り付ける

本文の内容を装飾したり、本文や件名に、定型文（よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能）やお気に入りのURL、連絡先の情報などを貼り付けることができます。

1. メール作成画面 ＞「件名」（件名入力欄）または「本文を入力」（本文入力欄）をタップ

2. メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
定型文	定型文に登録されている内容を貼り付けます。定型文の内容を編集したり、新規に作成することもできます。
定型文として保存	本文の内容を定型文に保存します。
お気に入りを挿入	お気に入りに登録されているWebページのアドレス（URL）を貼り付けます。
連絡先を挿入	連絡先の情報を貼り付けます。
予定を挿入	予定や仕事の情報を貼り付けます。
文字サイズ※	文字サイズを変更します。
文字色※	文字色を変更します。
文字背景※	文字の背景色を変更します。
コピー／切り取り	本文の内容をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	
キャンセル	入力した内容を破棄し、メール作成画面に戻ります。

※ SMS作成時または件名入力時には表示されません。

ツールバーを使って情報を挿入する

ツールバーの各アイコンに割り当てられている機能は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
☆	お気に入りを挿入		連絡先の情報を挿入
	定型文を挿入		予定、仕事の情報を挿入

ファイルを添付する

S!メールに、動画や静止画などを添付して送信することができます。

1. S!メールのメール作成画面

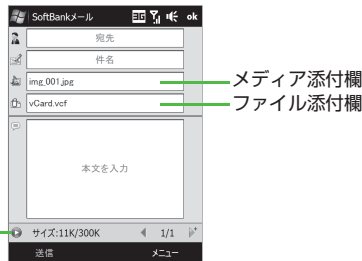
2. メニュー ＞ 追加

3. 以下の項目から選択し、ファイルを添付

項目	説明
ビデオ	動画を添付します。
フォト	静止画を添付します。
オーディオ	音楽を添付します。
ビデオをキャプチャ	カメラを起動し、その場で撮影した動画／静止画を添付します。
静止画をキャプチャ	
録音する	その場で録音した音声を添付します。
vCard	連絡先を添付します。
vCalendar	予定表を添付します。
ファイルを選択	その他のファイルを添付します。

4. メール作成画面に添付されたファイルが表示される

動画／静止画／音楽ファイルを添付した場合は、メディア添付欄に表示されます。

vCard／vCalendar／ファイルを選択を選択してファイルを添付した場合は、ファイル添付欄に表示されます（ファイル添付欄はvCard／vCalendar／ファイルを選択を選択した場合に表示されます）。

補足

- ファイルによっては、メールに添付できない場合があります。
- 動画／静止画／音楽ファイルは、S!メールのメール作成画面で「ファイルの追加」（メディア添付欄）をタップしても添付できます。

添付ファイルを削除する

1. S! メールのメール作成画面
2. メディア添付欄またはファイル添付欄をタップ
   動画／静止画／音楽ファイルを削除する場合はメディア添付欄、それ以外はファイル添付欄をタップしてください。
3. 対象のファイルを反転表示
4. メニュー > 削除 > OK

テンプレートを利用する

S! メールでは、テンプレートを利用し、簡単にメールを作成することができます。

1. S! メールのメール作成画面
2. メニュー > テンプレート > テンプレートから新規作成
3. OK
   テンプレートを利用すると、現在の入力内容は破棄されます。破棄したくない場合は、キャンセルをタップしてください（キャンセルをタップすると、メール作成画面に戻ります）。
4. 対象のテンプレートを選択
   テンプレートが適用されたメール作成画面が表示されます。

テンプレートを保存する

作成中のS! メールや受信したS! メールの内容を、テンプレートとして保存することができます。

<例：作成中のS! メールをテンプレートとして保存する場合>

1. S! メールのメール作成画面
2. メニュー > テンプレート > テンプレートとして保存
   現在入力されている内容がテンプレートとして保存されます。件名入力欄に入力されている内容が、テンプレートのタイトルとなります。
3. ok

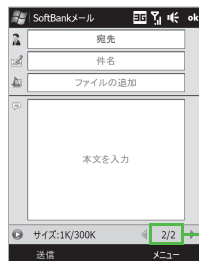
補足

- 宛先入力欄の内容は、テンプレートとして保存されません。

スライドを利用する

スライドとは、メールの本文と画像／動画などの添付ファイルを1つにまとめたものです。S!メールでは複数のスライドを作成して送信することができます。

スライドを作成する

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー ＞ オプション ＞ スライド ＞ 追加
   新規のスライドが作成されます。
   ◁／▷をタップすると、前後のスライドに切り替わります。
   ▷⁺をタップすると、新規のスライドが追加されます。

3. 本文や添付ファイルを追加

スライドについて設定する

1. S!メールのメール作成画面
2. メニュー ＞ オプション ＞ スライド ＞ スライド編集
   スライド編集画面が表示されます。
3. 対象のスライドを選択 ＞ メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
先へ	スライドを前後に並べ替えます。
戻る	
持続時間の自動調整	スライドの持続時間（次のスライドに移行するまでの時間）を自動調整します。
削除	スライドを削除します。

■スライドを挿入する場合
＞ 挿入

■スライドを手動で並べ替える場合
＞ 対象のスライドを移動先にドラッグ

■持続時間を手動で設定する場合
＞ 対象のスライドの持続時間入力欄をタップ ＞ 持続時間を入力

作成したS!メールを確認する

S!メールでは、作成したメールの内容を確認（プレビュー）できます。

1. S!メールのメール作成画面

2. メニュー ＞ メールのプレビュー

メール確認画面が表示され、本文の内容や添付ファイルの内容を確認できます。

■スライドを作成している場合

ツールバーの各アイコンをタップして以下の操作ができます。

- ：前のスライドに切替
- ：次のスライドに切替
- ：全画面表示
- ：スライド再生
- ：スライド再生停止

■添付ファイルや本文情報を確認する場合

＞ メール確認画面 ＞ メニュー ＞ 添付表示 ＞ 対象のファイルを選択

添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。

■文字サイズを変更する場合

＞ メール確認画面 ＞ メニュー ＞ 文字サイズ ＞ 対象の文字サイズを選択

■S!メールの詳細を確認する場合

＞ メール確認画面 ＞ メニュー ＞ 表示 ＞ メッセージの詳細

その他の設定

メール送信時の設定を行うことができます。

1. メール作成画面

2. メニュー ＞ オプション ＞ 送信オプション

SMSの場合は、メニュー ＞ 送信オプションを選択してください。

3. 以下の項目を設定

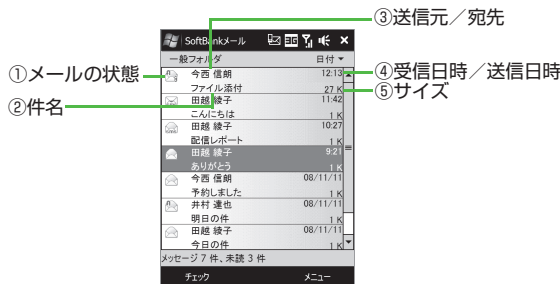
項目	説明
送信時間※	送信をタップしてからメールを送信するまでの時間を設定します。
有効期限	サーバーメールボックスの保存期間を設定します。
優先度※	メールの優先度（低／標準／高）を設定します。
配信確認	チェックを付けると、相手にメールが届いたことを通知するメッセージを受信します。

※ S!メールのときのみ表示されます。

4. OK

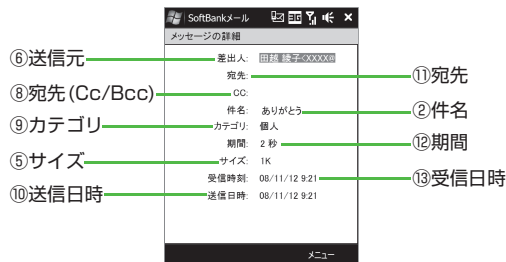
SMS／S!メールを受信する

SMS／S!メール画面の見かた

■SMS／S!メール一覧画面

受信ボックスの場合

■SMS／S!メール詳細画面

受信メールの場合

■S!メールのメッセージ詳細画面

受信メールの場合

① メールの状態

アイコン	説明
／／	未読メール
／／	既読メール
／／	返信済メール
／／	転送済メール
／／／	サーバーメールボックスに一時保存のS!メール（未読／既読／返信済み／転送済み）(P.5-14)
	送信待ちS!メール
	送信エラー S!メール
	配信確認済みSMS
	USIMカードに保存されているSMS

SMS：SMSの場合に表示されます。

：添付ファイルが存在する場合に表示されます。

② 件名
SMSの場合は本文
③ 送信元／宛先
受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
④ 受信日時／送信日時
受信メールの場合は受信日時、送信メールの場合は送信日時
⑤ サイズ
⑥ 送信元
送信メールの場合は非表示
⑦ 本文
⑧ 宛先（Cc／Bcc）
送信メールの場合はBccも表示
⑨ カテゴリ
⑩ 送信日時
受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時
⑪ 宛先
受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先
受信メールの場合は宛先が複数人いるときのみ表示
⑫ 期間
スライドの再生時間
⑬ 受信日時
送信メールの場合は非表示

 補足

- SMS の場合、受信日時、送信日時には本機で設定した日付と時刻が表示されます。

SMS／S! メールを読む

新着メールを確認する

1. メールを受信すると、メールを受信したことを示すメッセージが表示される

2. メニュー > 表示

SMS／S! メール詳細画面が表示されます。

 補足

- 操作 1 のメッセージは、何も操作しないまましばらくすると自動的に消えます。
- 未読メールがあるときに新着メールを受信した場合は、操作 1 のメッセージに未読メールの件数が表示されます。この場合、消去をタップして表示されたメッセージを消去し、受信ボックスから SMS／S! メールの詳細画面を表示してください。

メールの内容を確認する

1. スタート ＞ プログラム ＞ SoftBank メール

2. 受信ボックス ＞ **対象のフォルダを選択**

SMS／S! メール一覧画面が表示されます。

3. **対象のメールを選択**

SMS／S! メール詳細画面が表示されます。

メール一覧画面のメニュー

SMS／S! メール一覧画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■SMS／S! メール一覧画面（受信ボックス）

項目	説明	
全文受信	サーバーメールボックスに一時保存されているメールを受信します（P.5-14）。	
返信	メールを返信／転送します（P.5-14）。	
全員に返信		
転送		
削除	メールを削除します（P.5-17）。	
保護	メールを削除できないように保護します。	
その他	フォルダへ移動	メールを他のフォルダに移動します（P.5-17）。
	開封済みにする／未開封にする	メールの未開封／開封済みを変更します。
	送信者に電話する	送信元に電話番号をかけます。
	アドレスの保存	送信元のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、インターネットメールを作成したりできます。
	SIMにコピー	SMS をUSIM カードにコピーします（P.5-17）。
	すべて削除	フォルダ内のメールをすべて削除します（P.5-17）。
フォルダ表示	受信ボックス内のフォルダを表示します（P.5-16）。	
詳細表示	S! メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。	

■SMS／S! メール一覧画面（送信済みボックス）

項目	説明
編集再送信	メールを再編集します。
アドレスの保存	宛先のアドレスを利用して、連絡先として保存したり、インターネットメールを作成したりできます。
保護	メールを削除できないように保護します。
詳細表示	S! メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
削除	メールを削除します（P.5-17）。
すべて削除	

メール詳細画面のメニュー

SMS／S!メール詳細画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■SMS詳細画面（受信ボックス）

項目	説明
返信	メールを返信します（P.5-14）。
文字サイズ	文字サイズを変更します。
連絡先の詳細	送信元の詳細情報を確認します。

■S!メール詳細画面（受信ボックス）

項目	説明	
添付表示	添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。	
返信	メールを返信します（P.5-14）。	
文字サイズ	文字サイズを変更します。	
テンプレートとして保存	受信したS!メールの内容をテンプレートとして保存します（P.5-7）。	
表示	添付ファイル	静止画／動画／音楽以外のファイルが添付されている場合、ファイルの情報を確認します。
	メッセージの詳細	S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
	連絡先の詳細	送信元や宛先の詳細情報を確認します（SMSの場合は送信元の情報のみ）。

■SMS詳細画面（送信済みボックス）

項目	説明
文字サイズ	文字サイズを変更します。
連絡先の詳細	宛先の詳細情報を確認します。
ステータス表示	SMSの送信状況を確認します。

■S!メール詳細画面（送信済みボックス）

項目	説明	
編集	メールを再編集します。	
添付表示	添付ファイルや本文の情報を確認したり、ファイルとして保存したりすることができます。	
文字サイズ	文字サイズを変更します。	
表示	添付ファイル	ファイル添付欄に添付したファイルの情報を確認します。
	メッセージの詳細	S!メールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
	連絡先の詳細	宛先の詳細情報を確認します。

補足

- S!メールに音楽ファイルを添付しているときや、スライドを作成しているときには、ツールバーの各アイコンを操作して音楽ファイルやスライドを再生できます。
- 文字サイズで設定した内容は、詳細画面を終了するとお買い上げ時の設定に戻ります。

添付ファイルを確認／保存する

1. S!メール詳細画面
2. メニュー > 添付表示
3. 対象の添付ファイルを選択

添付ファイルが表示または再生されます。

■添付ファイルを保存する場合

> 対象の添付ファイルを反転表示 > メニュー > 保存または定型文として保存

■静止画や音楽ファイルを連絡先に割り当てる場合

> 対象の添付ファイルを反転表示 > メニュー > 連絡先に割り当て

SMS／S!メールを返信／転送する

1. SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）> 対象のメールを反転表示
2. メニュー > 返信
3. 返信の種類を選択

S!メール：S!メールとして返信します。
引用付きS!メール：S!メールとして、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールがS!メールのときのみ選択可能です）。
SMS：SMSとして返信します。
引用付きSMS：SMSとして、元のメールの内容を引用して返信します（元のメールがSMSのときのみ選択可能です）。

4. 件名や本文などを入力しメール送信

■メールの送信元およびCcに入っている人全員に返信する場合

> SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）> メニュー > 全員に返信 > S!メール／引用付きS!メール／SMS

■転送する場合

> SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）> メニュー > 転送

補足

• 受信メールのメール詳細画面からもメールを返信することができます。

S!メールの続きを受信する

以下のいずれかに当てはまる場合、送られてきたS!メールはサーバーメールボックスに一時保存され、メッセージの一部がお客様のソフトバンク携帯電話に送信されます。

・受信モード（P.5-18）を「手動」に設定しているとき
・受信モードを「電話番号のみ自動（ホームのみ）」に設定している場合に、宛先がメールアドレスのメールが送られてきたとき
・世界対応ケータイを利用しているとき

1. SMS／S!メール一覧画面（受信ボックス）> 対象のメールを反転表示
2. メニュー > 全文受信

メールの受信がはじまります。
受信が終わると、メールを受信したことを示す画面が表示されます。

メールリストを取得する

サーバーメールボックスに一時保存されているメールの一覧（メールリスト）を取得することができます。

1. フォルダ一覧画面
2. サーバーメール一覧 ＞ はい

   メールリストの取得がはじまります。
3. 消去

   メールリスト画面が表示され、サーバーメールボックスに一時保存されているメールを一覧で確認できます。

メールリストを利用する

取得したメールリストを利用して、サーバーメールボックス内のメールの受信、転送、削除などを行うことができます。

1. メールリスト画面
2. メニュー ＞ 以下の項目から選択

項目	説明
メールリストの読み込み	メールリストを更新します。
全文受信	反転表示したメールを受信します。
すべてをダウンロード	すべてのメールを受信します。
削除	反転表示またはチェックを付けたメールを削除します。
すべて削除	すべてのメールを削除します。
転送	反転表示したメールを他の宛先に転送します。
詳細表示	反転表示したメールのメッセージ詳細画面を表示します（P.5-10）。
メールボックス容量	サーバーメールボックスの使用状況を確認します。

■複数のメールを受信または削除する場合

1. メールリスト画面
2. 対象のメールを反転表示 ＞ チェック

   チェックの数だけ同様の操作を繰り返します。
3. メニュー ＞ 全文受信または削除

SMS／S!メールを管理する

フォルダの表示

受信ボックスでは、相手や内容などによってフォルダに分類したり、アドレスや件名をもとに自動的にメールを振り分けることができます。

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ フォルダを選択
2. メニュー ＞ フォルダ表示

   受信ボックスフォルダ一覧画面が表示されます。

フォルダを追加する

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. フォルダ作成

   フォルダが作成されます。

フォルダの名前を変更する

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. 対象のフォルダを反転表示
3. メニュー ＞ 名前の変更
4. 名前を入力 ＞ OK

補足

- 「一般フォルダ」、「迷惑メール」フォルダの名前は変更できません。

自動振り分けを設定する

受信時に、あらかじめ設定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けることができます。

1. 受信ボックスフォルダ一覧画面
2. 対象のフォルダを反転表示
3. メニュー ＞ メール振り分け設定
4. 自動振り分けのルールを設定

   連絡先からの新規アドレス：自動振り分けをするアドレスを連絡先から選択します。
   新しいアドレス：自動振り分けをするアドレスを手動で入力します。
   新しい件名：自動振り分けをするメールの件名を手動で入力します。
5. OK

補足

- 「一般フォルダ」、「迷惑メール」フォルダには、自動振り分けのルールは設定できません。

メールを他のフォルダに移動する

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ 対象のフォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示
3. メニュー ＞ その他 ＞ フォルダへ移動
4. 移動先のフォルダを選択 ＞ OK

SMS／S!メールを削除する

1. フォルダ一覧画面 ＞ 対象のフォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示
3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい

■複数のメールを削除する場合

1. フォルダ一覧画面 ＞ 対象のフォルダを選択
2. 対象のメールを反転表示 ＞ チェック
   対象のメールの数だけ同様の操作を繰り返します。
3. メニュー ＞ 削除 ＞ はい

■フォルダ内のメールをすべて削除する場合

1. フォルダ一覧画面 ＞ 対象のフォルダを選択
2. メニュー ＞ すべて削除
   受信ボックスの場合は、メニュー ＞ その他 ＞ すべて削除となります。
3. 「よろしければチェックボックスをチェックし、「はい」をタップしてください」にチェックを付ける ＞ はい

SMSをUSIMカードにコピーする

受信したSMSをUSIMカードにコピーすることができます。

1. フォルダ一覧画面 ＞ 受信ボックス ＞ 対象のフォルダを選択
2. 対象のSMSを反転表示
3. メニュー ＞ その他 ＞ SIMにコピー
4. ok

■USIMカードから本体メモリにコピーする場合

＞ 対象のSMSを反転表示 ＞ メニュー ＞ その他 ＞ 携帯にコピー ＞ ok

SMS／S!メールのオプション設定

SMS／S!メールに関する全般的な設定を行います。

1. フォルダ一覧画面 > 設定

2. 以下の項目を設定

項目	説明
メール・アドレス設定	メールアドレスの変更を行います。
一般設定	迷惑メールフォルダの使用や署名など、SMS、S!メールに共通な設定を行います。
S!メールの設定	受信モード、送受信の試行回数など、S!メールに関する設定を行います。
SMSの設定	配信レポート、有効期限など、SMSに関する設定を行います。
バージョン情報	SoftBank メールのバージョン情報を表示します。

メールアドレスの変更

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。迷惑メールを防止するためにも、他人に安易に推測されない文字列に変更することをおすすめします。

（例：変更前）
□□□□□□□□□□□□@softbank.ne.jp

（例：変更後）
「お好みのアカウント名」@softbank.ne.jp

- ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。
- 詳しくは「サービスガイド（3G）」を参照してください。

1. フォルダ一覧画面 > 設定 > メール・アドレス設定

インターネットに接続します。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

インターネットメールアカウントの設定

メールアカウントの設定

インターネットメールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

● 会社のExchange Serverのメールについては、ActiveSyncにて設定を行います。設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

メールアカウントの設定の準備

設定するメールアカウントについて、以下の情報を事前に確認しておいてください。

・メールアドレス
・ユーザー名（ユーザー ID）
・パスワード
・受信メールサーバーの種類（POP3またはIMAP4）
・受信メールサーバー名（POP／IMAP）
・送信サーバー名（SMTP）
・日付／時刻

新しいアカウントを追加する

1. スタート ＞ Outlook
2. 電子メールのセットアップ
3. 以下の情報を入力し、次へ

電子メールアドレス：
　アカウントのメールアドレスを入力します。
パスワード：
　プロバイダや社内システム管理者から提供されたパスワードを入力します。
パスワードの保存：
　メールサーバーにアクセスするたびにパスワードを入力したくない場合にチェックを付けます。

4. 「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」にチェックを付ける ＞ 次へ

　操作3の情報で電子メールの情報を自動的に取得します。取得できた場合は、以降の設定は自動的に設定されます。取得できなかった場合は、次へをタップして以降の設定を行ってください。

5. 以下の情報を入力し、次へ

電子メールプロバイダ：
　インターネット電子メールまたはカスタムドメインを選択します。

6. 以下の情報を入力し、次へ

名前：
　メールアカウントの利用者の名前（任意の名前）を入力します。
アカウントの表示名：
　メールアカウント名（任意の名前）を入力します。

7. 以下の情報を入力し、次へ

受信メールサーバー：
　受信メールサーバー名（POP／IMAP）を入力します。
アカウントの種類：
　受信メールサーバーをPOP3／IMAP4から選択します。

8. 以下の情報を入力し、次へ

受信サーバーとは異なるプロバイダの送信サーバーを設定することができます。

ユーザー名：
　プロバイダや社内システム管理者から提供されたユーザー名（またはユーザー ID）を入力します。

パスワード：
　プロバイダや社内システム管理者から提供されたパスワードを入力します。

パスワードの保存：
　メールサーバーにアクセスするたびにパスワードを入力したくない場合にチェックを付けます。

9. 以下の情報を入力し、次へ

送信（SMTP）メールサーバー：
　送信メールサーバー名（SMTP）を入力します。

送信サーバーで認証を要求する：
　プロバイダや社内システム管理者から指定がある場合のみチェックを付けます。

送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する：
　送信サーバーで認証を要求するにチェックを付けた場合のみ設定できます。

サーバーの詳細設定：
　サーバーに関する詳細設定を行います。

10. 以下の情報を設定

自動送受信：
　設定した時間間隔で受信メールサーバーに新しいメールが到着しているかどうかを確認します。

すべてのダウンロードの設定を確認する：
　過去何日分のメールをダウンロードするか（メッセージのダウンロード）を設定します。
　詳細設定をタップすると、メール送信時に送信をタップしたとき、すぐにメールの送受信を実行するか（[送信] をクリックしたとき送受信を実行する）など、メールの送受信に関する詳細設定を行うことができます。
　次へをタップすると、メッセージの形式やダウンロード制限の設定を行うことができます。

11. 完了

設定した内容で受信サーバーに接続し、メールのダウンロードを行う場合は、はいをタップします。

注意

- 操作 10 で自動送受信を「手動実行」以外に設定した場合、メッセージを確認するたびにインターネットに接続するため、高額な接続料金になる可能性があります。

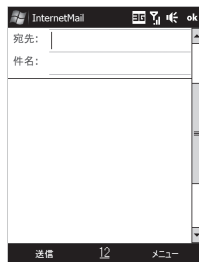
インターネットメールを作成する

インターネットメールを新規に作成して送信します。

1. スタート ＞ Outlook

2. インターネットメールのアカウントを選択

3. メニュー ＞ 新規

メール作成画面が表示されます。

4. 宛先入力欄をタップし、宛先を入力

メニュー ＞ 受信者の追加をタップすると、連絡先から選択することができます。
Cc、Bccを利用する場合は、上方向にスクロールするとCc、Bcc入力欄が表示されます。

5. 件名入力欄をタップし、件名を入力

6. 本文入力欄をタップし、本文を入力

7. 送信

アカウントの設定で［送信］をクリックしたときに送受信を実行するにチェックを付けている場合は、送信と同時に送受信が行われます。チェックを外している場合は、メールは送信トレイに保存され、次に送受信を行うまでは送信されません。

■ファイルを添付する場合

＞メール作成画面 ＞ メニュー ＞ 挿入 ＞ 画像／ボイスメモ／ファイル

■マイ テキスト（よく使うテキストをあらかじめ登録しておく機能）を利用する場合

＞ メール作成画面 ＞ 件名入力欄または本文入力欄を選ぶ ＞ メニュー ＞ マイテキスト ＞ 入力するテキストを選択

あらかじめ登録されているテキストを編集することもできます。

■メールの作成を中止する場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ メッセージの取り消し

作成途中の場合は、下書きフォルダに保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

■メールの作成途中で保存する場合

＞ メール作成画面 ＞ メニュー ＞ 下書きに保存

下書きフォルダに保存されます。

補足

- 宛先の Cc、Bcc 入力欄には、参考に送信したい相手のアドレスを入力します。なお、Bcc入力欄に入力したアドレスは、Bccで送信した相手以外の送信者には表示されません。

メールのオプション

1. メール作成画面
2. メニュー > メッセージのオプション
3. 以下の項目を設定

項目	説明
優先度	メールの優先度（低／標準／高）を設定します。
セキュリティ	デジタル署名を登録しているとき、暗号化や署名を設定します。
アクセス許可	アクセス制限（アクセス制限なし／転送禁止／ユーザーの選択）を設定します。
言語	言語（文字コード）を設定します。

4. ok

インターネットメールを受信する

インターネットメールを送受信する

インターネットメールは、自動的に受信されないため、手動で送受信を行う必要があります。

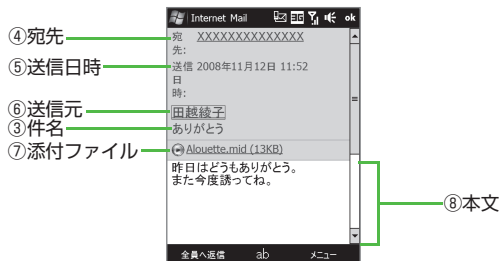
● 送受信を行うと、以下のように動作します。
- 本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーが同じ状態になります。
- 「送信トレイ」に保存されたメールが送信されます。

1. スタート > Outlook
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. メニュー > 送受信

   メールの送信および受信を行います。
   受信したメールは受信トレイに入ります。
   送信トレイの中のメールが送信されます。

インターネットメール画面の見かた

■インターネットメール一覧画面

■インターネットメール詳細画面

① メールの状態

- ：未読メール
- ：未読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）
- ：未読メール（添付ファイルあり）
- ：既読メール
- ：既読メール（受信していないメッセージや添付ファイルあり）
- ：既読メール（添付ファイルあり）
- ／ ：受信していないメッセージや添付ファイルを次回送受信時にダウンロード（未読／既読）（P.5-24）

② 送信元／宛先

受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
送信メールで宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

③ 件名

④ 宛先

受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先
宛先にCcがある場合は、Ccでの送信先も表示

⑤ 送信日時

受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時

⑥ 送信元

⑦ 添付ファイル

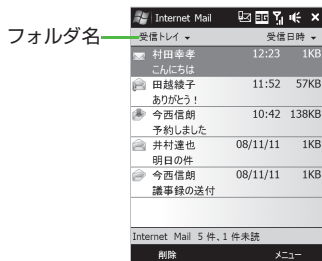
添付ファイルがある場合には、ファイル名と容量を表示

⑧ 本文

インターネットメールを読む

1. スタート > Outlook

2. インターネットメールのアカウントを選択

インターネットメール一覧画面が表示されます。
フォルダを変更する場合は、フォルダ名をタップしてから、対象のフォルダを選択してください。

3. 対象のメールを選択

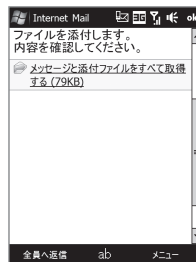
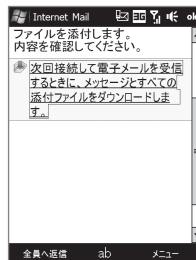
インターネットメール詳細画面が表示されます。

■未読／開封済みを変更する場合

> インターネットメール一覧画面 > 対象のメールを反転表示 > メニュー > 開封済みにする／未読にする

メールのすべての内容／添付ファイルを受信する

インターネットメール詳細画面に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信していないメッセージや添付ファイルが存在しています。すべてを受信するためには、手動で設定する必要があります。

1. インターネットメール一覧画面 > 対象のメールを選択

2. メニュー > メッセージのダウンロード

インターネットメール詳細画面の「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」という表示が、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変わります。

3. メニュー ＞ 送受信

操作1、2を実行したメールのすべてのメッセージ／添付ファイルを受信します。

文字の大きさを変更する

受信したメールの文字の大きさを変更できます。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを選択

2. メニュー ＞ 表示 ＞ 文字サイズ ＞ 対象の文字サイズを選択

メールの言語（文字コード）を変更する

文字化けなどが発生している場合、言語（文字コード）を変更できます。

1. インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを選択

2. メニュー ＞ 表示 ＞ 言語

3. 対象の言語を選択

添付ファイルを確認／保存する

1. 対象のメールを表示

2. 添付ファイルを1秒以上タップする ＞ 名前を付けて保存

■添付ファイルを確認する場合

＞ 添付ファイルを選択

3. 名前や保存先フォルダ、保存場所を設定 ＞ 保存

ファイルが保存されます。

インターネットメールを返信／転送する

1. 対象のメールを表示 ＞ メニュー ＞ 返信

2. 返信の種類を選択

返信：メールの送信元に返信します。

全員へ返信：メールの送信元およびCcに入っている人全員にメールを返信します。

転送：受信したメールを他の人に転送します。

3. 件名や本文を入力しメール送信

補足

- 返信メールの作成画面で送信者のメッセージの編集をタップすると、元のメッセージを編集しながらメールを作成できます。元のメッセージを引用しながら返事を書く場合に便利です。

本機とパソコンで同じメールを受信したとき

本機とパソコンなどで同じメールを受信したときは、本機の「受信トレイ」からメールが削除されます。

1. **本機でインターネットメールを受信**
2. **パソコンなどで同じメールを受信**
   メールサーバーからメールが削除されます（パソコンなどで、メール受信時にメールサーバーからメールを削除するよう設定している場合）。
3. **本機のインターネットメールで送受信を行う**
   メールサーバーと本機とで同期が行われ、メールサーバーから削除されたメールが、本機の「受信トレイ」からも削除されます。

補足

- 本機で受信する前にパソコンなどでメールを受信したときなど、既にメールサーバーからメールが削除されている場合は、本機ではそのメールを受信できません。

インターネットメールを管理する

フォルダの表示切替

1. **インターネットメール一覧画面 ＞ メニュー ＞ 切り替え ＞ フォルダ**
   フォルダ一覧画面が表示されます。
2. **対象のフォルダを選択**

インターネットメールを他のフォルダに移動する

1. **インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを反転表示**
2. **メニュー ＞ 移動**
3. **移動先のフォルダを選択 ＞ 選択**

インターネットメールを削除する

1. **インターネットメール一覧画面 ＞ 対象のメールを反転表示**
2. **削除 ＞ はい**
   削除したメールは「削除済みアイテム」に移動されます。ただし、「下書き」フォルダのメールを削除した場合は、完全に削除されます。

メールサーバーからもメールを削除する

インターネットメールは、本機でメールを受信してもメールサーバーにはメールが残っています。パソコンで同じメールを受信したときはメールサーバーからも削除されます（P.5-26）が、本機からメールサーバーのメールを削除するには、「削除済みアイテム」からメールを削除する必要があります。

1. **本機でインターネットメールを受信**
2. **受信したメールを削除し「削除済みアイテム」に移動**
3. **インターネットメール一覧画面 > メニュー > ツール > ［削除済みアイテム］を空にする > はい**
   メールが「削除済みアイテム」から削除されます。
4. **本機のインターネットメールで送受信を行う**
   メールサーバーと本機とで同期が行われ、「削除済みアイテム」から削除されたメールが、メールサーバーからも削除されます。

インターネットメールのオプション設定

メールに関する全般的な設定を行います。

1. **インターネットメール一覧画面 > メニュー > ツール > オプション**
2. **タブを切り替えて以下の項目を設定**

項目	説明
アカウント	既存のアカウントの変更や新しいアカウントの追加、署名、デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告メッセージを表示するかどうか、インターネットメールを起動する際にアカウントを選択するかどうかを設定します。
メッセージ	返信時の元のメッセージの扱いや、送信済みアイテムのコピーについて、メールを削除するときに警告メッセージを表示するかどうか、メールを移動／削除した後の動作を設定します。
アドレス	連絡先に登録している名前を宛先に入力したとき、そのメールアドレスに変換するかどうかの設定や、Exchange Serverから名前確認用のアドレス帳の追加を行います。
保存場所	添付ファイルを内部ストレージに保存してメインメモリの空き容量を確保するかどうかや、［削除済みアイテム］を空にする方法を設定します。

3. **ok**

インターネット

Internet Explorer® Mobile

Internet Explorer® Mobileを起動する

1. スタート ＞ Internet Explorer

Yahoo! Japanのトップ画面が表示され、インターネット上の検索、お気に入り、または履歴を利用できます。

注意

- Internet Explorer® Mobileは、パソコン上のInternet Explorer®とは表示が異なる場合があります。

補足

- 戻るボタン（←）を押すと1つ前のページに戻ります。
- メニューより次へを選択すると、戻るボタン（←）の操作を行う前のページに移動します。
- メニューより最新の情報に更新を選択すると、表示中のWebページを新しい情報に更新します。
- メニューよりホームを選択すると、ホームページに戻ります。
- 自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレス LAN サービスなどを利用してインターネットに接続したい場合は、ワイヤレスLANを設定してください（P.9-3）。

URLを入力してWebページを表示する

1. スタート ＞ Internet Explorer

2. メニュー ＞ アドレスバー

3. アドレスバーにURLを入力

履歴を利用してWebページを表示する

1. スタート ＞ Internet Explorer

2. メニュー ＞ ツール ＞ 履歴

3. 対象の履歴を選択

Webページの表示方法を設定する

限られた画面サイズでパソコン向けWebページを表示するために、閲覧するページに合った表示方法を設定します。

1. スタート ＞ Internet Explorer

2. メニュー ＞ 表示

3. 以下の項目を設定

項目	説明
ズームレベル	画面の表示サイズを設定します。
一列に表示する	Webページのカラムを縦一列に並べ替えて表示する、またはWebページをディスプレイの幅に合わせて表示する、Webページを調整せず元のまま表示する、のどれか1つを選択します。
画面に合わせる	
表示調整しない	
全画面表示	ディスプレイすべてを使って表示するかどうかを設定します。
画像を表示する	画像の表示のオン／オフを設定します。

補足

- Webページ表示中にメニュー > 縮小をタップすると、画面が縮小され、表示していた位置が枠で囲まれます。拡大をタップすると元の表示に戻ります。

お気に入りを使用する

Webページをお気に入りに追加する

1. Webページ表示中 > メニュー > お気に入りに追加
2. 名前やアドレス（URL）などを確認 > 追加
   お気に入りに追加されます。

お気に入りからWebページを表示する

1. スタート > Internet Explorer
2. お気に入り > 表示したいタイトルを選択

お気に入りを整理する

1. スタート > Internet Explorer
2. お気に入り > 追加／削除タブ
3. 以下の項目を設定

項目	説明
追加	お気に入りを追加します。
削除	お気に入りを削除します。
新しいフォルダ	フォルダを追加します。

4. ok

表示中のWebページのURLを送信する

1. Webページ表示中 > メニュー > ツール > リンクを送る
2. インターネットメールのアカウントを選択
   表示中のWebページのURLが、自動的にメールの本文に貼り付けられます。
3. 宛先や件名などを入力しメール送信
   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

Internet Explorer® Mobileの設定

ホームページ／エンコードする文字コードを設定する

1. Webページ表示中 ＞ メニュー ＞ ツール ＞ オプション
2. 表示中の Web ページまたは既定の Web ページをホームページに設定
3. エンコードを設定 ＞ ok

履歴やWebページキャッシュをクリアする

1. Webページ表示中 ＞ メニュー ＞ ツール ＞ オプション ＞ メモリタブ
2. 履歴のクリア
   履歴の保存期間を設定することもできます。
3. ファイルを削除
   Webページキャッシュが削除されます。
4. ok

セキュリティ設定

1. Webページ表示中 ＞ メニュー ＞ ツール ＞ オプション ＞ セキュリティタブ
2. 必要な項目にチェックを付ける ＞ ok

■Cookieをクリアする場合
＞ Cookieをクリア

補足

- Internet Explorer® Mobileの使いかたやヒントについては、以下のWebサイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Operaブラウザ

Operaブラウザは Webページをより便利に閲覧することができるブラウザです。画面に触れるだけで拡大/縮小やスクロールさせたり、複数のページを同時に開いたり、本機の向きに合わせて画面を自動的に回転したりできます。

Operaブラウザを起動する

1. スタート > プログラム > Opera Browser

Yahoo! Japanのトップ画面が全画面表示されます。

をタップするとアドレスバーおよびメニューアイコンが表示され、インターネット上の検索やブックマーク、履歴の利用ができます。

■Operaブラウザを終了する場合

> [icon] > [icon] > 終了 > OK

補足

- をタップすると1つ前のページに戻ります。
- > 進むをタップすると、をタップする前のページに移動します。
- アドレスバーのをタップするか、タッチパネルを1秒以上タップしてから更新をタップすると、表示中のWebページを新しい情報に更新します。
- をタップすると、スタートページに戻ります。

URLを入力してWebページを表示する

1. スタート > プログラム > Opera Browser

2. [icon]

3. アドレスバーをタップ > URLを入力 > [icon]

アドレスバー
検索欄

■検索する場合

> 検索欄に文字列を入力 > [icon] > 対象のURLを選択

履歴を利用してWebページを表示する

1. スタート > プログラム > Opera Browser

2. [icon] > [icon] > 履歴

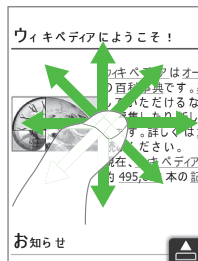
3. 対象の日付を選択 > 対象の履歴を選択

■履歴を削除する場合

> 対象の日付または履歴を反転表示 > [icon] > OK

Webページ表示中の操作

ページをパンする

タッチパネルをタップしたまま上下左右、斜めにドラッグすると、ページをパンすることができます。

ページを拡大表示する

タッチパネルをダブルタップすると、Webページが拡大表示されます。もう一度ダブルタップすると、元の表示に戻ります。

ページを新しいタブで表示する

新しいタブでWebページを表示することで、同時に複数のページを開くことができます。タブを切り替えることによって、ページの切り替えができます。

1. Webページ表示中 > > > 新しいタブ

2. URLを入力 >

■検索する場合

> 検索欄に文字列を入力 > > 対象のURLを選択

■タブを切り替える場合

> > > 対象のタブを選択

メニューアイコンには現在表示中のタブ数が表示されます。

■表示中のタブを閉じる場合

>

ページを保存する

表示中のWebページを保存して、あとから表示することができます。

1. Webページ表示中 > タッチパネルを1秒以上タップする

メニューが表示されます。

2. ページ保存

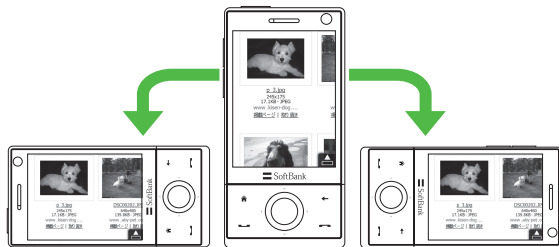
ページ内の文字列を検索する

1. Webページ表示中 > タッチパネルを1秒以上タップする

メニューが表示されます。

2. ページ内検索 > 文字列を入力 >

ページを回転する

本機を倒すと、Webページが自動的に回転します。

ブックマークを使用する

Webページをブックマークに追加する

1. Webページ表示中 > > >
2. 名前やアドレス、保存先フォルダを確認 >

ブックマークからWebページを表示する

1. スタート > プログラム > Opera Browser
2. > > 表示したいブックマークを選択

フォルダを作成する

1. スタート > プログラム > Opera Browser
2. > >
3. フォルダ名と作成する場所を入力 >

ブックマークを編集する

1. スタート > プログラム > Opera Browser
2. > > 対象のブックマークを反転表示 >
3. 名前や保存先フォルダを変更 >

■ブックマークを削除する場合

> 削除 > OK

ブックマークを送信する

1. スタート > プログラム > Opera Browser
2. > > 対象のブックマークを反転表示
3. > メールでブックマークを送信
4. 宛先や件名などを入力しメール送信

詳細については、「インターネットメールを作成する」(P.5-21)を参照してください。

Operaブラウザの設定

スタートページを設定する

1. スタート ＞ プログラム ＞ Opera Browser
2. ＞ ＞ 設定
3. スタートページ ＞ 対象の項目を選択

   デフォルトを使用：お買い上げ時に設定されているページをスタートページに設定します。

   現在のページを使用：現在表示中のページをスタートページに設定します。

   ユーザー定義：スタートページに設定したいページのURLを入力します。
4.

画面表示を設定する

1. スタート ＞ プログラム ＞ Opera Browser
2. ＞ ＞ 設定
3. ディスプレイ ＞ 必要な項目にチェックを付ける

   自動フルスクリーン表示：チェックを付けると、画面が自動的に全画面表示されます。

   画像を表示：チェックを付けると、画像の表示がオンになります。

   ポップアップを無効にする：チェックを付けると、Webページに設定されているポップアップが無効になります。

   携帯表示：チェックを付けると、Webページがディスプレイの幅に合わせて表示されます。チェックを外すと、Webページが元のサイズで表示されます。
4. フォントサイズを選択 ＞

CookieやWebページキャッシュ、履歴を削除する

1. スタート ＞ プログラム ＞ Opera Browser
2. ＞ ＞ 設定
3. プライバシー ＞ Cookieを削除／キャッシュを削除／履歴を削除 ＞ OK
4.

パスワードを管理する

サイト接続時に入力したパスワードを削除します。

1. スタート ＞ プログラム ＞ Opera Browser
2. ＞ ＞ 設定
3. プライバシー ＞ パスワード管理
4. 対象のサイトを選択 ＞ パスワードを削除
5.

注意

- 「フィールドの事前入力を有効にする」にチェックを付けていると、サイトのフォームに以前入力した情報がセットされた状態で表示されますのでご注意ください。

詳細設定

1. スタート ＞ プログラム ＞ Opera Browser
2. ＞ ＞ 設定
3. 詳細設定 ＞ キャッシュサイズを入力 ＞ 有効にする項目にチェックを付ける ＞

Windows Live™

Windows Live™は、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。オンラインでチャットをしたり、Windows Live™ メール（Hotmail）を利用したりすることができます。

Windows Live™のアカウントについて

Windows Live™のアカウント（ID）は、パソコンからWindows Live™のWebサイトにアクセスし、あらかじめ取得しておく必要があります。

- 取得方法については、以下のWebサイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/mscorp/passport/passport02.mspx

Windows Live™にサインインする

はじめてWindows Live™を使用するときは、アカウントとパスワードを設定する必要があります。

1. スタート ＞ プログラム ＞ Windows Live
   Windows Live™画面が表示されます。
2. 「ここをクリックしてサインイン」をタップ
3. 画面の指示に従って、アカウントとパスワードの設定などを行う

Windows Live™のメニュー

Windows Live™画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
オプション	[Today] 画面のオプション	ホーム画面にWindows Live™を表示するかどうかを設定します。
	同期オプション	Windows Live™のオンラインに登録された連絡先を、本機の連絡先と同期するかどうかを設定します。
	同期スケジュール	同期を行う頻度を設定します。
	同期の状態	同期の履歴を表示します。
	ローミング	ローミング時にWindows Live™を使用するかどうかを設定します。
	電子メール	メッセージのサイズ、送信について設定します。
	Messenger	音声メモの自動再生、Messengerの通知方法、チャットに使用するフォントなどを設定します。
	バージョン情報	Windows Live™のバージョン情報を表示します。
アカウントオプション	パスワードのリセット	パスワードを入力し直します。
	Windows Live IDの切り替え	他のアカウントに切り替えます。
	使用条件	マイクロソフト社による使用条件を表示します。
	プライバシーに関する声明	マイクロソフト社によるプライバシーに関する声明を表示します。
バージョン情報	Windows Live™のバージョン情報を表示します。	

Messengerを利用する

Windows Live™メッセンジャーを使用すると、パソコンなどからWindows Live™メッセンジャーにアクセスしている人とチャットをすることができます。

1. スタート > プログラム > Messenger

2. 画面の指示に従って、操作を行う

補足

- Windows Live™メッセンジャーの詳細については、以下のWebサイトを参照してください。
  http://messenger.live.jp/

Messengerのメニュー

Messengerでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	機能
オンライン状態の変更	オンラインにおける現在の状態を切り替えます。
個人設定の変更	個人の表示名、表示メッセージ、表示アイコンを設定します。
並べ替え	指定した条件でチャットに参加しているメンバーを並べ替えます。
新しいメンバーの追加	チャットに参加するメンバーを追加します。
メンバーオプション	チャットに参加するメンバーの情報の表示、スペースの表示、禁止、削除を行います。
オプション	音声メモの自動再生、Messengerの通知方法、チャットに使用するフォントなどを設定します。
サインアウト	Messengerをサインアウトします。
Windows Live	Windows Live™画面を表示します。

Windows Live™ メールを利用する

Windows Live™にサインインすると、Windows Live™ メール（Hotmail）をメールアカウントの1つとして使用することができます。

1. **Windows Live™画面 ＞ ◀ ／ ▶ でHotmailを表示 ＞ [icon]**
2. **メールの操作を行う**

   メール機能の詳細については「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

補足

- Hotmailのサービスの詳細については、以下のWebサイトを参照してください。
  http://www.hotmail.co.jp/

Windows® Update

システムファイルを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合は最新の状態に更新します。

更新をチェックする

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ Windows Update ＞ はい

2. チェックする

■はじめてWindows® Updateを実行する場合

＞ 次へ ＞ 更新をチェックする方法を選択 ＞ 次へ ＞ 完了

Windows® Updateの設定

以下のメニューを利用し、Windows® Updateの設定を行うことができます。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ Windows Update ＞ メニュー

項目	説明
詳細の表示	更新内容の詳細を表示します。
接続	データプランを使用して更新をチェックするかどうかを選択します。
スケジュールの変更	更新の確認方法を**自動**または**手動**から選択します。
プライバシー	プライバシーに関する声明を表示します。

RSS Hub

RSS Hubとは登録したチャネルのニュースを自動的に更新して、常に最新のニュースを確認することができる機能です。ニュースに音声や動画、画像などが添付されている場合は、そのデータをダウンロードして再生したり、保存したりすることもできます。

チャネルを登録する

1. スタート ＞ プログラム ＞ RSS Hub

■はじめてRSS Hubを起動した場合

続行をタップし、操作3へ進んでください。

2. メニュー ＞ チャネル ＞ 新規作成

新規チャネルウィザードが起動します。

3. 既知のチャネルリストから選択 ＞ 次へ

4. 登録するチャネルにチェックを付ける ＞ 終了

チャネルが登録されます。

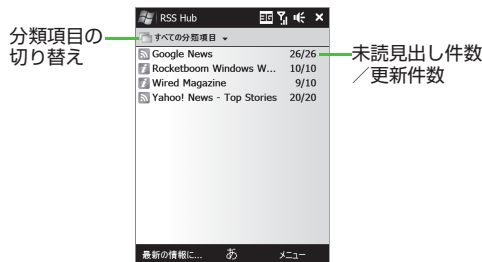
最新の情報にをタップすると、登録したチャネルが更新され、最新のニュースがダウンロードされます。

補足

- 既知のチャネルリストに登録したいチャネルがない場合は、他の方法でチャネルを検索、指定してください。

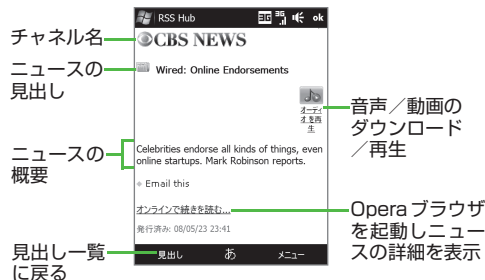
ニュースを見る

1. スタート ＞ プログラム ＞ RSS Hub

チャネル一覧画面が表示されます。

2. 対象のチャネルを選択

見出し一覧画面が表示されます。

3. 対象の見出しを選択

ニュース画面が表示されます。

RSS Hub画面メニュー

RSS Hubでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■チャネル一覧画面

項目	説明
閲覧済みにする	チャネル内のすべての見出しを閲覧済みの状態にします。
未読にする	チャネル内のすべての見出しを未読の状態にします。
すべて閲覧済みにする	すべてのチャネルの見出しを閲覧済みの状態にします。
すべて未読にする	すべてのチャネルの見出しを未読の状態にします。

項目		説明
表示		見出しの表示をすべてまたは更新に切り替えます。
チャネル	新規作成	チャネルを新しく登録します。
	削除	チャネルを削除します。
	名前の変更	チャネル名を変更します。
	分類項目を変更	チャネルの分類項目を変更します。
	プロパティ	チャネルの情報を表示します。
分類項目		分類項目の新規作成、名前変更、削除を行います。
エクスポート		チャネルを別の名前を付けて保存します。
オプション		更新モードや更新の通知方法、データの保存場所、キーワードなどを設定します。

■見出し一覧画面

項目	説明
閲覧済みにする	見出しを閲覧済みの状態にします。
未読にする	見出しを未読の状態にします。
すべて閲覧済みにする	チャネル内のすべての見出しを閲覧済みの状態にします。
すべて未読にする	チャネル内のすべての見出しを未読の状態にします。
Podcast	見出しに添付されている音声／動画の再生やダウンロード、削除、保存を行います。
表示	見出しの表示を新しい見出しのみまたはキーワード一致のみに切り替えます。

項目	説明
並べ替え	指定した条件で見出しを並べ替えます。
最新の情報に更新	見出しを更新します。
チャネルのプロパティ	チャネルの情報や更新間隔、パスワード、添付音声／動画のダウンロード方法などを設定します。

■ニュース画面

項目	説明
次へ	次のニュースを表示します。
前へ	前のニュースを表示します。
Podcast	ニュースに添付されている音声／動画の再生やダウンロード、削除、保存を行います。
画面に合わせる	チェックを付けると、ニュース画面がディスプレイの幅に合わせて表示されます。
文字サイズ	文字の大きさを設定します。
ClearType	チェックを付けると、スクリーンフォントが滑らかに表示されます。
リンクを電子メールで送信	ニュースのURLを添付したメールを作成します（P.5-21）。

情報／データの同期

ActiveSyncについて

ActiveSyncを使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

ActiveSyncを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

Windows® XP Service Pack 2 など

Outlookとの同期

Microsoft® Outlook® 2003 (推奨)
Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Outlook® 2007

お気に入りの同期

Internet Explorer® 6.0以上

パソコンとの接続/通信方法

USBケーブル
Bluetooth®

補足

- ActiveSyncの動作環境の詳細についてはP.17-21を参照してください。
- 詳しい使用方法については、マイクロソフト社のWebサイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

ActiveSyncで同期できる情報

Outlookとの同期

メール
連絡先
予定表
仕事

お気に入りの同期

Internet Explorer®のお気に入り

ファイルの同期

パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Playerのファイルの同期

楽曲（著作権情報含む）/動画（著作権情報含む）/静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 10より前のバージョンでは同期できません。
- Windows Media® Playerのファイルサイズが数百Mバイト以上ある場合、同期を2回実行することがあります。
- ActiveSyncで同期中または同期完了後に、タスクマネージャでActiveSyncを終了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、ActiveSyncのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

ActiveSyncを設定する

パソコンにActiveSyncをインストールする

- ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェアなどをインストールしている場合は、あらかじめそれらの動作を停止／無効にしてください。
- 他のファイル同期用ソフトウェアがインストールされているときは、あらかじめアンインストールしてください。

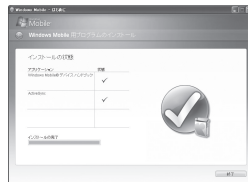
1. **付属の「お使いになる前にディスク」をパソコンにセット**

自動的にWindows Mobile® デバイス画面が表示されます。

2. **「セットアップとインストール」をクリック**

3. **インストールするアプリケーションにチェックを付ける ＞「インストール」をクリック**

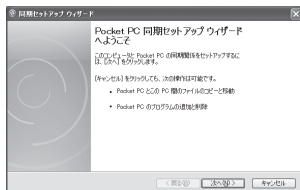
4. **画面の指示に従って、インストールを行う**

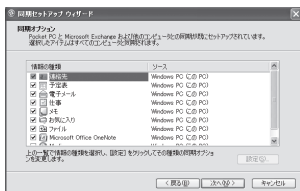
5. **ActiveSyncのインストール完了のメッセージが表示されたら「終了」をクリック ＞ 「閉じる」をクリック**

インストールが完了すると、ActiveSyncが起動します。
「完了」をクリック後、パソコンの再起動を行う画面が表示された場合は、「はい」をクリックし再起動を行ってください。

パソコンと接続する／同期する情報を設定する

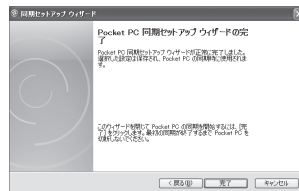
パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。

2. 同期に関する設定を行う

同期する情報の選択などを行います。

チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

3. 画面の指示に従って、セットアップを行う

4. 同期の設定の完了メッセージが表示されたら「完了」をクリック

自動的に情報の同期が開始されます。

同期の設定を変更する

パソコン側のActiveSync画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1. パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」→「オプション」の順に開く

2. 同期の設定 ＞「OK」をクリック

チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

補足

- ActiveSyncの詳細な使用方法については、パソコン側のActiveSync画面のヘルプを参照してください。

ActiveSyncで情報を同期する

USBケーブルを接続して同期する

同期の設定を行った後、USBケーブルを使用してパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

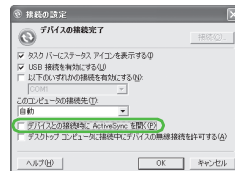
自動的に情報の同期が開始されます。

同期の設定を行っていない場合は、同期セットアップウィザードが表示されます（P.7-4）。

自動的に同期を開始しないようにするには

USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1. パソコン側のActiveSync画面で、「ファイル」→「接続の設定」の順に開く

2. 「デバイスとの接続時にActiveSyncを開く」のチェックを外す ＞「OK」をクリック

Bluetooth®で同期する

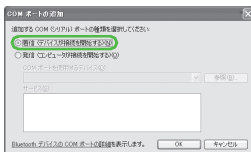
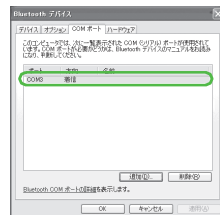
Bluetooth®を利用して、情報やデータを同期することができます。

● Bluetooth®による本機とパソコンとの通信設定（ペアリング）については、P.9-6を参照してください。

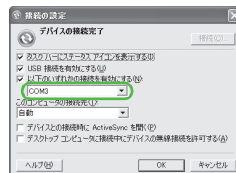
パソコン側のBluetooth®設定にCOMポートを追加する

1. パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く

2. 「COMポート」タブを選択 ＞「追加」をクリック

3. 「着信（デバイスが接続を開始する）」を選択 ＞「OK」をクリック

4. 追加されたCOMポートを確認

パソコン側のActiveSyncでCOMポートの接続を有効にする

1. パソコン側のActiveSyncの画面で、「ファイル」→「接続の設定」の順に開く

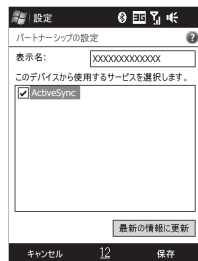
2. 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックを付ける ＞ プルダウンメニューから「パソコン側のBluetooth®設定にCOMポートを追加する」（P.7-6）で追加したCOMポートを選択 ＞「OK」をクリック

本機側のBluetooth®設定で、パソコン側のサービスを選択する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > Bluetooth

2. Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンをタップ

3. サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックを付ける

4. 保存

補足

• Bluetooth®で同期するための設定の詳細については、パソコン側のActiveSync画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth®で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth®でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

● あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート > プログラム > ActiveSync

2. メニュー > Bluetoothから接続

パソコン側のActiveSyncが自動的に起動し、同期が開始されます。

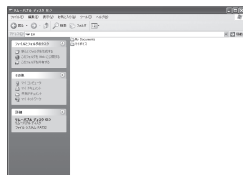
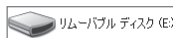
パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

● あらかじめパソコン側で ActiveSync の設定を行っておく必要があります（P.7-3）。
● あらかじめPCへのUSB接続を「ディスクドライブ（高速ファイル転送）」に設定しておきます。「接続時に接続タイプを確認する」にチェックを付けている場合は、パソコンとの接続時に接続タイプを設定することができます（P.14-5）。
● 本機をディスクドライブとして接続した場合は、内部ストレージのファイルのみ操作できます。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

2. パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択

本機の内部ストレージのファイルを直接操作することができるようになります。

3. パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

Windows Mobile® デバイスセンターについて

Windows Mobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

● Windows Vistaを搭載したパソコンには、あらかじめWindows Mobile® デバイスセンターがインストールされているものがあります。デバイスセンターがインストールされていない場合は、「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

パソコンの動作環境について

Windows Mobile® デバイスセンターを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

Windows Vista® Home Basic など

Outlookとの同期

Microsoft® Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Outlook® 2007(推奨)

お気に入りの同期

Internet Explorer® 7

パソコンとの接続／通信方法

USBケーブル
Bluetooth®

補足

- Windows Mobile® デバイスセンターの動作環境の詳細についてはP.17-21を参照してください。
- 詳しい使用方法については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

Windows Mobile® デバイスセンターで同期できる情報

Outlookとの同期

メール
連絡先
予定表
仕事

お気に入りの同期

Internet Explorer® のお気に入り

ファイルの同期

パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Playerのファイルの同期

楽曲（著作権情報含む）／動画（著作権情報含む）／静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 11より前のバージョンでは同期できません。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、Windows Mobile® デバイスセンターのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

Windows Mobile®デバイスセンターを設定する

パソコンと接続する／同期する情報を設定する

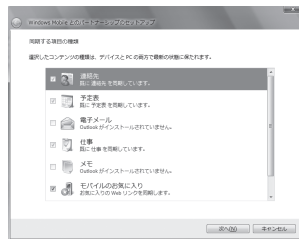
パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する**

はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。

2. **画面の指示に従ってセットアップを行う**

3. **Windows Mobile®デバイスセンターのホーム画面が表示されたら、「デバイスのセットアップ」をクリック**

4. **同期する情報を選択**

チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

5. **「次へ」をクリック**

6. **デバイス名を入力 ＞「セットアップ」をクリック**

セットアップが完了すると、Windows Mobile®デバイスセンターが起動します。

同期の設定を変更する

パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンター画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1. パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「コンテンツの同期の設定の変更」の順に開く
2. 同期の設定 ＞「保存」をクリック

チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

補足

- Windows Mobile®デバイスセンターの詳細な使用方法については、パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Windows Mobile®デバイスセンターで情報を同期する

USBケーブルを接続して同期する

同期の設定を行った後、USBケーブルを使用してパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

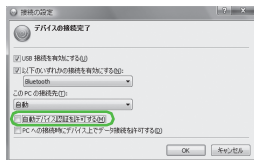
1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

   自動的に情報の同期が開始されます。
   同期の設定を行っていない場合は、同期セットアップウィザードが表示されます（P.7-10）。

自動的に同期を開始しないようにするには

USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1. パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンターのホーム画面で「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」の順に開く

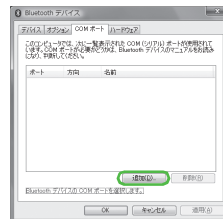
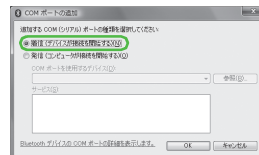
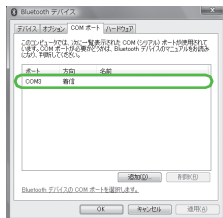
2. 「自動デバイス認証を許可する」のチェックを外す＞「OK」をクリック

Bluetooth®で同期する

Bluetooth®を利用して、情報やデータを同期することができます。

● Bluetooth®による本機とパソコンとの通信設定（ペアリング）については、P.9-6を参照してください。

パソコン側のBluetooth®の設定にCOMポートを追加する

1. パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く

2. 「COMポート」タブを選択＞「追加」をクリック

3. 「着信（デバイスが接続を開始する）」を選択＞「OK」をクリック

4. 追加されたCOMポートを確認

パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンターでCOMポートの接続を有効にする

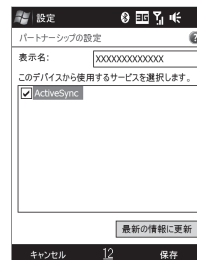
1. パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」の順に開く
2. 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックを付ける ＞ プルダウンメニューから「パソコン側のBluetooth®の設定にCOMポートを追加する」(P.7-12)で追加したCOMポートを選択 ＞「OK」をクリック

本機側のBluetooth®の設定で、パソコン側のサービスを選択する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ Bluetooth

2. Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンをタップ
3. サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックを付ける

4. 保存

補足

- Bluetooth®で同期するための設定の詳細については、パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth®で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth®でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

● あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ActiveSync
2. メニュー ＞ Bluetoothから接続

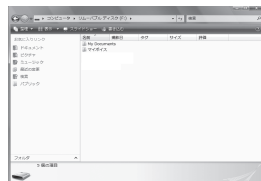
   パソコン側のWindows Mobile®デバイスセンターが起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

● あらかじめパソコン側でWindows Mobile®デバイスセンターの設定を行っておく必要があります（P.7-10）。
● あらかじめPCへのUSB接続を「ディスクドライブ（高速ファイル転送）」に設定しておきます。「接続時に接続タイプを確認する」にチェックを付けている場合は、パソコンとの接続時に接続タイプを設定することができます（P.14-5）。
● 本機をディスクドライブとして接続した場合は、内部ストレージのファイルのみ操作できます。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する
2. パソコン側で「コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択

   本機の内部ストレージの中のファイルを直接操作することができるようになります。

3. パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

トラブルシューティング

■データ同期

症状	確認／処置
ActiveSync、Windows Mobile® デバイスセンターのインストールができない	・パソコンでウィルスチェックソフトウェアやファイアウォールが動作していると、影響を受けることがあります。各ソフトウェアの動作状況を確認し、必要に応じて一時的に終了してください。 ・ActiveSyncはWindows XPのみ、Windows Mobile®デバイスセンターはWindows Vistaのみにインストールできます。
本機をUSB ケーブルでパソコンに接続しても認識されない	USB ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ActiveSync、Windows Mobile® デバイスセンターが自動的に起動しない	パソコン側のActiveSync、Windows Mobile®デバイスセンターの接続設定を確認します（「接続の設定」）。 - 「USB接続を有効にする」にチェックを付けている必要があります。 - 「デバイスとの接続時にActiveSyncを開く」（ActiveSync）、「自動デバイス認証を許可する」（Windows Mobile®デバイスセンター）にチェックを付けていないと、自動的に起動しません。
本機とデータが同期されない	・パソコンで他のアプリケーションを使用している場合は終了してください。 ・パソコンを再起動してください。
Webブラウザのお気に入りが同期されない	・同期されるお気に入りは、Internet Explorer®のお気に入りの中の「モバイルのお気に入り」フォルダの内容です。フォルダの内容を確認してください。 ・同期する情報として、パソコン側で「お気に入り」にチェックを付けている必要があります。 - ActiveSyncの場合は、「ツール」の「オプション」で設定できます。 - Windows Mobile® デバイスセンターの場合は、「モバイルデバイスの設定」の「コンテンツの同期の設定の変更」で設定できます。 ・同期できるお気に入りは、ActiveSyncではInternet Explorer® 6.0以降、Windows Mobile®デバイスセンターではInternet Explorer® 7以降です。それ以前のバージョン、または他のブラウザのお気に入りは同期することができません。
本機とUSBケーブルでパソコンに接続しても、本機の中のファイルをパソコンから参照できない	パソコンにActiveSync、Windows Mobile®デバイスセンターがインストールされ、データの同期に関する設定が行われていることを確認してください。パソコンから本機のファイルを参照する機能はActiveSync、Windows Mobile® デバイスセンターの機能のため、USBケーブルで接続するだけでは利用することができません。

オフィスアプリケーション

Word Mobile

Word Mobileでは、新規のWord文書を作成したり、パソコンで作成したWordファイルやテキストファイルを開いて内容を編集したりできます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- Word Mobileは、パソコン用Microsoft Wordとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

Word Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート > Office Mobile > Word Mobile

Wordファイルが保存されていない場合は、新規作成画面が表示されます。
Wordファイルが保存されている場合は、ファイルエクスプローラ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。

2. 対象のファイルを開く

■新規作成する場合

> 新規

■既存ファイルを開く場合

> 既存ファイルを選択

3. 内容を入力／編集する

■表示を拡大または縮小する場合

> ファイル表示中 > 表示 > ズーム > 倍率を選択

4. ok

Word Mobileのメニュー

Word Mobileでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
元に戻す	編集作業を1つ前の状態に戻します。	
やり直し	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。	
切り取り／コピー	文字をコピーしたり、移動したりします。	
貼り付け		
編集	検索／置換	指定した文字列を検索／置換します。
	クリア	選択している文字列を消去します。
	すべて選択	すべての文字列を選択します。
書式設定	フォント	入力する文字のフォントや色、サイズなどを設定します。
	段落	段落の揃え位置や箇条書き、インデントなどを設定します。
ツール	スペルチェック	文字列のスペルをチェックします。
	日付の挿入	文書内に今日の日付を挿入します。
	オプション	新規作成時のテンプレートやファイルの保存場所、ファイル一覧に表示するファイルの種類を設定します。

項目	説明	
ファイル	新規作成	ファイルを新規作成します。
	名前を付けて保存	編集中のファイルを名前を付けて保存します。保存するフォルダや文書の種類、保存場所を設定することもできます。
	名前の変更／移動	編集中のファイルの名前や保存フォルダ、保存場所を変更します。
	前回保存したときの状態に戻す	前回保存したときの状態に戻します。
	削除	編集中のファイルを削除します。
	電子メールで送信	編集中のファイルを電子メールに添付して送信します。
	ビーム	ファイルをBluetooth® 通信で送信します。
バージョン情報	Word Mobileのバージョン情報を確認します。	

ツールバーを使って文書を作成する

ツールバーの各アイコンに割り当てられた機能は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
B	太字		中央揃え		インデント解除
I	斜体		右揃え		インデント
U	下線		段落番号		
	左揃え		箇条書き		

補足

• 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Webサイトを参照してください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Excel Mobile

Excel Mobileでは、新規のExcelファイルを作成したり、パソコンで作成したExcelファイルを開いて内容を編集したりできます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- Excel Mobileは、パソコン用Microsoft Excelとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

Excel Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート > Office Mobile > Excel Mobile

Excelファイルが保存されていない場合は、新規作成画面が表示されます。
Excelファイルが保存されている場合は、ファイルエクスプローラ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。

2. 対象のファイルを開く

■新規作成する場合
> 新規

■既存ファイルを開く場合
> 対象のファイルを選択

3. 内容を入力／編集する

■シートを切り替える場合
> ファイル表示中 > 表示 > シート > シートを選択

■表示を拡大または縮小する場合
> ファイル表示中 > 表示 > ズーム > 拡大率を選択

■全画面表示に切り替える場合
> ファイル表示中 > 表示 > 全画面表示
通常表示に戻すには、同様の操作を行います。

■分割表示する場合
> ファイル表示中 > 目的の行、列、セルを選択 > 表示 > 分割
分割を解除するには、表示 > 分割の解除を選択します。

■ウィンドウ枠を固定表示する場合
> ファイル表示中 > 目的の行、列、セルを選択 > 表示 > ウィンドウ枠の固定
固定表示を解除するには、表示 > ウィンドウ枠固定の解除を選択します。

4. ok

Excel Mobileのメニュー

Excel Mobileでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
元に戻す	編集作業を1つ前の状態に戻します。
やり直す	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
切り取り／コピー	文字をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	

項目	説明	
編集	形式を選択して貼り付け	貼り付ける項目を選択します。
	フィル	フィルハンドルの方向、種類、連続データの種類、増分値を設定します。
	クリア	消去する項目を**すべて**／**書式**／**数式と値**から選択します。
	セルの削除	選択したセルを削除し、データを詰めます。選択しているセルを含む行または列全体を削除することもできます。
	検索／置換	指定した文字列を検索／置換します。
	ジャンプ	指定した名称または選択中のセルにジャンプします。
	すべて選択	すべての文字列を選択します。
挿入	セル、グラフ、記号、関数、名前の定義を挿入します。グラフ、名前の定義を挿入する場合は、範囲を選択する必要があります。	
書式設定	セル、グラフ、行、列、シートの書式を設定します。	
ツール	並べ替え	選択したキーを基準にしてセルを並べ替えます。
	オートフィルタ	条件に該当するセルのみを表示します。
ファイル	新規作成	ファイルを新規作成します。
	名前を付けて保存	編集中のファイルを名前を付けて保存します。保存するフォルダやファイルの種類、保存場所を設定することもできます。

項目	説明	
ファイル	名前の変更／移動	編集中のファイルの名前や保存フォルダ、保存場所を変更します。
	前回保存したときの状態に戻す	前回保存したときの状態に戻します。
	削除	編集中のファイルを削除します。
	電子メールで送信	編集中のファイルを電子メールに添付して送信します。
	ビーム	ファイルをBluetooth®通信で送信します。
バージョン情報	Excel Mobileのバージョン情報を確認します。	

ツールバーを使ってファイルを編集する

ツールバーの各アイコンに割り当てられた機能は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	グラフの挿入		右揃え	,	桁区切り表示
	左揃え	Σ	合計関数の挿入	.00	小数点表示
	中央揃え		通貨形式		拡大表示

補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

PowerPoint® Mobile

PowerPoint® Mobileでは、パソコンで作成したPowerPoint®ファイルを開くことができます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

注意

- PowerPoint® Mobileは、パソコン用Microsoft PowerPoint®とは一部の機能が異なるため、スライドショーの表示がパソコン上とは異なる場合があります。

PowerPoint® Mobileを起動する／ファイルを開く

1. スタート ＞ Office Mobile ＞ PowerPoint Mobile
   ファイルエクスプローラ配下のフォルダやファイルの一覧が表示されます。
2. **対象のファイルを選択**
   ファイルが開きます。

スライドショーを見る

1. **ファイル表示中 ＞ 画面をタップ**
   次のスライドに移動します。

■前のスライドに移動する場合

＞ ▲| ＞ 前へ

■目的のスライドに移動する場合

＞ ▲| ＞ スライドへジャンプ ＞ スライドを選択

ファイルを閉じる

1. **ファイル表示中 ＞ ▲| ＞ スライドショーの終了**
   開いているファイルを閉じます。

PowerPoint® Mobileのメニュー

PowerPoint® Mobileでは、▲|をタップすることにより、以下の機能を利用できます。

● タッチパネルを1秒以上タップしても、メニューを表示できます。

項目	説明
次へ	次のスライドに移動します。
前へ	前のスライドに移動します。
スライドへジャンプ	目的のスライドに直接移動します。
目的別スライドショー	ファイルに保存されているカスタム設定でスライドショーを実行します。
拡大	表示しているスライドを拡大します。
縮小	拡大表示しているスライドを縮小します。
スライドショーの設定	スライドショーの向きおよび再生に関する設定を行います。
リンクの表示	スライドにURLなどのリンクが存在する場合、そのリンク先を選択できるようにします。
名前を付けて保存	別の名前を付けて保存します。
スライドショーの終了	スライドショーを終了してファイルを閉じます。
バージョン情報	PowerPoint Mobile®のバージョン情報を確認します。

OneNote® Mobile

OneNote® Mobileでは、パソコンで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

注意

- OneNote® Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。
- 本機とパソコンでOneNote ファイルをやりとりするには、ActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターによる同期が必要です。詳細はパソコンのOneNote®のヘルプを参照してください。

OneNote® Mobileを起動する／作成する

1. スタート > Office Mobile > OneNote Mobile

OneNote® Mobileが起動し、ファイル一覧が表示されます。

2. 新規作成または対象のファイルを選択

3. 内容を入力 > 完了

■ファイルを削除する場合

> 対象のファイルを反転表示 > メニュー > 削除 > はい

■ファイルの名前を変更する場合

> 対象のファイルを反転表示 > メニュー > 名前の変更 > 名前を入力 > 完了

■ファイルを並び替えて表示する場合

> メニュー > オプション > 項目を選択 > 完了

■バージョン情報を確認する場合

> メニュー > バージョン情報 > 完了

OneNote® Mobileのメニュー

OneNote® Mobileでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
元に戻す	編集作業を１つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
切り取り／コピー	文字や画像をコピーしたり、移動したりします。
貼り付け	
書式	入力する文字の書式を設定します。
リスト	箇条書きの書式を設定します。
画像撮影	カメラで静止画を撮影して挿入します。
画像の挿入	マイピクチャフォルダに保存されている静止画を挿入します。
サウンドの挿入	ボイスメモを録音して挿入します。

補足

- 詳しい使用方法やヒントについては、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm6/default.mspx

Adobe Reader LE

Adobe Reader LEでは、PDFファイルを開くことができます。ファイルは一度に１つしか開くことができません。

注意

- Adobe Reader LEは、パソコン用Adobe Readerとは一部の機能が異なるため、PDFファイルの表示がパソコン上とは異なる場合があります。

Adobe Reader LEを起動する／ファイルを開く

1. スタート ＞ プログラム ＞ Adobe Reader LE

最近開いたファイル一覧が表示されます。
はじめてAdobe Reader LEを起動したときは、マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されます。

2. 対象のファイルを選択

ファイルが開きます。

■最近開いたファイル一覧に対象のファイルが存在しない場合

＞ 最近開いたファイル一覧表示中 ＞ 参照

マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されますので、対象のファイルを選択してください。

■ファイルを開いているときに異なるファイルを開く場合

＞ ファイル表示中 ＞ メニュー ＞ 開く ＞ ファイルを選択

現在開いているファイルを閉じ、選択したファイルを開きます。

Adobe Reader LEを終了する

1. ファイル表示中 ＞ メニュー ＞ 終了

ファイルを閉じるとともに、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

Adobe Reader LEでは、ファイル表示中にツールおよびメニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■ツール

項目	説明	
ズーム	表示を拡大、縮小します。	
検索	文字列を検索します。	
表示	右回転	表示を右回転または左回転します。
	左回転	
	単一ページ	ページレイアウトを単一ページ／連続ページ／リフローから選択します。
	連続ページ	
	リフロー	
	全画面表示	全画面表示に切り替えます。
移動	指定したページに移動します。	

■メニュー

項目	説明
開く	最近開いたファイル一覧が表示され、別のファイルを開くことができます。
詳細	PDFファイルの詳細情報を表示します。
Adobe Readerについて	Adobe Reader LEの商標やバージョン情報を確認します。
終了	Adobe Reader LEを終了します。

ツールバーを使って表示を変更する

ツールバーの各アイコンに割り当てられた機能は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	幅に合わせる		前のページに移動		文字列検索
	全体表示		次のページに移動		ズームアウト
	先頭のページに移動		最後のページに移動		ズームイン

補足

- 画面上部の をタップすると、PDFファイルのしおり一覧が表示されます。しおりをタップすると、そのしおりが設定されている箇所（ページ）に移動します。
- 詳しい使用方法やヒントについては、Adobe社のWebサイトを参照してください。
http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readerforppc.html

ZIP

ZIPでは、ZIPファイルを開いて操作したり、ファイルをZIP形式で圧縮したりできます。ファイルは一度に1つしか開くことができません。

ZIPを起動する／ZIPファイルを開く

1. スタート ＞ プログラム ＞ ZIP

ファイルエクスプローラ内を自動的に検索し、ZIPファイルが一覧表示されます。

2. 対象のZIPファイルを選択

圧縮されているファイルが一覧表示されます。

3. 対象のファイルを選択

ファイルの種類に応じたプログラムが起動します。

■手動でZIPファイルを検索する場合

＞ 検索

ファイルをZIPする

新しいZIPファイルを作成する

1. スタート > プログラム > ZIP
2. 新規作成
3. 以下の項目を設定

項目	説明
名前	ZIPファイルの名前を入力します。
フォルダ	ZIPファイルを保存するフォルダを選択します。
種類	ファイルの圧縮形式を選択します。
場所	ZIPファイルの保存場所を選択します。

4. 保存

圧縮ファイルを追加する

1. スタート > プログラム > ZIP
2. 対象のZIPファイルを選択
3. メニュー > アクション > 追加
4. 圧縮するファイルを選択 > 追加

■元ファイルを削除して圧縮する場合

> 圧縮するファイルを選択 > 追加して削除 > はい

ZIPファイルを解凍する

1. スタート > プログラム > ZIP
2. 対象のZIPファイルを選択
3. メニュー > アクション > 解凍

■特定のファイルのみ解凍する場合

> 対象のファイルを反転表示 > メニュー > アクション > 解凍

4. 以下の項目を設定

項目	説明
解凍先	解凍先のフォルダを指定します。
ファイルを解凍	選択したファイルのみを解凍するか、すべてのファイルを解凍するかを選択します。
既存のファイルに上書き	チェックを付けると、解凍先のフォルダに同じファイルが保存されている場合、ファイルが上書きされます。
パスも含む	チェックを付けると、解凍したファイルがパスを保持します。

5. 解凍

ZIPのメニュー

ZIPでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
ファイル	新規アーカイブ	新しい圧縮ファイルを作成します。
	アーカイブを検索	ZIPファイルを検索します。
	アーカイブを閉じる	圧縮ファイルを閉じて、圧縮ファイル一覧に戻ります。
	アーカイブの名前変更	圧縮ファイルの名前を変更します。
	アーカイブを削除	圧縮ファイルを削除します。
	アーカイブのプロパティ	圧縮ファイルの情報を表示します。
	整合性テスト	圧縮ファイルにエラーがないかどうかを確認します。
	更新	圧縮ファイルを最新の情報に更新します。
	最近のアーカイブ	最近圧縮したファイルを選択します。
アクション	追加	圧縮ファイルを追加します。
	解凍	圧縮ファイルを解凍します。
	削除	選択したファイルを削除します。
	E-mailで送信	選択したファイルを電子メールに添付して送信します。
	ビームで送信	選択したファイルをBluetooth® 通信で送信します。
	表示	選択したファイルを対応するプログラムで表示します。
	マルチ選択モード	チェックを付けると、複数のファイルを選択できるようになります。
	すべて選択	すべてのファイルを選択します。
	選択なし	ファイルの選択を解除します。
	選択範囲を反転	ファイルの選択状態を反転します。
表示	ZIPファイルのパスの表示方法や圧縮されているファイルの表示形式、並べ替えなどを行います。	
オプション	全般	ZIP起動時の動作やファイルの表示モード、フォントサイズなどを設定します。
	表示	ZIPファイルの表示内容を設定します。
	アクション	ZIPファイルの圧縮レベルや保存先のフォルダ、ファイル操作時の動作などを設定します。
バージョン情報	ZIPのバージョン情報を確認します。	

外部接続／通信

Comm Manager

電話、ワイヤレスLAN、Bluetooth®通信などの通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1. スタート > プログラム > Comm Manager
2. 対象の通信機能を選択

タップするたびにオン／オフが切り替わります。

フライトモード

電話、Bluetooth®、ワイヤレスLANなどの電波を発する機能のオン／オフを切り替えます。なお、航空機内でのご使用については乗務員の指示に従ってください。

通話

電話機能および3Gパケット通信のオン／オフを切り替えます。インターネット接続をワイヤレスLANで行う場合はオフでご利用ください。

Bluetooth

Bluetooth®通信機能のオン／オフを切り替えます。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN（無線LAN）通信機能のオン／オフを切り替えます。

Microsoft Direct Push

Exchange Serverによるプッシュメール受信のオン／オフを切り替えます。

データ接続

パケット通信中にオフにして、通信を切断します（ここでオンにすることはできません）。

3. 完了

ネットワークの設定

本機は3Gパケット通信を利用したインターネット接続が設定されています。特に設定を変更しない限り、3Gパケット通信経由でインターネットに接続します。

補足

- ワイヤレス LAN など、他の通信機能でインターネットに接続するには、Comm Managerで通話をオフにします。

ワイヤレスLAN（無線LAN）の設定

ワイヤレスLAN通信機能によって、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレスLANサービス、社内のアクセスポイントなどに接続することができます。

● ワイヤレスLAN通信機能を使用する前に、「Bluetooth®／ワイヤレスLAN（無線LAN）機器に関するご注意」（P.xxiv）をよくお読みください。

ワイヤレスLANの設定の準備

● スタート ＞ プログラム ＞ Comm Manager ＞ ワイヤレスLANをタップし、ワイヤレスLAN通信機能をオンにします。

● ワイヤレス LAN アクセスポイントのネットワーク名、データ暗号化の形式、ネットワークキーを事前に確認しておきます。

補足

- アクセスポイントに関する情報（データ暗号化の形式、ネットワークキーなど）は、各アクセスポイントによって異なります。これらの情報を入手できない場合は、ワイヤレスLANで接続することはできません。
- 社内ネットワークに接続する場合は、設定方法を社内システム管理者にご確認ください。

アクセスポイントを設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ Wi-Fi

   アクセスポイントの一覧画面が表示されます。
   接続したいアクセスポイントが表示されない場合は、「アクセスポイントを追加／編集する」の操作で手動登録できます。

2. 対象のアクセスポイントを反転表示 ＞ 接続

■アクセスポイントを削除する場合

＞ 対象のアクセスポイントを反転表示 ＞ メニュー ＞ 設定の削除

アクセスポイントを追加／編集する

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ Wi-Fi
2. メニュー ＞ 新しい設定の追加

   既存のアクセスポイントを編集する場合は、対象のアクセスポイントを選択して操作4へ進んでください。

3. ネットワーク名を入力

登録したいアクセスポイントのネットワーク名を入力します。

4. ネットワークの接続先を選択

インターネット設定：
　インターネットに接続するときに選択します。
社内ネットワーク設定：
　社内ネットワークに接続するときに選択します。
ネットワーク名を配信しないアクセスポイントの場合は、「これは非表示のネットワークです」にチェックを付けます。
アクセスポイントを使用せず直接パソコンなどのワイヤレスLAN対応機器と接続する場合（アドホック接続）は、「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けます。特に指定がなければチェックを外したままにしてください。

5. 次へ

ネットワーク認証の構成画面が表示されます。

6. アクセスポイントの認証形式を選択

特に指定がない場合はオープンを選択します。

7. アクセスポイントのデータ暗号化の形式を無効／WEP／TKIP／AESから選択

特に指定がない場合は無効を選択します。

8. 自動的に提供されるキーを使用するかどうかを設定

キーが自動的に提供される場合は、「自動的に提供されるキーを使用する」にチェックを付けます。
特に指定がない場合はチェックを外して、「ネットワークキー」欄にアクセスポイントのネットワークキーを入力します。

9. キーインデックスの設定

データ暗号化のWEPのためのキーインデックスを設定します。最大4つまでのネットワークキーをキーインデックスによって切り替えることができます。

10. 次へ

IEEE 802.1xの設定画面が表示されます。
操作9までの設定によっては、次へが表示されず、完了が表示されます。その場合は、操作13へ進んでください。

11. IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用するかどうかを設定

アクセスポイントがこの認証方式に対応している場合、「IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用」にチェックを付けます。
特に指定がない場合はチェックを外します。

12. EAPの種類をPEAP／スマートカードまたは証明書から選択

認証方法を設定します。

13. 完了

追加／編集したアクセスポイントの接続情報が保存され、アクセスポイントの一覧画面に戻ります。

アクセスポイントの接続状態を確認する

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ワイヤレスLAN

タブを切り替えて詳細を確認することができます。
また、接続状態の確認以外に、以下の設定を行うことができます。
・パワーモード：省電力のための設定
・LEAP：LEAP認証方式を使用するアクセスポイントのための設定
・Enroll：デジタル証明書（Certificate Enrollment Control）を使用する場合に設定

接続できないとき

接続できないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。特に市販のアクセスポイント機器や公衆ワイヤレスLANサービスでは、認証、データ暗号化、ネットワークキーの設定が誤っていると接続できません。
それでも接続できない場合は、以下のように設定し、再度接続状態を確認してください。

・「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックを外す
・「IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用」のチェックを外す

その他の設定

● ネットワークへの接続にプロキシサーバーを使用する場合には、プロキシの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。
● ネットワークへの接続にVPNを使用する場合には、VPNの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

ドメインへの登録

ドメインに登録すると、本機のインターネット接続を利用して社内ネットワークにアクセスできます。
● ドメインへの登録については、社内システム管理者にご確認ください。

Bluetooth®

Bluetooth®とは、無線を利用して約10m以内にあるBluetooth®対応機器とワイヤレス接続するための通信機能です。

- Bluetooth® 通信機能を使用する前に、「Bluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）機器に関するご注意」（P.xxiv）をよくお読みください。

Bluetooth® の設定

Bluetooth®通信機能をオンにする

1. スタート > プログラム > Comm Manager
2. Bluetooth
3. 完了

本機を検出可能にする

1. スタート > 設定 > 接続タブ > Bluetooth
2. モードタブ
3. Bluetoothのモードを設定

   「Bluetoothをオンにする」にチェックを付け、続けて「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けます。
4. ok

ペアリング

ペアリングとは、Bluetooth®対応機器どうしの無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回からは自動的に接続されるようになります。

- ペアリングするためには、同じパスコードを双方のBluetooth®対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

パソコン側の設定

1. 使用するパソコン上で、「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetooth デバイス」の順に開く
2. 画面の指示に従って、設定を行う

本機側の設定

1. パソコンからペアリングのリクエストを受信 > はい
2. パソコンの画面に表示されているパスコードを本機に入力 > 次へ
3. 接続の完了 > 完了
4. パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックを付ける

ハンズフリーヘッドセットとのペアリング

あらかじめハンズフリーヘッドセットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

1. スタート > 設定 > 接続タブ > Bluetooth
2. 新しいデバイスの追加
   デバイスの検索が行われます。
3. 接続するハンズフリーヘッドセットを選択 > 次へ
4. 固有のパスコードを入力 > 次へ
   固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。
5. 提供されるサービスとして「ハンズフリー」にチェックを付ける

補足

- ハンズフリーヘッドセットがA2DP規格に対応していると、ステレオ音声で聞くことができます。

その他の設定

デバイス名の変更

1. スタート > 設定 > 接続タブ > Bluetooth
2. 対象のデバイスを選択
3. デバイス名の入力 > 保存

セキュリティの設定

1. スタート > 設定 > 接続タブ > Bluetooth
2. セキュリティタブ
3. 「認証（パスキー）が必要です」にチェックを付ける > ok

リモートデスクトップ

ネットワーク内のパソコンを本機で操作することができます。

- あらかじめコンピュータ名、ユーザー名、パスワード、ドメインを確認しておく必要があります。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。
- リモートデスクトップを起動する前に、Internet Explorer® Mobileを起動させるなどの操作を行い、3Gネットワークを使用可能な状態にしてください。

リモートデスクトップでパソコンを操作する

1. スタート ＞ プログラム ＞ リモートデスクトップモバイル

2. 各項目を入力 ＞ 接続

本機とパソコンが接続され、ディスプレイにパソコンの画面が表示されます。

■全画面で表示する場合

＞ 全画面表示

■パソコンの操作を終了する場合

＞ 切断

リモートデスクトップのオプション設定

リモートデスクトップの表示や動作に関する設定を行います。

1. スタート ＞ プログラム ＞ リモートデスクトップモバイル

2. オプション

3. 以下の項目を設定

項目	説明
表示	リモートデスクトップの画面の色や全画面表示するかどうか、画面に合わせて表示サイズを調整するかどうかを設定します。
リソース	デバイスの保存スペースをパソコンにマップするかどうか、リモートデスクトップの操作音をどのデバイスから出力するかを設定します。

4. ok

注意

- リモートデスクトップでパソコンを操作しているときは、キーパッドによる入力はできません。

データ管理

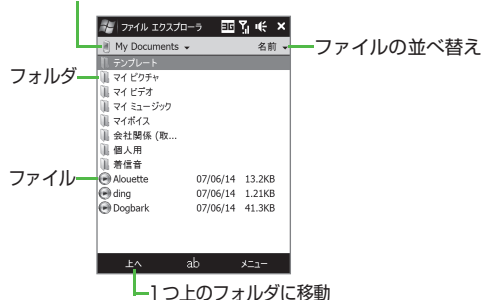
ファイルエクスプローラ

ファイルエクスプローラを起動

1. スタート ＞ プログラム ＞ ファイルエクスプローラ

ファイルエクスプローラ画面が表示され、フォルダとファイルが一覧表示されます。

補足

- ファイルのアイコンは、音楽ファイルや画像ファイルなど、ファイルの種類により異なります。

My Documentsのフォルダの構成について

フォルダ	説明
テンプレート	フレーム付きの静止画を撮影するときのフレームやWord Mobile、Excel Mobile、メモのテンプレートが保存されています。
マイ ピクチャ	撮影した画像などが保存されます。
マイ ビデオ※	撮影した動画などが保存されます。
マイ ミュージック	ダウンロードした楽曲などが保存されます。
マイボイス	ボイスレコーダーで録音した音声が保存されます。
会社関係（取引先）	仕事関係のファイルを保存します。
個人用	個人用のファイルを保存します。
着信音	電話の着信音に設定したいファイルを保存します。

※ お買い上げ時には存在しませんが、対象のファイルを保存するときに自動的にフォルダが作成されます。

注意

- マイデバイス（端末内）のフォルダ構成は以下のようになっています。ただし、アプリケーションをインストールした場合や、各アプリケーションの使用状態などにより、フォルダが追加されたり、構成が変更されます。なお、「★」の付いているフォルダはアプリケーションやシステムが使用するフォルダですので、移動や削除などの操作はしないでください。

マイデバイス
- Application Data ★
- ConnMgr ★
- Documents and Settings ★
- MUSIC
- My Documents
- Program Files ★
- Temp ★
- Windows ★
- マイ ビデオ
- 内部ストレージ

ファイルエクスプローラのメニュー

ファイルエクスプローラでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
移動	ファイルエクスプローラで操作する対象を切り替えます。	
最新の情報に更新	一覧表示を最新の情報に更新します。	
すべてのファイルを表示	チェックを付けると、隠しファイルやシステムファイルを含むすべてのファイルが表示されます。	
並べ替え	指定した条件でファイルを並べ替えます。	
送信	ファイルを添付したメールを作成します（P.10-5)。	
ファイルをビームする	ファイルをBluetooth®通信で他のデバイスに転送します（P.10-6)。	
新しいフォルダ	新しいフォルダを作成します（P.10-5)。	
名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します（P.10-5)。	
削除	ファイルやフォルダを削除します。	
編集	元に戻す	ファイルエクスプローラの操作を1つ前の状態に戻します。
	切り取り	ファイルやフォルダをコピー（P.10-4）したり移動（P.10-4）したりします。
	コピー	
	貼り付け	
	ショートカットの貼り付け	
	すべて選択	ファイルやフォルダをすべて選択状態にします。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルなど、一部のフォルダやファイルは削除できません。
- 一度削除したファイルは、元に戻すことができません。

ファイル／フォルダのコピー

ファイルやフォルダを別のフォルダにコピーすることができます。

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー > 編集 > コピー
4. コピー先のフォルダを開く
5. メニュー > 編集 > 貼り付け

   コピーしたフォルダやファイルが貼り付けられます。

   ■ショートカットを貼り付ける場合

   > メニュー > 編集 > ショートカットの貼り付け

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルのコピーはしないでください。

補足

- フォルダをコピーした場合、フォルダ内のファイルがすべてコピーされます。

ファイル／フォルダの移動

ファイルやフォルダを別のフォルダに移動することができます。

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー > 編集 > 切り取り
4. 移動先のフォルダを開く
5. メニュー > 編集 > 貼り付け

   切り取ったフォルダやファイルが貼り付けられます。
   移動元のフォルダまたはファイルは削除されます。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの移動はしないでください。

補足

- フォルダを移動した場合、フォルダ内のファイルがすべて移動されます。

ファイル／フォルダの名前を変更する

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダやファイルを反転表示
3. メニュー > 名前の変更
4. 名前の入力

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの名前は変更しないでください。

新しいフォルダを作成する

現在のフォルダの配下に新しいフォルダを作成します。

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. メニュー > 新しいフォルダ
4. フォルダ名の入力

ファイルエクスプローラの便利な使いかた

ファイルをメールで送信する

ファイルをインターネットメールに添付して送信することができます。

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを反転表示
4. メニュー > 送信
5. インターネットメールのアカウントを選択
6. 宛先や件名、本文を入力しメール送信

   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

ファイルをBluetooth®で転送する

ファイルをBluetooth®通信で他のデバイスに転送することができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを反転表示
4. メニュー ＞ ファイルをビームする

   送信先の検索がはじまります。
   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

Word/Excel/PowerPoint/PDFファイルを開く

ファイルエクスプローラからWord、Excel、PowerPoint、PDFファイルを開くことができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを選択

   Wordファイルを選択した場合は、Word Mobileが起動します。
   Excelファイルを選択した場合は、Excel Mobileが起動します。
   PowerPointファイルを選択した場合は、PowerPoint® Mobileが起動します。
   PDFファイルを選択した場合は、Adobe Reader LEが起動します。

補足

- Word、Excelのテンプレートファイルを選択しても、Word Mobileまたは Excel Mobileが起動します。

静止画／動画／音楽ファイルを開く

ファイルエクスプローラから静止画、動画、音楽ファイルを開くことができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを選択
3. 対象のファイルを選択

   静止画ファイルを選択した場合は、ピクチャビューアで表示されます。
   動画、音楽ファイルを選択した場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。

注意

- パスが 100 文字以上の静止画を選択した場合、正しく開くことができません。

その他のファイルを開く

ファイルエクスプローラから以下のファイルを開くことができます。
・メモ
・フレーム
・クイックメモ

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のフォルダを開く
3. 対象のファイルを選択

ボイスメモファイルを選択した場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。
フレームファイルを選択した場合は、ピクチャビューアで表示されます。
メモファイルを選択した場合は、メモが起動します。

補足

• メモのテンプレートファイルを選択しても、メモが起動します。

検索

本機に保存されているファイルを検索することができます。

1. スタート > プログラム > 検索
2. 検索する文字列を入力

▼をタップすると、以前入力した文字列を選択できます。

3. ▼をタップして検索するファイルの種類を選択
4. 検索

検索条件に該当するファイルが一覧表示されます。ファイルを選択すると、ファイルの種類に応じたプログラムが起動します。

補足

• ファイルの種類を「Word Mobile」にしたときに詳細設定をタップすると、詳細オプション画面が表示されます。「最近使った文書（過去3日）」にチェックを付けると、過去3日間で使用したWordファイルのみが検索対象となります。

ファイルのバックアップ

本機の故障・修理やその他の取り扱いによって、端末内のデータが変化・消失する場合があります。万一に備え、必要なデータはメモを取ったり、データをバックアップすることをおすすめします。

Sprite Backupを使う

- Sprite Backupはデータのバックアップや復元中に何度か本機を再起動します。

Sprite Backupをインストールする

- あらかじめ本機とパソコン側でActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターの設定を行っておく必要があります（P.7-3、P.7-10）。
- あらかじめPCへのUSB接続を「ActiveSync（Outlookと同期）」に設定しておきます。「接続時に接続タイプを確認する」にチェックを付けている場合は、パソコンとの接続時に接続タイプを設定することができます（P.14-5）。
- あらかじめパソコンのDVD／CD-ROMドライブにアプリケーションソフトのCD-ROMをセットしておいてください。

1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

2. パソコン側でCD-ROMを開き、「SetupSprite Backup.exe」を選択

3. 画面の指示に従って、インストールを行う

4. 本機へのインストールが完了したら「ok」をタップ

データをバックアップする

■バックアップする

1. スタート ＞ プログラム ＞ Sprite Backup

2. バックアップ ＞ バックアップするデータを選択

バックアップするデータにチェックを付けます。

3. 次 ＞ ファイル名や保存場所、保存先フォルダを設定

必要に応じてバックアップファイルの説明を入力してください。

4. 次 ＞ 画面の指示に従ってバックアップする

■日時を指定してバックアップする

1. スタート ＞ プログラム ＞ Sprite Backup

2. スケジュール ＞ バックアップするパターンと日時を設定 ＞ 次

「バックアップ後デバイスを休止します」にチェックを付けると、バックアップ後ディスプレイの表示が消えます。

3. ファイル名や保存場所、保存先フォルダを設定

必要に応じてバックアップファイルの説明を入力してください。

4. 次 ＞ ok

指定した時刻になると、自動的にバックアップが開始されます。

補足

- 指定した日時に電源がオフになっている場合は、次回電源を入れたときにバックアップが開始されます。

データを復元する

1. スタート ＞ プログラム ＞ Sprite Backup
2. 復元
   バックアップファイルが一覧表示されます。
3. 対象のファイルを選択 ＞ 次
4. 復元するデータにチェックを付ける ＞ 次 ＞ 次
5. 画面の指示に従って復元する

Sprite Backupのオプション設定

1. スタート ＞ プログラム ＞ Sprite Backup
2. オプション ＞ カテゴリを選択 ＞ カテゴリごとの項目を設定

■バックアップ

項目	説明	
一般	データの圧縮	チェックを付けると、バックアップファイルの作成時にデータを圧縮します。
	バックアップファイルに自動的に名前を付ける	チェックを付けると、バックアップファイルの作成時に自動的にファイル名が付けられます。変更することもできます。
	ストレージカードを除く	チェックを付けると、対象のデータから内部ストレージが除外されます。バックアップ時に対象とすることができます。
	自己復元バックアップファイルを作成する	チェックを付けて作成したバックアップファイルは、SpriteBackupプログラムがなくても復元することができます。
	壊れたレジストリのチェックをする	チェックを付けると、バックアップファイルの作成時に、壊れたレジストリがないかどうかをチェックします。
	バックアップ成功を表示	チェックを付けると、バックアップが成功したときにメッセージが表示されます。
ストレージ	バックアップファイル保存先フォルダでの最大使用可能容量	チェックを付けると、バックアップファイルの最大使用領域を指定できます（単位：MB）。
	バックアップファイル保存先フォルダでの最大バックアップファイル数	チェックを付けると、バックアップファイルの最大保存数を指定できます。

項目	説明
ルール	「除外ルールの使用」にチェックを付けると、バックアップしないデータを指定できます。メニューをタップして除外するデータを追加します。
移管	他のデバイスにデータを移動させるための設定です。通常は自動のままにしてください。 ・詳細については、ヘルプをタップしてください。

■復元

項目	説明	
一般	全てのファイルの削除	チェックを付けると、本機に保存されているすべてのファイルが復元時に削除されます。
	壊れたレジストリのチェックをする	チェックを付けると、バックアップファイルの復元時に、壊れたレジストリがないかどうかをチェックします。
	システム設定復元	復元時に、バックアップファイルと本機のシステム設定を合わせるか、バックアップファイルのシステム設定に置き換えるかを設定します。
アップグレード	復元モードを設定します。同じデバイスや異なるデバイスなど、復元するデバイスに応じて設定します。 ・詳細については、ヘルプをタップしてください。	

■ネットワーキング

項目	説明	
PC	「PCバックアップを有効にする。」にチェックを付けると、バックアップファイルをパソコンに作成することができます。ActiveSync経由/ネットワーク経由を選択し、必要な項目を設定してください。	
接続	接続管理	ネットワークへの接続方法を設定します。
	ActiveSync	ActiveSyncでネットワークへ接続します。
	接続設定	ネットワークへ接続できないとき、切断するまでの時間を設定します。

■セキュリティ

項目	説明
暗号化	バックアップファイルを暗号化します。「データの暗号化」にチェックを付け、パスワードを2回入力してください。 ・「常にマスターパスワードを使う」にチェックを付けると、ここで入力したパスワードが自動的に使用されます。
SIMロック	「携帯電話SIMアンロックを有効にする」にチェックを付けてPINコードを入力しておくと、PINコードを有効に設定している場合でも、バックアップ/復元時にPINコードを入力せずに再起動できるようになります。
デバイスロック	デバイスのロックが設定されているときのバックアップ/復元の動作を設定します。
一般	「パスワード入力を隠す」にチェックを付けると、Sprite Backupプログラムで入力するパスワードが「*」で表示されます。

■履歴

バックアップおよび復元の履歴を表示します。項目を選択すると、バックアップおよび復元の詳細を確認できます。

■ヘルプ

項目	説明	
ヘルプ	Sprite Backupのヘルプを表示します。	
登録	名前やメールアドレスの入力、アップデートの設定を行います。	
ログ	ログレベル	ログを作成するレベルを設定します。
	ログディクトリー	ログファイルを保存する場所を選択します。
リセット	Sprite Backupのオプション設定をリセットします。	
バージョン情報	Sprite Backupのバージョン情報を確認します。	

パソコンにファイルをコピーする

パソコンと情報やデータを同期させる

ActiveSyncやWindows Mobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンで情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりできます（P.7-1）。

メールにファイルを添付する

画像ファイルなどは、メールに添付してパソコンに送付することができます（P.5-6、P.5-21）。

Bluetooth®通信でファイルを送信する

Bluetooth®通信機能を利用して、本機とパソコンとでデータのやりとりができます。

- あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります（P.9-6）。

1. スタート > プログラム > ファイルエクスプローラ
2. 対象のファイルを反転表示
3. メニュー > ファイルをビームする

   送信先の検索がはじまります。
4. 送信先のデバイスを選択

   ファイルが送信されます。

カメラ

静止画／動画を撮影する

カメラをご使用になる前に

- 撮影した静止画／動画は、内部ストレージのマイ ピクチャフォルダ／マイ ビデオフォルダに保存されます。また、本体メモリに保存することもできます。

カメラご利用時の注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでふいてください。
- 撮影するときは、本機をしっかり持ってください。手ぶれがあると撮影した静止画／動画にぶれが生じます。
- 本機ではバーコード（QRコード／JANコード）を読み取ることはできません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。

静止画／動画のファイル形式

静止画／動画のファイル形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	JPG
動画	MPEG-4	mp4
	H.263 baseline	3gp

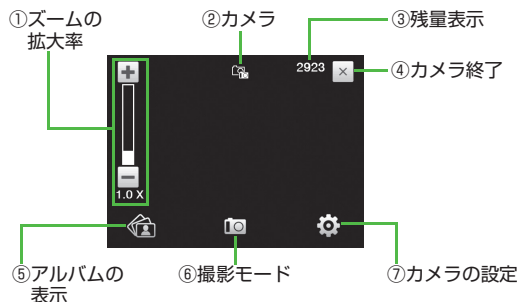
撮影モード（キャプチャモード）について

撮影する目的に応じて、撮影モード（キャプチャモード）を切り替えて撮影できます。

- 撮影画面で撮影モードアイコンをタップすると、撮影モードを変更できます。また、ナビゲーションコントロール（上下）でも変更できます。

アイコン	撮影モード	説明
フォト	フォト	標準的な静止画の撮影（P.11-6）
ビデオ	ビデオ	動画の撮影（音声あり／なし）（P.11-7）
パノラマ	パノラマ	複数枚の静止画をつなげて1枚のパノラマ写真を作成（P.11-9）
S! メールビデオ	S! メールビデオ	S! メールで送信する動画の撮影
連絡先ピクチャ	連絡先ピクチャ	連絡先に設定する静止画の撮影
ピクチャのテーマ	ピクチャのテーマ	フレームを付けた静止画の撮影（P.11-8）

カメラの撮影画面の見かた

撮影画面の各種アイコンは、画面をタップすると表示されます。しばらくすると、アイコンは消えます。

①ズームの拡大率（P.11-9）

＋／－をタップしてズームを調整

②カメラ（P.11-4）

使用しているカメラを表示
表示なし：メインカメラ
：インカメラ（正像）
：インカメラ（鏡像）

③残量表示

静止画撮影時は撮影可能な枚数
動画撮影時は撮影可能な時間

④カメラの終了

タップするとカメラを終了

⑤アルバムの表示

タップすると、アルバムに保存されている静止画および動画のサムネイルを表示（P.15-8）

⑥撮影モード（P.11-2）

：フォト
：ビデオ
：パノラマ
：S! メールビデオ
：連絡先ピクチャ
：ピクチャのテーマ

⑦カメラの設定（P.11-4）

タップするとカメラの設定メニューを表示

カメラの設定メニューについて

1. **カメラの撮影画面 ＞**

カメラの設定メニューが表示されます。

2. **メニューアイコンをタップして各項目を設定**

メニューアイコンをタップするたびに設定値が切り替わります。

アイコン	項目	説明
3M 解像度	解像度※1	静止画／動画のサイズを設定します。 **静止画撮影時** • M 解像度（中）：320×240 （撮影モードが連絡先ピクチャのときは、240×320） • L 解像度（大）：640×480 • 1M 解像度（1M）：1280×960 • 2M 解像度（2M）：1600×1200 • 3M 解像度（3M）：2048×1536
3M 解像度	解像度※1	動画撮影時 • S 解像度（小）：128×96 • M 解像度（中）：176×144 • L 解像度（大）：320×240 • CIF 解像度（CIF）：352×288
AUTO ホワイトバランス	ホワイトバランス	光源に合わせて設定すると、撮影するときの光源による色調の不自然さを解消できます。 • AUTO ホワイトバランス（自動）：自動的に補正 • ホワイトバランス（日光）：日中の太陽光での撮影 • ホワイトバランス（夜景）：夜間での撮影 • ホワイトバランス（電球）：電球の下での撮影 • ホワイトバランス（蛍光灯）：蛍光灯の下での撮影
明るさ	明るさ	＋／－をタップして画像の明るさを-2から+2の範囲で調整します。
カメラ	カメラ※2	使用するカメラを設定します。 • カメラ（メインカメラ） • カメラ（インカメラ（正像）） • カメラ（インカメラ（鏡像））

アイコン	項目	説明
OFF セルフタイマー	セルフタイマー※3	セルフタイマーの時間を設定します。 ・OFF セルフタイマー（OFF） ・2 セルフタイマー（2秒） ・10 セルフタイマー（10秒）

※1 撮影モードによって選択できる項目は異なります。
※2 撮影モードが「パノラマ」のときは表示されません。
※3 撮影モードが「フォト」または「連絡先ピクチャ」のときのみ表示されます。

3. 詳細設定 をタップして詳細を設定

項目	説明
レビュー時間	撮影後に、保存／利用メニューを表示する時間を設定します（何も操作せず設定した時間が経過すると、自動的に撮影画面に戻ります）。
テンプレート※1	フレームを付けて撮影する際のテンプレートをデフォルト-テンプレート／Cook／Clothes-Line／Cat-Bubbleから設定します。
画質※2	静止画の画質をベーシック／ノーマル／ファイン／スーパーファインから設定します。
キャプチャフォーマット	静止画／動画を保存するときのデータ形式を設定します。 ・静止画撮影時：JPEG ・動画撮影時：H.263／MPEG4
タイムスタンプ※3	静止画に撮影日時を入れるかどうかを設定します。

項目	説明
録音制限※4	動画の録画制限サイズを250KB／1MB／2MB／10秒／30秒／1分／3分／制限なしから設定します。
保存容量	静止画／動画の保存先を本体メモリまたは内部ストレージから設定します。
バックライトを維持	バックライトの動作をオン／オフから設定します。
音声録音※5	動画撮影時に音声も録音するかどうかを設定します。
撮影オプション	センターボタンでシャッターを切る操作をタッチアンドプレス／タッチ／全押しから設定します。
イメージプロパティ	画面の表示画質（コントラスト／色の鮮やかさ／シャープネス）について設定します。
効果	静止画／動画の特殊効果をなし／グレースケール／セピア／ネガから設定します。
測定モード	明るさの測定を中心エリアまたは平均から設定します。
保存ファイル名	静止画／動画を保存するときのファイル名の規則をデフォルト／日付／日付/時刻から設定します。
カウンター	カウンターをリセットします。
ちらつき調整	蛍光灯による画面のちらつきの補正について自動／50Hz／60Hzから設定します。
グリッド表示※3	撮影画面にグリッドを表示するかどうかを設定します。
方向※6	パノラマの方向（静止画をつなげる方向）を設定します。
連結枚数※6	連続する写真の枚数を設定します。
通知を表示※7	連絡先ピクチャの撮影後に、連絡先設定の確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

項目	説明
テーマフォルダ※1	フレームのテンプレートのフォルダを**本体メモリ**／**本体＋カード**から設定します。
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。
バージョン情報	カメラのソフトウェアのバージョン情報を表示します。

※1　撮影モードが「ピクチャのテーマ」のときのみ表示されます。
※2　静止画撮影時のみ表示されます。
※3　撮影モードが「フォト」のときのみ表示されます。
※4　撮影モードが「ビデオ」のときのみ表示されます。
※5　動画撮影時のみ表示されます。
※6　撮影モードが「パノラマ」のときのみ表示されます。
※7　撮影モードが「連絡先ピクチャ」のときのみ表示されます。

4. **戻る**

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1. **スタート** > **プログラム** > **カメラ**

撮影モード「フォト」で、静止画撮影画面が表示されます。

2. **カメラを被写体に向ける > センターボタン**

センターボタンに触れると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。そのままセンターボタンを押すと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

3. **撮影した静止画を保存／利用する**

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-7）を参照してください。

注意

- 通話中に撮影する場合、オートフォーカスは起動しません。

補足

- HTCホームの「フォト＆ビデオ」タブで をタップしても静止画撮影画面が表示されます。
- カメラを起動したままで、約2分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

動画を撮影する

1. スタート ＞ プログラム ＞ カメラ

2. 撮影モードアイコンをタップ ＞ ビデオ

動画撮影画面が表示されます。

3. カメラを被写体に向ける ＞ センターボタン

センターボタンに触れると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。そのままセンターボタンを押すと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

4. センターボタン

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

5. 撮影した動画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-7）を参照してください。

補足

- HTC ホームの「フォト＆ビデオ」タブで をタップしても動画撮影画面が表示されます。
- カメラを起動したままで、約２分間カメラを使用しないと、スリープモードに入ります。

撮影した静止画や動画を保存／利用する

静止画／動画を撮影後に、撮影した静止画／動画の利用方法を選択できます。

● 静止画／動画は、撮影後に自動的に保存されます（保存にはしばらく時間がかかる場合があり、その間は操作ができません）。保存された静止画／動画を削除する場合は、保存／利用メニューから破棄を選択してください。

1. 静止画／動画の撮影後に保存／利用メニューが表示される

2. 以下の項目から選択

アイコン	項目	説明
	戻る	撮影画面に戻ります。
	表示／再生	静止画／動画が表示／再生されます。表示／再生後、撮影画面に戻る場合は、戻るボタン（←）を押してください。
	破棄	保存した静止画／動画を破棄します。
	メール送信※	静止画／動画をメールに添付して送信します。
	連絡先※	静止画を任意の連絡先に登録します。

※ 撮影モードが「連絡先ピクチャ」の場合は、メール送信は表示されず連絡先が表示されます。それ以外の撮影モードの場合、連絡先は表示されません。

便利な撮影方法

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを利用して静止画を撮影することができます。

● 撮影モードが「フォト」または「連絡先ピクチャ」のときのみ利用できます。

1. 静止画撮影画面 > ⚙

2. セルフタイマー

タップするたびに2（秒）→10（秒）→OFFの順に切り替わります。
セルフタイマーを利用しない場合は、オフに設定してください。

3. センターボタン

カウントダウンがはじまり、セルフタイマーが動作します。
設定した時間が経過すると撮影され、撮影した静止画が表示されます。

4. 撮影した静止画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-7）を参照してください。

フレームを付けて撮影する（ピクチャのテーマ）

フレームを付けて撮影することができます。

1. 撮影画面で撮影モードアイコンをタップ > ピクチャのテーマ

フレームの付いた撮影画面が表示されます。フレームは、カメラの設定メニューのテンプレートで変更できます（P.11-5）。

2. センターボタン

フレーム撮影した静止画が表示されます。
フレームの種類によっては、複数の静止画を撮影する必要があります。

3. 撮影した静止画を保存／利用する

詳細については、「撮影した静止画や動画を保存／利用する」（P.11-7）を参照してください。

パノラマ写真を撮影する

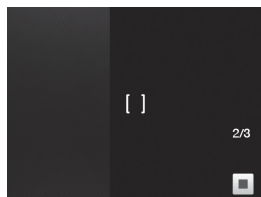
横方向または縦方向に連続して撮影した複数枚の写真を自動的につなげて、１枚のパノラマ写真を作成することができます。

● パノラマ写真に関する設定については、「カメラの設定メニューについて」（P.11-4）の方向および連結枚数を参照してください。
● インカメラでは使用できません。

1. **撮影画面で撮影モードアイコンをタップ ＞ パノラマ**

パノラマ写真の撮影画面が表示されます。

2. **センターボタン**

１枚目の静止画が撮影されます。
ディスプレイの端に、撮影した静止画の端の部分が薄く残ります。これを次の写真で重ねるようにして撮影していくと、きれいにつながるようになります（薄く残る場所は方向の設定により異なります）。

3. **センターボタン**

２枚目の静止画が撮影されます。
以降は、連結枚数で設定した枚数だけ同様に撮影します。

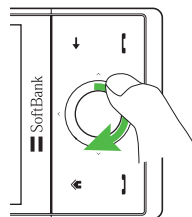
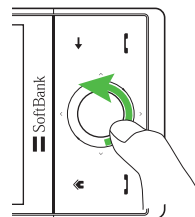
4. **撮影したパノラマ写真を保存／利用する**

自動的に合成されたパノラマ写真が表示され、保存／利用できます（P.11-7）。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調整することができます。

1. **撮影画面で ＋ ／ －**

ナビゲーションコントロールの周りをなぞってズームすることもできます。

ズームイン

ズームアウト

各撮影モードの倍率

ズームは最大４倍まで倍率を調節できますが、撮影モードや解像度、使用するカメラによって、利用できる倍率は以下のように異なります。

撮影モード	使用カメラ	解像度	ズームの倍率
フォト	メインカメラ	中（320 × 240）	１倍～４倍
		大（640 × 480）	１倍～２倍
		1M（1280 × 960）	１倍～２倍
		2M（1600 × 1200）	１倍～２倍

撮影モード	使用カメラ	解像度	ズームの倍率
フォト	メインカメラ	3M（2048 × 1536）	1倍〜2倍
	インカメラ	中（320 × 240）	1倍〜2倍
		大（640 × 480）	ズームなし
ビデオ／S!メールビデオ	メインカメラ	小（128 × 96）（4：3）	1倍〜1.5倍
		中（176 × 144）（11：9）	1倍〜1.5倍
		大（320 × 240）（4：3）	1倍〜1.5倍
		CIF（352 × 288）（11：9）	1倍〜1.5倍
	インカメラ	すべての解像度でズームなし	
パノラマ※	メインカメラ	中（320 × 240）	1倍〜4倍
		大（640 × 480）	1倍〜2倍
連絡先ピクチャ	メインカメラ	中（240 × 320）	1倍〜4倍
	インカメラ	中（240 × 320）	1倍〜2倍
ピクチャのテーマ	メインカメラ	テンプレートの解像度に依存	選択したテンプレートの解像度に応じた倍率
	インカメラ		

※ インカメラは使用できません。

静止画／動画を利用する

静止画を表示する／動画を再生する

1. スタート > プログラム > 画像とビデオ

My Documentsのマイ ピクチャフォルダ内の静止画の一覧画面が表示されます。

■動画の一覧画面を表示する場合

> メニュー > 移動 > マイデバイス > マイ ビデオ

■内部ストレージの静止画／動画の一覧画面を表示する場合

> メニュー > 移動 > フォルダ > 内部ストレージ

2. 対象の静止画／動画を選択

静止画の場合は、ピクチャビューアで表示されます。

動画の場合は、Windows Media® Player Mobileで再生されます。

■マイ ピクチャ以外のフォルダ内のデータを表示する場合

> メニュー > 移動 > フォルダ／マイデバイス > 対象のフォルダを選択

補足

- ファイルエクスプローラ（P.10-2）で、マイ ピクチャフォルダまたはマイ ビデオフォルダ内を表示し、対象の静止画／動画を選択しても、静止画の表示／動画の再生を行うことができます。

静止画／動画をメールに添付して送信する

撮影した静止画などを添付したメールを作成します。

静止画を添付して送信する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 画像とビデオ
2. 対象の静止画を選択
3. メニュー ＞ S! メール送信

   ■インターネットメールに添付する場合

   ＞ 送信 ＞ インターネットメールのアカウントを選択
4. 宛先、件名、本文を入力してメール送信

   詳細については、「SMS／S! メールを作成する」（P.5-4）、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

動画を添付して送信する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 画像とビデオ
2. メニュー ＞ 移動 ＞ マイデバイス ＞ 内部ストレージ ＞ My Documents ＞ マイビデオ
3. 対象の動画を反転表示
4. メニュー ＞ 送信
5. 宛先、件名、本文を入力してメール送信

   詳細については、「インターネットメールを作成する」（P.5-21）を参照してください。

静止画をホーム画面の背景に設定する

撮影した静止画などをホーム画面の背景に設定することができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 画像とビデオ
2. 対象の画像を選択
3. メニュー ＞ ［Today］の背景に設定する
4. 透過レベルの調整 ＞ ok

   静止画のサイズによっては、表示領域（静止画の明るく表示されている部分）の調整が必要になります。

補足

- 背景に設定した静止画は、スタート ＞ 設定 ＞ Todayのアイテムタブで「TouchFLO 3D」のチェックを外すと表示されます。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■静止画／動画の一覧画面

項目	説明
カメラ	カメラを起動します。
送信	静止画／動画をインターネットメールで送信します（P.11-11）。
ビーム	静止画／動画をBluetooth® 通信で他のデバイスに転送します。

項目	説明	
連絡先に保存	連絡先の画像に静止画を設定します。	
削除	静止画／動画を削除します。	
編集	切り取り	ファイルやフォルダをコピーまたは移動します。
	コピー	
	貼り付け	
	新しいフォルダ	新しいフォルダを作成します。
スライドショーの再生	フォルダの中の静止画をスライドショーで再生します。	
[Today]の背景に設定する	静止画をホーム画面の背景に設定します（P.11-11）。	
移動	閲覧するフォルダを変更します。	
ツール	プロパティ	静止画／動画の情報を表示します。
	並べ替え	指定した条件で静止画／動画を並べ替えます。
	オプションの表示	静止画をメールに添付するときの画像サイズの設定や、静止画を回転するときの回転方向の設定、スライドショーを再生するときの設定を行います。
スペースに送信※	静止画をWindows Live™の自分のフォトスペースにアップロードします。	
S!メール送信※	静止画をS!メールで送信します（P.11-11）。	
Bluetoothから印刷※	Bluetooth®対応プリンタを使用して静止画を印刷します。	

※ 静止画を選んでいるときのみ表示されます。

■ピクチャビューア画面

項目	説明	
ズーム	チェックを付けると、ズームアイコンが表示され、画像を拡大表示できます。	
スライドショーの再生	フォルダの中の静止画をスライドショーで再生します。	
[Today]の背景に設定する	静止画をホーム画面の背景に設定します（P.11-11）。	
画像のビーム	静止画をBluetooth®通信で他のデバイスに転送します。	
保存	連絡先の画像として登録したり、別の名前を付けて保存したりします。	
編集	静止画を編集（回転やトリミングなど）します。	
プロパティ	静止画の情報を表示します。	
オプション	全般	静止画をメールに添付するときの画像サイズの設定や、静止画を回転するときの回転の方向を設定します。
	スライドショー	スライドショーを再生するときの設定を行います。
スペースに送信	静止画をWindows Live™の自分のフォトスペースにアップロードします。	
S!メール送信	静止画をS!メールで送信します（P.11-11）。	

エンタテイメント

Windows Media® Player Mobile

Windows Media® Player Mobileでは、メインメモリ、内部ストレージ内の対応する楽曲および動画を再生することができます。

補足

• パソコンからメインメモリや内部ストレージにファイルをコピーする操作については、P.7-8、P.7-14を参照してください。

再生できるファイル形式

Windows Media® Player Mobileで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲/動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

■音楽ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Audio	wma
MP3	mp3
MIDI	mid、midi、rmi
AMR Narrow Band	amr
AMR Wide Band	awb
AAC※	m4a、aac

※ AACデータについては、以下の点にご注意ください。

・音楽をAACデータに変換できるソフトウェアが必要です。

・当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。

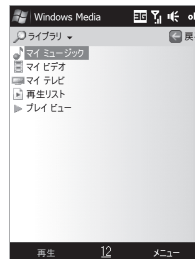
・ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

■動画ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
Motion JPEG	avi

Windows Media® Player Mobileで楽曲や動画を再生する

1. スタート > プログラム > Windows Media

ライブラリ画面が表示されます。

2. カテゴリを選択

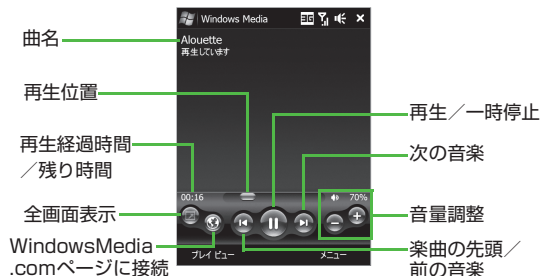
マイ ミュージック：楽曲のカテゴリ（項目）が表示されます。
マイ ビデオ：動画のカテゴリ（項目）が表示されます。
マイ テレビ：メインメモリ、内部ストレージの中のすべてのテレビ動画（Windows Media Centerで録画されたもの）が表示されます。
再生リスト：再生する順番に楽曲／動画を登録したリストが一覧表示されます（P.12-5）。
プレイ ビュー：楽曲／動画を再生する順番に登録した一時的なリストが表示されます（P.12-4）。

3. 項目を選択 ＞ 楽曲／動画を選択 ＞ 再生

再生画面が表示され、楽曲／動画の再生がはじまります。
カテゴリにより項目を選択する回数は異なります。また、カテゴリ内で再生をタップしても楽曲／動画の再生がはじまります。

補足

- 後からメインメモリや内部ストレージに楽曲や動画をコピーしたときなどは、ライブラリ画面でメニュー ＞ ライブラリの更新をタップしてください。メインメモリ、内部ストレージ内のすべての楽曲／動画が検索され、ライブラリが最新の状態に更新されます。

Windows Media® Player Mobile再生画面の見かた

Windows Media® Player Mobile再生画面の操作について

Windows Media® Player Mobileは各アイコンをタップすることで操作できます。また、センターボタンおよびナビゲーションコントロールには以下のような操作が割り当てられています。

● Windows Media® Player Mobile再生画面でメニュー ＞ オプション ＞ ボタンタブをタップすると、センターボタンおよびナビゲーションコントロールの割り当てを変更することができます。

ボタン	説明
センターボタン	再生／一時停止
ナビゲーションコントロール（左）	楽曲の先頭／前の音楽
ナビゲーションコントロール（右）	次の音楽
ナビゲーションコントロール（左）を１秒以上	スキップ戻し
ナビゲーションコントロール（右）を１秒以上	スキップ送り
ナビゲーションコントロール（上下）	音量調整

Windows Media® Player Mobile再生画面のメニュー

Windows Media® Player Mobile再生中には、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ライブラリ	ライブラリ画面を表示します。
再生／一時停止	楽曲／動画の再生、一時停止を行います。
停止	楽曲／動画の停止を行います。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生、連続再生の設定を行います。
全画面表示	全画面で表示します。
オプション	各種設定を行います（P.12-4）。
プロパティ	楽曲／動画の情報を表示します。
バージョン情報	Windows Media® Player Mobileのバージョン情報を表示します。

■オプション設定について

Windows Media® Player Mobile再生画面のメニュー ＞ オプションでは、以下の項目を設定します。

項目	説明
再生	時間の表示形式を設定します。
ビデオ	動画再生時の画面について設定します。
ネットワーク	ネットワーク上の楽曲／動画を再生するための、ネットワークの接続速度やプロトコルを設定します。
ライブラリ	Windows Media® Player Mobileを起動したときに、ライブラリ画面を最初に表示するかどうかを設定します。
スキン	Windows Media® Player Mobileのスキンを選択します。
ボタン	楽曲／動画を操作するためのセンターボタンおよびナビゲーションコントロールの割り当てを変更します。

楽曲／動画を順番を決めて再生する

再生する順番に楽曲／動画をプレイ ビュー（再生待ちリスト）に登録しておくと、登録した順に再生することができます。

- プレイ ビューは一時的なリストのため、Windows Media® Player Mobileを終了すると、登録されている内容は消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

プレイ ビューに登録する

1. ライブラリ画面 ＞ カテゴリを選択
2. 項目を選択 ＞ 対象の楽曲／動画を選択
3. メニュー ＞ 再生待ちに追加

   プレイ ビューに登録されます。

   対象の楽曲／動画の数だけ同様の操作を繰り返します。

プレイ ビューから再生する

- 複数の楽曲／動画を連続して再生するためには、あらかじめWindows Media® Player Mobile再生画面のメニューなどで連続再生を「オン」に設定しておきます。

1. **ライブラリ画面 ＞ プレイ ビュー**

プレイ ビュー一覧画面が表示されます。

2. **楽曲／動画を選択 ＞ 再生**

楽曲／動画の再生がはじまります。

プレイ ビューのメニュー

プレイ ビュー一覧画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ライブラリ	ライブラリ画面が表示されます。
上へ	楽曲／動画の順番を上または下に移動します。
下へ	
再生リストから削除	楽曲／動画をプレイ ビューから削除します。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生、連続再生の設定を行います。
再生リストの保存	プレイ ビューを再生リストとして登録します。
プレイ ビューの消去	プレイ ビューの内容を消去します。
エラーの詳細	エラーの詳細について表示します。
プロパティ	楽曲／動画の情報を表示します。

プレイ ビューのツールバー

ツールバーの各アイコンに割り当てられた機能は以下のとおりです。

アイコン	説明
	楽曲／動画の順番を上に移動します。
	楽曲／動画の順番を下に移動します。
	ライブラリ画面を表示します。
	楽曲／動画をプレビューから削除します。
	楽曲／動画の情報を表示します。

再生リスト（プレイリスト）を使って再生する

再生リスト（プレイリスト）に楽曲／動画を登録すると、お好みの楽曲／動画をお好みの順番で再生することができます。

再生リストを作成する

ここでは、プレイ ビューから再生リストを作成する方法を説明します。

1. **あらかじめプレイ ビューに対象の楽曲／動画を登録**

詳細は「プレイ ビューに登録する」（P.12-4）を参照してください。

2. **プレイ ビュー一覧画面**

3. **メニュー ＞ 再生リストの保存**

4. **再生リスト名を入力 ＞ 終了**

プレイ ビューに登録されている内容が再生リストとして登録されます。

再生リストで楽曲／動画を再生する

1. ライブラリ画面 > 再生リスト

再生リスト画面が表示されます。

2. 対象の再生リストを選択

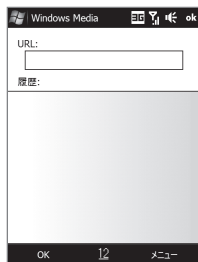
3. 楽曲／動画を選択 > 再生

再生リストの再生がはじまります。

ネットワーク上のファイルを再生する

URLを指定することにより、ネットワーク上の楽曲／動画ファイルを再生することができます。

1. ライブラリ画面

2. メニュー > URLを開く

3. URL入力欄にネットワーク上のファイルのURLを入力

履歴欄から以前開いたファイルのURLを選択することもできます。

4. OK

パソコンのライブラリと同期する

パソコンのWindows Media® Playerのライブラリと楽曲／動画を同期することができます。著作権保護付きの楽曲／動画は、この方法によって著作権情報とともに本機に同期することができます。

同期の準備／ライブラリの同期

あらかじめActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターで本機とパソコンのデータ同期の設定をしておく必要があります(P.7-4、P.7-10)。

<例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合>

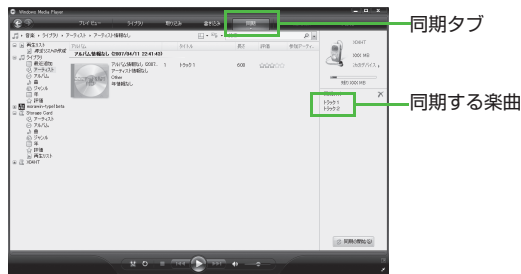
1. 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する

2. パソコン側のWindows Media® Playerを起動する

はじめて本機と同期するときは、デバイスの設定画面が表示されます。

3. デバイス名を確認 > 「完了」をクリック

4. パソコン側のWindows Media® Playerで同期タブをクリック

5. 同期する楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする

6. 「同期の開始」をクリック

ライブラリの同期が開始されます。

本機の内部ストレージとの同期

パソコン側のWindows Media® Playerと本機の内部ストレージを直接同期することができます。

<例：パソコン側がWindows Media® Player11の場合>

1. パソコン側のWindows Media® Playerで、「次のデバイス」をクリック

内部ストレージが表示されます。
以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」（P.12-7）の操作5以降を参照してください。

注意

- 本機と同期を行うには、パソコン側でWindows Media® Player10以降のバージョンが必要です。

補足

- パソコン側のWindows Media® Playerの使用方法については、Windows Media® Playerのヘルプを参照してください。

ライブラリ画面のメニュー

ライブラリ画面や再生リスト画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
再生待ちに追加	再生待ちリスト（プレイ ビュー）に追加します。
ライブラリから削除	ライブラリから削除します。
プレイ ビュー	プレイ ビュー一覧画面を表示します。
ライブラリ	ライブラリのデバイスをマイ デバイスにします。
ライブラリの更新	ライブラリの内容を更新します。 後から楽曲や動画をコピーしたときなどは、内部ストレージも含め、すべての楽曲／動画ファイルを検索して表示します。
ファイルを開く	楽曲／動画ファイルを直接開いて再生します。
URLを開く	ネットワーク上の楽曲／動画を再生します（P.12-6）。
プロパティ	楽曲／動画または再生リストの情報を表示します。

YouTube

YouTubeとはさまざまな動画コンテンツを視聴したり、アップロードしたりできるWebサイトです。本機では動画コンテンツの視聴のみ行うことができます。

YouTubeを開く

1. スタート ＞ プログラム ＞ YouTube

YouTubeサイトに接続し、動画コンテンツ一覧画面が表示されます。

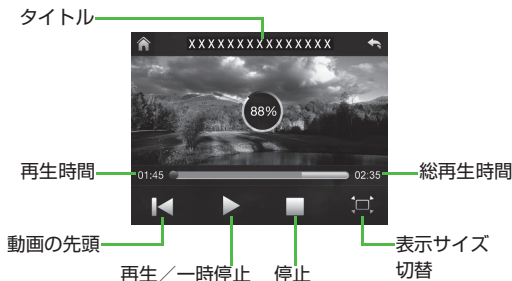
2. 対象の動画コンテンツを選択

動画コンテンツが再生されます。

補足

- プログラムガイドは動画コンテンツの関連サイトから登録することができます。

動画コンテンツ再生画面の見かた

通常は動画のみ再生されます。画面をタップすると、タイトルや再生時間、コントロールアイコンが表示され、動画の操作を行うことができます。

動画コンテンツ再生後の操作

動画の再生が終了すると、関連する動画やコントロールアイコンが表示されます。

YouTubeのメニュー

動画コンテンツ一覧画面では、アイコンをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

アイコン	説明
	動画コンテンツ一覧画面を表示します。
	ブックマークを表示します。対象のブックマークを選択すると、動画コンテンツが再生されます。
	再生履歴を表示します。対象の再生履歴を選択すると、動画コンテンツが再生されます。
	動画コンテンツを検索します。
	動画の再生品質を設定します。

FMラジオ

● FMラジオはイヤホンを接続しているときのみ聴くことができます。

FMラジオを聴く

1. スタート > プログラム > FM Radio

FMラジオが起動します。

2. ⏮ ／ ⏭ をタップして自動選局する

■手動で選局する場合

> ⏪ ／ ⏩

■現在の放送局をプリセットとして登録する場合

> プリセット > 対象の項目の ✔ をタップ > ok

削除する場合は ✖ をタップします。

FMラジオ画面の見かた

FMラジオのメニュー

FMラジオ画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
スキャンして保存	放送局を自動的に選局し、プリセットとして登録します。
ステレオ	音の再生方式をステレオかモノラルに切り替えます。
ミュート	ミュートのオン／オフを切り替えます。
出力	音の出力先をスピーカー／コード付きヘッドセットから選択します。
スリープ	スリープモードに入るまでの時間をオフ／30分／60分／90分から選択します。
放送帯域	放送帯域を日本／その他の国から選択します。
終了	FMラジオを終了します。
バージョン情報	FMラジオのバージョン情報を確認します。

オーディオブースターを活用する

オーディオブースターでは、イヤホン接続時の音質を調整します。
● イヤホンを接続しているときのみ調整できます。

音質を調整する

使用するイコライザを設定します。

1. スタート > プログラム > オーディオブースター
   オーディオブースター画面が表示されます。
2. イコライザの種類を選択 >「オン」にチェックを付ける
3. 完了

イコライザのプリセットをカスタマイズする

イコライザをお好みの周波数に調節して、プリセットとして登録することができます。

1. スタート > プログラム > オーディオブースター
   オーディオブースター画面が表示されます。
2. イコライザの種類を選択
   イコライザ調節画面が表示されます。
3. 対象の帯域を選択 > 周波数バーをスライドさせて周波数を調節
   対象の帯域の数だけ同様の操作を繰り返します。

4. メニュー > プリセットとして保存
5. プリセット名を入力 > 完了 > ok > 完了

イコライザのプリセットを削除する

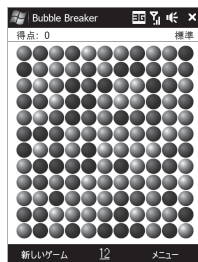
プリセットとして登録したイコライザを削除します。本機にあらかじめ登録されているイコライザを削除することはできません。

1. スタート > プログラム > オーディオブースター
   オーディオブースター画面が表示されます。
2. 対象のイコライザを選択
3. メニュー > プリセットを削除 > はい > 完了

ゲーム

Bubble Breaker

となり合っている同色のバブル（シャボン玉）を消していくゲームです。一度に多くの同色バブルを消すと、高い得点になります。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ゲーム ＞ Bubble Breaker

2. 消すバブルをタップ

   消せるバブルが線で囲まれ、得られる得点が表示されます。

3. もう一度タップ

   バブルが消え、得点が加算されます。
   同様の操作を繰り返し、消せるバブルがなくなると終了です。

■新しくゲームを始める場合

＞ 新しいゲーム ＞ はい

Bubble Breakerのメニュー

Bubble Breakerでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

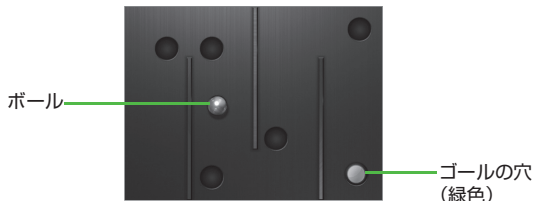
項目	説明
元に戻す 移動	直前の動作を元に戻します。
オプション	サウンドの有無や、スタイル、バブルの色などを設定します。
成績表	ゲームの成績が表示されます。
バージョン情報	Bubble Breakerのバージョン情報が表示されます。

Teeter

本機を傾けてボールを転がし、ゴールの穴にボールを落とすゲームです。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ゲーム ＞ Teeter

   前回途中で終了した場合は、再開するかリスタートするかの確認画面が表示されます。

2. 本機を傾けてゴールの穴（緑色）にボールを落とす

途中の黒い穴にボールが落ちると、やり直しとなります。
ボールをゴールの穴（緑色）に落とすとクリアとなり、クリアするまでにかかった時間や回数などが表示されます。

■ゲームを終了する場合

＞ タッチパネルをタップ ＞ はい

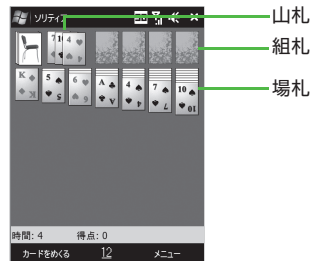
ソリティア

山札と場札のカードすべてを使い切って、組札に積み重ねるゲームです。

● ルールは以下のとおりです。
- ・組札には1からKまでの同じ種類のカードを、小さい順に積み重ねることができます。
- ・場札には、大きい順に赤・黒のカードを交互に積み重ねることができます。
- ・すべてのカードを組札に積み重ねることができたら、ゲームクリアです。
- ・移動できるカードがなくなるとゲームオーバーです。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ゲーム ＞ ソリティア

2. カードをめくる

山札がめくられます。

3. 山札または場札のカードを移動先にドラッグする

同様の操作を繰り返します。

■新しいゲームを開始する場合

＞ メニュー ＞ 新しいゲーム

ソリティアのメニュー

ソリティアでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
元に戻す	直前の動作を元に戻します。
新しいゲーム	新しいゲームを開始します。
オプション	カードのめくりかたや得点の付けかた、カードの模様などを設定します。

英語で反義GO!

英語の反義語をどれくらい知っているかを試すゲームです。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 英語で反義GO!

2. レベル、課、音声を設定 ＞ スタート

■これまでの成績を見る場合

＞ 成績表

3. 回答を入力 ＞ OK

20問終了すると、成績表が表示されます。

■問題を飛ばす場合

＞ パス

■辞書を検索したり正解を見た場合

正しい回答を入力しても不正解となります。

セキュリティ

ロック機能

デバイスのロック

本機を操作しない状態が一定時間続いたときに、操作ができないようにロックできます。

1. スタート > 設定 > ロック
2. 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付ける > 時間を選択
3. パスワードの種類を選択
4. パスワード、確認パスワードを入力
5. ヒントタブ > パスワードを忘れた場合のヒントを入力
6. ok > はい

   デバイスのロックが設定されます。

ロックを解除するには

設定した時間が経過すると、本機がロックされます。ロックを解除するには、パスワード入力画面で正しいパスワードを入力してください。

1. パスワードを入力 > ロックの解除

注意

- ロックでは、お客様ご自身がロック解除用のパスワードを設定するため、パスワードはお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.17-24）までご連絡ください。

キーロック

省電力状態（ディスプレイの表示が消えた状態）のときに電源ボタン以外のボタン操作で省電力状態を解除するかどうかを設定します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > キーロック
2. 対象の動作を選択

   電源以外のボタンをロック：電源ボタンを押したときのみ省電力状態を解除します。
   ボタンをロックしない：どのボタンを押しても省電力状態を解除できます。
3. ok

PINコード設定

PINコードの有効／無効の設定や、PINコードの変更を行います。
● PINコードの詳細については、P.1-5を参照してください。

PINコードを有効にする

USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力するように設定します。

1. スタート > 設定 > 電話 > 暗証番号（PIN）／PIN2タブ
2. 「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求。」にチェックを付ける
3. PINコードを入力 > ok

   PINコードが有効になります。

補足

- PINコードを無効にする場合は、スタート > 設定 > 電話 > 暗証番号（PIN）／PIN2タブ >「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求。」のチェックを外し、PINコードを入力してください。

PINコードを変更する

PINコードまたはPIN2コードを変更します。
● PINコードは「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求。」にチェックが付いている場合のみ変更できます。

1. スタート > 設定 > 電話 > 暗証番号（PIN）／PIN2タブ > 暗証番号（PIN）の変更 または 暗証番号（PIN）2を変更する
2. 古い暗証番号を入力 > 新しい暗証番号を入力 > 新しい暗証番号をもう一度入力
3. ok > ok

   PINコードまたはPIN2コードが変更されます。

証明書

本機に保存されている個人証明書、中間証明書、ルート証明書の内容を確認することができます。

1. スタート > 設定 > システムタブ > 証明書
2. 個人／中間／ルートタブ > 対象の証明書を選択
3. ok > ok

お買い上げ時の設定に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の既定値をすべてリセットします。また、内部ストレージをフォーマットすることもできます。

1. スタート > 設定 > システムタブ > ストレージをクリア
2. リセットの種類を選択 > 「よろしければチェックボックスをチェックし、「はい」をタップしてください。」にチェックを付ける > はい

注意

- ストレージのクリアおよび内部ストレージのフォーマットを行うと、本機はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、本機にインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタマイズした設定などはすべて失われます。必要に応じてメモを取ったり、データをバックアップすることをおすすめします。

補足

- 削除されるメインメモリのデータは以下のとおりです。
  - ・Outlook、SoftBank メールに保存されているメッセージ
  - ・連絡先、仕事、予定表の内容
  - ・お客様が撮影し、メインメモリに保存されている静止画／動画
  - ・お客様がインストールしたプログラム
  - ・その他、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容
- USIMカードに登録されている連絡先やSMSは削除されません。

設定と管理

設定

電話

通信やセキュリティ、ネットワークに関する設定を行います。

電話

着信パターンや着信音、キーパッドをタップしたときの操作音を設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話
2. 着信パターンを選択
3. 着信音を選択
   ▶ をタップすると、選択中の着信音が再生されます。■ をタップすると停止します。
4. キーパッドの操作音を操作音（長）／操作音（短）／オフから選択
5. ok

ネットワーク

通信事業者の設定を行います（P.2-11）。

帯域

ネットワークの種類の設定を行います（P.2-11）。

暗証番号（PIN）／PIN2

PINコードの設定を行います（P.13-3）。

その他

ハンズフリー対応機器利用時の自動応答やSMSサービスセンターの設定、発着信規制用暗証番号の変更を行います。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ その他タブ
2. 「自動着信機能」にチェックを付ける ＞ 自動着信時間を設定
3. SMSメッセージの設定 ＞ SMSサービスセンターの接続先を変更
4. 発着信制限パスワードを変更の設定 ＞ 古い発着信規制用暗証番号を入力 ＞ 新しい発着信規制用暗証番号を入力 ＞ 新しい発着信規制用暗証番号をもう一度入力 ＞ OK
5. ok

注意

- 本機では「固定ダイヤル」の設定はできません。

詳細設定

通話時の動作の設定を行います。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 電話 ＞ 詳細設定タブ

2. 「SMSメッセージで着信拒否：」にチェックを付ける／外す

チェックを付けると着信を拒否し、メッセージ入力欄に入力している内容を本文とするSMSを、電話をかけてきた相手に送信します。
必要に応じてメッセージを変更してください。

3. 「通話終了後に新しい電話番号を連絡先に追加」にチェックを付ける／外す

チェックを付けると、連絡先に登録していない電話番号との通話終了後に、連絡先に登録するかどうかの確認メッセージが表示されるようになります。

4. 「接続が確立されたらデバイスをバイブレートする」にチェックを付ける／外す

チェックを付けると、通話が確立したときに本機が振動するようになります。

5. 「通話接続中にスタイラスを取り出したとき、メモアプリケーションを起動する」にチェックを付ける／外す

チェックを付けると、通話中に本機からスタイラスを取り出したとき、メモが起動するようになります。

6. ok

オーナー情報

本機の所有者の名前や電話番号、電子メールアドレスなどを登録することができます。

1. スタート > 設定 > オーナー情報

2. 各項目を入力 > ok

音と通知

音の通知や着信音などを種類ごとに設定します。

1. スタート > 設定 > 音と通知

2. 音を通知する動作にチェックを付ける > それぞれの項目を設定

■「プログラム」にチェックを付けた場合
「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けると、アラームや予定の設定時刻に通知音が鳴ります。

■「画面をタップしたとき」または「ボタンを押したとき」にチェックを付けた場合
> 音の大きさを選択

3. 通知タブ > イベントを選択 > 着信パターンおよび着信音を選択

イベントごとに同様の操作を繰り返します。

■着信音を確認する場合
> ▶ > 確認できたら ■

4. ok

Today

ホーム画面のテーマや背景画像、表示項目などを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ Today
2. 設定したいテーマを選択

   ■テーマをBluetoothで送信する場合

   ＞ ビーム

   送信先の検索がはじまります。

   以降は、送信先の設定などにより手順が異なるため、画面の指示に従って操作してください。

   ■テーマを削除する場合

   ＞ 削除 ＞ はい
3. 「この画像を背景に使用する」にチェックを付ける ＞ 参照 ＞ 画像を選択
4. アイテムタブ ＞ ホーム画面に表示する項目にチェックを付ける

   ■並び順を変更する場合

   ＞ 対象の項目を選択 ＞ 上へ移動／下へ移動

   ■詳細な設定をする場合

   ＞ 対象の項目を選択 ＞ オプション
5. 「[Today]画面の表示：」にチェックを付ける ＞ 時間を選択
6. ok

マイピクチャからホーム画面の背景を設定する

マイピクチャに保存されている画像をホームの背景イメージに設定できます。Todayで背景イメージに設定したい画像が表示されない場合などは、画像とビデオから設定してください（P.11-11）。

補足

- 設定したテーマや画像、表示項目は、アイテムタブで「TouchFLO 3D」のチェックを外すと表示されます。

時計とアラーム

現在時刻を設定する

画面に表示される日付や時刻を設定します（P.1-18）。

アラーム時刻を設定する

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 時計とアラーム ＞ アラームタブ
2. 対象の項目にチェックを付ける
3. アラームを設定する曜日をタップして選択

   アラームを設定した曜日は反転表示されます。
4. 🔔 ＞ アラームの動作を設定 ＞ ok
5. 時刻を選択 ＞ 時刻を設定
6. ok ＞ ok

その他の設定

時計やアラームに関する設定を行います。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 時計とアラーム ＞ その他タブ
2. 「すべてのプログラムのタイトルバーに時計を表示する」にチェックを付ける／外す

   チェックを付けると、すべてのプログラムのタイトルバーの右側に時計が表示されるようになります。
3. 「デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する」にチェックを付ける／外す

   チェックを付けると、マナーモードまたはサイレントに設定中でもアラーム音を通知します。
4. ok

接続

接続や通信に関する設定を行います。

Bluetooth

Bluetooth® に関する設定を行います（P.9-6）。

Comm Manager

各種通信機能のオン／オフを切り替えます（P.9-2）。

PCへのUSB接続

USBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続するときの接続タイプを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ PCへのUSB接続
2. 接続タイプを選択 ＞ ok

   ■パソコンと接続するたびに接続タイプを選択する場合

   ＞ 「接続時に接続タイプを確認する」にチェックを付ける

Wi-Fi

ワイヤレスネットワークの設定や接続などを行います（P.9-3）。

ドメインへの登録

本機を会社のドメインに登録して、社内システム管理者が本機を管理できるように設定します。（P.9-5）

ネットワーク設定

各オプションサービスの設定を行います（P.2-13）。

ビーム

すべての着信ビームを受信するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ 接続タブ ＞ ビーム
2. 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付ける／外す ＞ ok

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN(無線LAN)の接続状態の確認とパワーモード、LEAP、Enrollの設定を行います(P.9-5)。

接続

新しいモデム接続の追加やプロキシサーバーの設定を行います(P.9-5)。

高度なネットワーク設定

CSD(Circuit Switch Data)接続を行うときに使用する回線の種類、SMSを使用するためのサービスを設定します。

- CSDとは、GSMの回線交換データ通信方式です。日本国内では使用できません。
  接続を確立できない場合を除き、通常は設定を変更する必要はありません。

1. スタート > 設定 > 接続タブ > 高度なネットワーク設定
2. CSDラインのデータレートおよび接続要素を設定
3. SMSサービスタブ > サービスを選択
4. ok

プログラムの削除

お客様が後からインストールしたプログラムを削除します。本機にあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

1. スタート > 設定 > システムタブ > プログラムの削除
2. 削除するプログラムを選択
3. 削除 > はい > ok

電源

電池残量を確認する

1. スタート > 設定 > システムタブ > 電源
   電池パックの電池残量が表示されます。
   ■パソコンとのUSBケーブル接続時に充電しない場合
   >「デバイスの電源が入っており、PCに接続されている時にはバッテリを充電しない」にチェックを付ける
2. ok

バックライトの設定を行う

電池パック使用時および充電時のバックライトの明るさについて設定します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > 電源 > バックライトタブ
2. 電池パック使用時および充電時のバックライトの明るさを調整 > ok

■バックライトの自動調整を行う場合

>「バックライトの自動調整」にチェックを付ける

■デバイスのロック時にバックライトを暗くする場合

>「デバイスがロックされている間は、バックライトは常に暗くなります」にチェックを付ける

ディスプレイの表示時間を設定する

電池パック使用時および充電時に何も操作しない時間が続いた場合、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

1. スタート > 設定 > システムタブ > 電源 > 詳細設定タブ
2. 対象の項目にチェックを付ける > ディスプレイの表示が消える時間を選択 > ok

補足

- Bluetooth® を使用しないときは、Bluetooth® 通信機能をオフにするとバッテリーの節約になります（P.9-2）。

地域

地域や通貨、日付の形式などを設定します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > 地域
2. 地域を選択
3. 数値タブ > 数値の表示内容を設定
4. 通貨タブ > 通貨の表示内容を設定
5. 時刻タブ > 時刻の表示形式を設定
6. 日付タブ > 日付の表示形式を設定
7. ok

補足

- 地域を変更した場合、再起動が必要であることを示すメッセージが表示されますので、本機の電源を一度切ってから、電源を入れ直してください。

バージョン情報

本機のオペレーティングシステムのバージョンやデバイスIDなどの情報を確認します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > バージョン情報
2. ok

エラー報告

本機で重大なエラーが発生した場合のエラー発生時の情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ エラー報告
2. エラー報告を有効にするまたはエラー報告を無効にする ＞ ok

カスタマフィードバック

本機のシステムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ カスタマフィードバック
2. フィードバックを送信するまたはフィードバックを送信しない ＞ ok

デバイス情報

本機のバージョンやハードウェアなどの情報を確認します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ デバイス情報
2. ok

画面

タッチパネルの補正やClearType、文字サイズの設定を行います。

タッチパネルの調整

タッチパネルをタップしたときに正しく反応しない場合に、タッチパネルを調整します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 画面
2. 画面の補正 ＞ 画面のターゲット（＋）をタップ

   ターゲットが正確にタップされていることが確認されるまで、同様の操作を繰り返します。
3. ok

文字サイズ

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 画面 ＞ 文字サイズタブ
2. 文字サイズを調整 ＞ ok

ボイス短縮ダイヤル

連絡先や各プログラムにボイスタグを割り当てます。ボイスタグを割り当てると、そのボイスタグを発声するだけで電話をかけたりプログラムを起動したりできます

ボイスタグを割り当てる

1. スタート ＞ 設定 ＞ ボイス短縮ダイヤル
2. 対象の連絡先を選択 ＞ [アイコン]

   連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、ボイスタグを割り当てる電話番号を選択してください。

   ■USIM カードの連絡先またはプログラムにボイスタグを割り当てる場合

   ＞ SIMタブまたはアプリケーションタブをタップ ＞ 対象の項目を選択
3. [●] ＞ 音声を録音 ＞ ok

   ボイスタグを割り当てた電話番号には [アイコン] が表示されます。

   ■ボイスタグの録音を中止する場合

   ＞ [■]

   ■録音したボイスタグを再生する場合

   ＞ [▶]

   ■録音したボイスタグを削除する場合

   ＞ [×] ＞ はい

ボイスタグを管理する

ボイスタグを割り当てた連絡先およびプログラムを一覧表示して、ボイスタグを管理することができます。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ボイス短縮ダイヤル ＞ ボイスタグタブ

■各アイコンの操作

ボイスタグタブの各アイコンを操作して、ボイスタグを管理できます。各アイコンに割り当てられた機能は以下のとおりです。

アイコン	説明
[●]	ボイスタグを録音し直します。
[▶]	ボイスタグを再生します。
[×]	ボイスタグを削除します。
[保存アイコン]	ファイルエクスプローラに保存されているボイスタグを読み込みます。
[保存アイコン]	ボイスタグをファイルエクスプローラにコピーします。

ボイスタグを利用する

ボイスタグを割り当てた連絡先に電話をかけたり、プログラムを起動したりします。

1. スタート ＞ プログラム ＞ ボイス短縮ダイヤル
2. 割り当てた音声を発声する

ボタン

通話ボタン（ ）を1秒以上押したときの動作または起動するプログラムや、音量大ボタン／音量小ボタンを押したときの動作を設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ ボタン
2. 割り当てる動作またはプログラムを選択
3. 上／下コントロールタブ
4. 音量大ボタン／音量小ボタンを押したときの反応速度およびメモリの移動速度を調整 ＞ ok

メニュー

スタートメニューに表示するアイテムを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ メニュー
2. 対象のプログラムにチェックを付ける ＞ ok

補足

- チェックを付けたアイテムはスタートメニューに表示され、それ以外はプログラムに表示されます。

入力

各入力方法の詳細や録音形式などを設定します。

各入力方法の詳細設定

1. スタート ＞ 設定 ＞ 入力
2. 対象の入力方法を選択 ＞ オプション
3. それぞれの項目を設定

■10キー入力／ひらがな／カタカナ／ローマ字／かなを選択した場合

辞書の登録および予測変換機能のオン／オフを設定します。辞書の登録についてはP.3-9、予測変換機能の設定についてはP.3-8を参照してください。

■手書き検索を選択した場合

左手で文字を書く場合は、「左手」にチェックを付けます。

■手書き入力を選択した場合

左手で文字を書く場合は、「左手」にチェックを付けます。
「3つの入力ボックス」にチェックを付けると、手書き入力画面に入力ボックスが3つ表示されます。チェックを外すと入力ボックスは2つ表示されます。
「タイムアウトを使用」にチェックを付けると、手書きした文字を本機が認識するまでの時間を設定できます。

4. ok ＞ ok

オプション

1. スタート ＞ 設定 ＞ 入力 ＞ オプションタブ

2. ボイスメモの録音形式を設定

3. 手書き入力画面／文字入力画面を表示したときのズーム値を設定

4. ok

終了ボタンの長押し

終了ボタン（▭）を１秒以上押したときの動作を設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 終了ボタンの長押し

2. 対象の動作を選択

   常にクイックリストを表示する：クイックメニューを表示します。
   選択した動作を自動的に実行する：フライトモードをオンにする／デバイスロック／データ接続を中断する／マナーモード／着信音に設定から選択します。

3. OK

TouchFLO

タッチパネルに触れて画面をスクロールさせたり、パンしたりしたときに、通知音を鳴らすように設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ TouchFLO

2. 「フィンガースクロールとパンを実行時にサウンドを有効にする」にチェックを付ける／外す

   チェックを付けると、指でスクロールまたはパンを実行したときに操作音が鳴ります。

3. 「大きいスタートメニューを有効にする」にチェックを付ける／外す

   チェックを付けると、スタートメニューが大きく表示され、最近使用したプログラムのアイコンがスタートメニューの上部に表示されます。

4. 「ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する」にチェックを付ける／外す

   チェックを付けると、画面上部のステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面が表示されます。
   システムの状態画面で各アイコンをタップすると、それぞれの設定画面が表示され、設定を変更したり、確認することができます。

5. ok

外付けGPS

GPSデータを取得するためのポートやGPSレシーバが自動設定されない場合に使用するハードウェアポート、GPSの自動管理について設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 外付けGPS
2. GPSデータを取得するポートを選択
3. ハードウェアタブ ＞ GPSデバイスを接続するポートおよびボーレートを設定
4. アクセスタブ ＞「GPSを自動的に管理する（推奨）」にチェックを付ける／外す
5. ok

管理プログラム

社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ 管理プログラム
2. 対象の項目を選択 ＞ 詳細
3. 確認が終了したら完了

タスクマネージャ

不要なプログラムを終了させる

起動中のプログラムを一覧表示して、不要なプログラムを終了します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ タスクマネージャ

   起動中のプログラムが一覧表示されます。
2. 対象のプログラムにチェックを付ける
3. 選択したアイテムを終了 ＞ ok

■起動中のプログラムを表示させる場合

＞ 対象のプログラムを1秒以上タップする ＞ アクティブ化

■起動中のプログラムをすべて終了する場合

＞ すべて終了 ＞ ok

■選択したプログラム以外を終了する場合

＞ メニュー ＞ 選択したアイテム以外すべて終了 ＞ ok

補足

- クイックメニューの（ ）をタップしてもタスクマネージャを起動できます。

例外プログラムリストを利用する

起動中のプログラムを例外プログラムリストに追加すると、プログラムを終了できなくなります。また、クイックメニューにも表示されなくなります。

例外プログラムリストに追加する

1. スタート > 設定 > システムタブ > タスクマネージャ

   起動中のプログラムが一覧表示されます。

2. 対象のプログラムを1秒以上タップする > 例外に追加

   例外プログラムリストに追加されます。

3. ok

例外プログラムリストのプログラムを削除する

1. スタート > 設定 > システムタブ > タスクマネージャ > 例外タブ
2. 対象のプログラムにチェックを付ける > 削除

   例外プログラムリストから削除したプログラムは、タスクマネージャで終了できるようになります。また、クイックメニューにも表示されるようになります。

3. ok

クイックメニューについての設定

クイックメニューのボタン設定

クイックメニューからプログラムを終了するときの動作やHTCホーム画面にクイックメニューを表示するかどうかを設定します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > タスクマネージャ > ボタンタブ
2. それぞれの項目を設定 > ok

クイックメニューの表示設定

クイックメニューのプログラムの表示順やアイコンサイズを設定します。

1. スタート > 設定 > システムタブ > タスクマネージャ > その他タブ
2. それぞれの項目を設定 > ok

メモリ

メモリ残量を確認する

メインメモリおよび内部ストレージのメモリ情報を確認できます。

1. スタート > 設定 > システムタブ > メモリ

   メインタブでメインメモリ、メモリカードタブで内部ストレージのメモリ情報を確認できます。

メモリに関するご注意

本機のメモリには、各種ファイル、画像、メールを保存するための「データ記憶用」とプログラムを実行するための「プログラム実行用」があります。なお、データ記憶用のメモリが減少すると以下の動作となりますので、「メモリの空き容量を確保する」（P.14-14）を参照いただき、データ記憶用メモリの空き容量を確保してください。

・データ記憶用メモリが 0.5M バイト以下になると、警告のポップアップ画面が表示され、各種ファイルおよび画像の保存ができなくなります（SMS、S!メール、インターネットメールの保存は可能です）。
・データ記憶用メモリがいっぱいになると、SMS、S!メール、インターネットメールはプログラム実行用メモリに保存されます。ただし、受信メールとしては表示されず、この状態で電源を切ると、これらのデータは完全に消去されますのでご注意ください（データ記憶用メモリの空き容量が確保されると、自動的にデータ記憶用メモリへ移行され、受信メールとして表示されます）。
・データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリがいっぱいになると、SMS、S!メール、インターネットメールが受信できなくなります（メールサーバーで保管されます）。

メモリの空き容量を確保する

データ記憶用メモリを確保する

データ記憶用メモリの確保には以下のような方法があります。

・ファイルのバックアップ（P.10-8）
・不要なファイルの削除
・Internet Explorer® Mobileでインターネット一時ファイルを削除（P.6-4）
・本機のデータを初期化する（P.13-4）

プログラム実行用メモリを確保する

プログラム実行用メモリの確保には以下のような方法があります。

・不要なプログラムを終了する（P.14-12）
・不要なプログラムを削除する（P.14-6）

注意

• 本機の画面に表示される「メモリカード」とは、本機の内部ストレージを指しています。

HTCホーム

HTCホームの構成について

電源を入れたり、ホームボタン（ 🏠 ）を押したりすると、HTCホームが表示されます。タブを切り替えることで、日時や天気などの情報を表示したり、さまざまなプログラムを直接起動したりすることができます。

ホーム、お気に入り、SoftBankメール、Outlook、インターネット、フォト＆ビデオ、ミュージック、天気、設定、プログラムの10種類のタブがあります。

タブを切り替える

タブの切り替えには、3種類の方法があります。

使用するタブを直接選択する

タブを直接タップするか、ナビゲーションコントロールの左右を押します。

タップするか、ナビゲーションコントロールで切り替えます。

タブをドラッグする

現在表示されているタブをタップしたまま左右にドラッグし、使用したいタブのところで離します。

タッチパネルを左右になぞる

タッチパネルを軽く左右になぞると、前後のタブに切り替わります。

ホーム画面

ホーム画面では日時やアラーム設定、通話履歴、予定表を確認できます。

■フリップクロック表示

フリップクロック表示

①日時とアラーム
　日時とアラーム設定を表示します。タップすると、時計とアラームを設定できます（P.1-18、P.14-4）。

②通話履歴
　タップすると通話履歴が表示されます（P.2-5）。

③予定表
　今日の予定が１件表示されます。タップすると、予定を編集できます（P.4-7）。

■デジタルクロック表示

デジタルクロック表示

①日時
　日時を表示します。タップすると、時計とアラームを設定できます（P.1-18、P.14-4）。

②通話履歴
　タップすると通話履歴が表示されます（P.2-5）。

③予定表
　今日の予定および終日の予定がそれぞれ１件表示されます。タップすると、予定を編集できます（P.4-7）。

クイックダイヤル画面

クイックダイヤル画面（お気に入りタブ）では15件までの連絡先をお気に入りとして登録することができます。クイックダイヤル画面から電話やメール、SMSを発信することができます。

①連絡先

選択している連絡先の画像と直近の発信動作が表示されます。

・画像をタップすると、連絡先詳細画面が表示されます。
・各アイコンをタップすることで、以下の操作を行うことができます。

：電話発信

：SMS送信

：インターネットメール送信

・画像を上下にスライドすると、前後の連絡先に切り替わります。

②お気に入り一覧

お気に入りに登録されている連絡先が一覧で表示されます。

・対象の連絡先を選択すると、その連絡先に切り替わります。
・ドラッグして表示を切り替えることができます。

補足

- 全ての連絡先をタップすると、連絡先一覧画面が表示されます。

お気に入り一覧に連絡先を追加する

1. **連絡先の＋（プラス）アイコンまたはお気に入りを登録をタップ**

連絡先に＋（プラス）アイコンが表示されていない場合は、お気に入り一覧の＋（プラス）アイコンをタップしてください。

2. **対象の連絡先を選択**

連絡先に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されている場合は、追加する電話番号またはメールアドレスを選択します。

クイックダイヤル画面に登録されます。新しく登録した連絡先は自動的に50音順で並べ替えられます。

■連絡先に画像が登録されていない場合

＞ 画像を選択または撮影

カメラをタップすると、画像を撮影できます（P.11-6）。

補足

- メニュー ＞ お気に入りを登録をタップしても、連絡先を登録できます。

お気に入りから連絡先を解除する

1. **対象の連絡先を表示**

2. **メニュー ＞ お気に入りを解除 ＞ はい**

お気に入りの画像を変更する

1. 対象の連絡先を表示
2. メニュー ＞ 画像の変更 ＞ 画像を選択または撮影
   カメラをタップすると、画像を撮影できます（P.11-6）。

補足
- 画像を変更すると、元の連絡先の画像も変更されます。

メール画面

S! メール／SMS画面

S! メール／SMS画面（SoftBankメールタブ）では受信したSMS／S! メールの送信元や件名を確認することができます。また、SMSやS! メールを作成することもできます。

①SMS／S! メール
受信したSMS／S! メールの概要が表示されます。
- SMSの場合は送信元と本文、S! メールの場合は送信元と件名、クリップアイコンが表示されます。
- 上下にスライドすると、前後のSMS／S! メールに切り替わります。
- タップすると、そのSMS／S! メールの詳細画面に切り替わります。

②SMS作成
タップするとSMSを作成できます。

③S! メール作成
タップするとS! メールを作成できます。

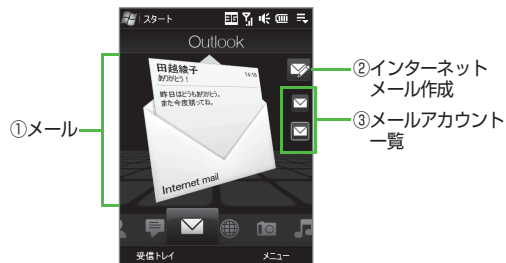
④メール切替

∧ をタップすると前のSMS／S! メールに切り替わります。∨ をタップすると次のSMS／S! メールに切り替わります。

補足

- 受信ボックスをタップすると、受信ボックス画面が表示されます。
- S!Mailをタップすると、フォルダ一覧画面が表示されます。

インターネットメール画面

インターネットメール画面（Outlookタブ）では受信したインターネットメールの内容を確認することができます。また、新しいメールアカウントを設定したり、インターネットメールを作成することもできます。

①メール

選択しているメールアカウントで受信したインターネットメールの概要が表示されます。

- 封筒をタップすると、インターネットメール詳細画面が表示されます。
- 封筒を上下にスライドすると、前後のインターネットメールに切り替わります。

②インターネットメール作成

タップすると選択しているメールアカウントを差出人として、インターネットメールを作成できます。

③メールアカウント一覧

設定しているすべてのメールアカウントが表示されます。

- タップするとメールアカウントが切り替わります。
- 新着のインターネットメールがある場合は、その件数が表示されます。

補足

- 受信トレイをタップすると、選択しているメールアカウントのインターネットメール一覧画面が表示されます。

インターネットメール画面のメニュー

インターネットメール画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
新規メール	選択しているメールアカウントを差出人としたインターネットメールを作成します。	
アカウント	新しいアカウント	新しくメールアカウントを設定します。
	アカウント	メールアカウントを切り替えます。
送受信	選択しているメールアカウントでインターネットメールの送受信を行います。	

Operaブラウザ画面

Operaブラウザ画面（インターネットタブ）では、Operaブラウザを利用してインターネットに接続することができます。

①Operaブラウザ起動

タップするとOperaブラウザが起動します。

②ブックマーク

Operaブラウザのブックマークが表示されます。

・ブックマークのタイトルを選択すると、Operaブラウザが起動し、登録されているページが表示されます。

・上下にスライドすると、ブックマークをスクロールできます。

 補足

- 全てのブックマークをタップすると、Operaブラウザに登録されているブックマークが表示されます。
- ブラウザをタップすると、Operaブラウザが起動します。
- Operaブラウザの詳細については、P.6-5を参照してください。

カメラアルバム画面

カメラアルバム画面（フォト&ビデオタブ）では、お気に入りに設定されているフォルダ内の静止画／動画を表示したり、静止画をスライドショーで再生したりできます。また、カメラを起動することもできます。

①静止画／動画

お気に入りに設定されているフォルダの静止画および動画が表示されます。

・静止画（白枠表示）を選択すると、全画面で表示されます。動画（フィルム枠）を選択すると、全画面で再生されます。

・静止画／動画を上下にスライドすると、前後の静止画／動画に切り替わります。

②静止画撮影

フォトモードでカメラが起動します（P.11-6）。

③動画撮影

ビデオモードでカメラが起動します（P.11-7）。

④ファイル切替

∧ をタップすると前の静止画／動画に切り替わります。∨ をタップすると次の静止画／動画に切り替わります。

再生できるファイル形式

カメラアルバム画面で再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、ファイルによっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

■静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
BMP	bmp
GIF	gif
JPG	jpg、jpeg
PNG	png
アニメーションGIF	gif

■動画ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
3GP	3gp

アルバムで表示する

お気に入りに設定しているフォルダの静止画／動画をアルバムで表示します。

1. **カメラアルバム画面でアルバム**

   お気に入りに設定されているフォルダの静止画／動画がサムネイル表示されます。動画には 🎞 が表示されます。

2. **対象の静止画／動画を選択**

   静止画／動画が全画面で表示／再生されます。

補足

- スタート ＞ プログラム ＞ アルバムをタップしても、アルバムを表示できます。

お気に入りを設定する

1. **カメラアルバム画面でアルバム**
2. **アルバム ＞ 対象のフォルダを選択**
3. **メニュー ＞ アルバムをお気に入りに設定**

   選択したフォルダがお気に入りに設定され、保存されている静止画／動画がサムネイル表示されます。

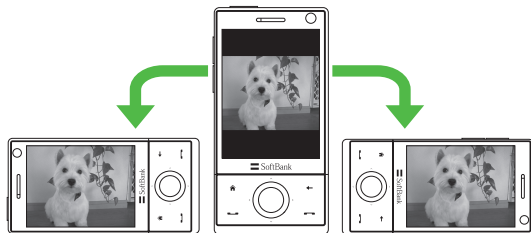
静止画表示中の操作

■メニューを利用する

静止画表示中に画面をタップすると、以下のメニューを利用できます。

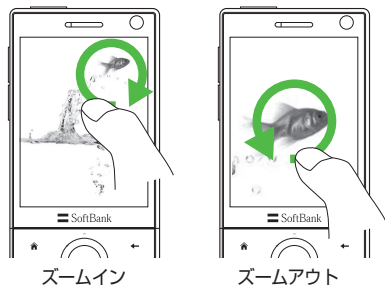
アイコン	項目	説明
	戻る	静止画を表示する前の画面に戻ります。
	スライドショー	静止画がスライドショーで再生されます。
	メール送信	静止画をメールに添付して送信します。
	詳細メニュー	静止画の連絡先への保存、別名保存、削除、情報表示を行います。

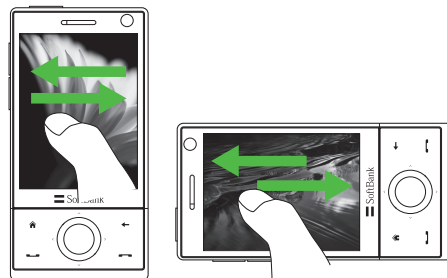
■静止画を回転する

静止画の再生中に本機を倒すと、本機の向きに合わせて静止画が自動的に回転します。

■静止画を拡大表示する

拡大表示したい部分を時計周りでなぞると、なぞった部分が拡大表示されます。反時計周りでなぞると、縮小表示されます。

ズームイン

ズームアウト

■前後の静止画に切り替える

静止画の表示中に上下または左右にスライドさせると、前後の静止画に切り替わります。

動画再生中の操作

動画再生中に画面をタップすると、再生時間やコントロールアイコンが表示され、動画の操作を行うことができます。

動画の再生が終了すると、以下のメニューを利用できます。

アイコン	項目	説明
	再生	動画をもう一度再生します。
	戻る	動画を再生する前の画面に戻ります。
	メール送信	動画をメールに添付して送信します。
	詳細メニュー	動画の削除、情報表示を行います。

アルバムのメニュー

アルバム画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
スライドショー	お気に入りに設定したフォルダ内の静止画をスライドショーで再生します。
アルバムをお気に入りに設定	現在選択中のフォルダをアルバムのお気に入りに設定します。
アイテムを削除	静止画／動画を削除します。
S!メール送信	静止画／動画をS!メールに添付して送信します。
電子メールで送信	静止画／動画をインターネットメールに添付して送信します。
連絡先に保存	連絡先の画像に静止画を設定します。
プロパティ	静止画／動画の情報を表示します。
オプション	スライドショーの繰り返しや切り替え方法、表示時間などを設定します。
ヘルプ	アルバムのヘルプを表示します。

スライドショーを再生する

お気に入りに設定しているフォルダの静止画をスライドショーで再生します。

1. カメラアルバム画面で静止画を表示

2. スライドショー

スライドショーが開始されます。

スライドショー再生中の操作

スライドショー再生中に画面をタップすると、コントロールアイコンが表示され、スライドショーの操作を行うことができます。

アイコン	項目	説明
	戻る	スライドショーを開始する前の画面に戻ります。
／	一時停止／再開	スライドショーを一時停止／再開します。
	前の静止画	前の静止画に戻ります。
	次の静止画	次の静止画に進みます。
	スライドショーの設定	スライドショーの繰り返しや切り替え方法、表示時間、表示する方向を設定します。

オーディオプレーヤー画面

オーディオプレーヤー画面（ミュージックタブ）では、マイデバイスの「MUSIC」、「My Documents」フォルダおよび内部ストレージに保存されている楽曲ファイルを再生できます。

①画像表示

アルバムまたは楽曲に添付されている画像が表示されます。

- 画像をタップすると、アルバム／楽曲が再生されます。
- 画像を上下にスライドすると、前後のアルバム／楽曲に切り替わります。

②前のアルバム／楽曲

タップすると、前のアルバム／楽曲に切り替わります。

③再生／一時停止

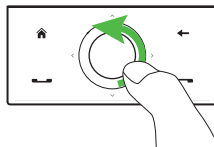
をタップすると表示中のアルバム／楽曲を再生します。を タップすると一時停止します。

④次のアルバム／楽曲

タップすると、次のアルバム／楽曲に切り替わります。

⑤再生状況

再生経過時間、総再生時間、再生位置が表示されます。再生位置をドラッグして再生する位置を変更することができます。
また、ナビゲーションコントロールを時計周りでなぞって再生位置を進め、反時計周りでなぞって再生位置を戻すこともできます。

再生位置が進みます

再生位置が戻ります

再生できるファイル形式

オーディオプレーヤー画面で再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、ファイルによっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式	拡張子
MP3	mp3
WMA	wma
AAC+、AAC※	aac
MPEG-4	m4a

※ AACデータについては、以下の点にご注意ください。

- 音楽をAACデータに変換できるソフトウェアが必要です。
- 当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

楽曲を再生する

1. **オーディオプレーヤー画面で対象のアルバム／楽曲を表示**

2. ▶

楽曲が再生されます。

■一時停止する場合

> ⏸

オーディオプレーヤー画面のメニュー

オーディオプレーヤー画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
リピート再生	再生の繰り返しを**リピート再生（1曲）**／**リピート再生（全曲）**／**リピート再生（オフ）**から設定します。
ランダム再生	ランダム再生を**ランダム再生（オン）**／**ランダム再生（オフ）**から設定します。
楽曲情報	楽曲の情報を表示します。
プレイリストに追加	選択しているアルバム／楽曲をプレイリストに追加します。新しいプレイリストを作成することもできます。
オーディオブースター	オーディオブースターが起動します（P.12-11）。

ライブラリから楽曲を再生する

ライブラリには再生中のプレイリスト／アーティスト／アルバム／プレイリスト／すべての曲／ジャンル／作曲家／購入済みのカテゴリタブがあり、それぞれのカテゴリから楽曲を再生することができます。

1. オーディオプレーヤー画面でライブラリ
2. 対象のライブラリを選択 ＞ 対象の楽曲を選択

   カテゴリによっては、楽曲を選択するまでに対象の選択が何回か必要な場合があります。

補足

- 戻るをタップすると、１つ上の階層に戻ることができます。

プレイリストを使って再生する

プレイリストに楽曲を登録すると、お好みの楽曲をお好みの順番で再生することができます。

新しいプレイリストを作成する

1. オーディオプレーヤー画面またはライブラリで対象の音楽を表示 ＞ メニュー ＞ プレイリストに追加
2. <新規プレイリスト> ＞ プレイリスト名を入力 ＞ OK ＞ ok

プレイリストに楽曲を追加する

1. ライブラリでプレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 ＞ メニュー ＞ 編集
3. メニュー ＞ 追加
4. 追加する楽曲にチェックを付ける ＞ OK ＞ OK ＞ ok

補足

- オーディオプレーヤー画面またはライブラリでメニュー ＞ プレイリストに追加をタップして既存のプレイリストを選択しても楽曲を追加できます。

プレイリストを再生する

1. ライブラリでプレイリストタブ
2. 対象のプレイリストを選択 ＞ 再生を開始する楽曲を選択

   プレイリストの再生が始まります。

プレイリストを編集する

1. ライブラリでプレイリストタブ ＞ 対象のプレイリストを選択 ＞ メニュー ＞ 編集
2. 編集する楽曲を選択
   タップした楽曲に枠が付き、選ばれた状態になります。
   複数の楽曲を選ぶことができます。
3. メニューより項目を選択して編集
   再生の順番を変更する場合は、切り取り後、貼付位置を指定して貼り付けを行います。
4. OK ＞ ok

Windows Media® Player Mobileの再生リストについて

Windows Media® Player Mobileの再生リスト（P.12-5）は、自動的にオーディオプレーヤー画面のプレイリストに表示され、オーディオプレーヤー画面のプレイリストとして利用することができます。

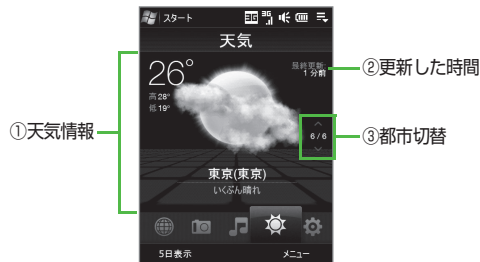
● Windows Media® Player Mobileの再生リストには、「 」のアイコンが表示されます。

補足

- Windows Media® Player Mobileの再生リストをオーディオプレーヤー画面で編集することはできません。

天気画面

天気画面では、登録した都市の天気情報を表示することができます。

● 都市は最大10件まで登録できます。

①天気情報

気温や天気、都市名が表示されます。

・上下にスライドすると、前後の都市に切り替わります。

②更新した時間

最後に天気情報を更新した時間が表示されます。

③都市切替

︿ をタップすると前の都市に切り替わります。﹀ をタップすると次の都市に切り替わります。

補足

- 5日表示をタップすると、今日から5日間の天気予報が表示されます。
- 今日から5日間の天気予報の表示中にその他をタップすると、Operaブラウザが起動し、Accuweather.comに接続されます。

天気情報を表示する都市を登録する

● 選択できる都市については、P.17-13を参照してください。

1. **天気画面でメニュー > 都市を追加**

2. **対象の国を選択 > 対象の都市を選択**

天気画面に戻り、選択した都市の天気情報が表示されます。

天気画面のメニュー

天気画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>都市を追加</td><td colspan="2">天気情報を表示する都市を登録します。</td></tr>
<tr><td>都市を削除</td><td colspan="2">都市を削除します。</td></tr>
<tr><td>今すぐアップデート</td><td colspan="2">天気情報を最新の情報に更新します。</td></tr>
<tr><td>華氏(F)／摂氏(℃)</td><td colspan="2">温度の単位を切り替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定</td><td>天気を自動ダウンロード</td><td>天気画面を表示するたびに、天気情報を自動的に更新します。</td></tr>
<tr><td>ローミング中に天気をダウンロード</td><td>ローミング時に天気情報を更新します。</td></tr>
<tr><td>天気について</td><td colspan="2">Operaブラウザが起動し、Accuweather.comに接続されます。</td></tr>
</table>

補足

- 天気情報は Accuweather.com より提供される情報です。気象庁発表の天気予報とは異なります。
- お買い上げ時は、「天気を自動ダウンロード」はチェックが外れているため、天気情報は自動的に取得されません。天気情報を自動的に取得するには、「天気を自動ダウンロード」にチェックを付けてください。
- 「ローミング中に天気をダウンロード」にチェックを付けて天気情報を更新した場合は、別途通信料がかかることがあります。

設定画面

設定画面では、データの同期やサウンド、壁紙の設定など、本機の基本的な設定をすばやく行うことができます。

設定できる機能

設定画面では、以下の機能を起動／設定できます。

項目	説明
データを同期	ActiveSyncまたはWindows Mobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期します（P.7-1）
サウンド	着信音・アラーム音の通知方法や音量の設定をプロファイル単位で切り替えます。**詳細設定**をタップすると、各プロファイルの設定を変更することができます。
壁紙	ホーム画面の背景画像を設定します。
Comm Manager	Comm Managerが起動します（P.9-2）。
天気	天気情報の自動ダウンロードについて設定します（P.15-15）。
バージョン情報	TouchFLO 3Dのバージョン情報を確認します。

補足

- **メニュー** ＞ **ワイヤレスネットワーク**をタップすると、ワイヤレスLANの接続状態を確認できます（P.9-5）。
- **メニュー** ＞ **Bluetoothデバイス**をタップすると、Bluetooth機器とのペアリングを設定できます（P.9-6）。
- **全ての設定**をタップすると、設定メニューが表示されます。

ランチャー画面

ランチャー画面（プログラムタブ）では、お好みのプログラムやよく利用するプログラムを登録することで、プログラムをすばやく起動させることができます。

● プログラムは最大18件まで登録できます。

①プログラム一覧

プログラムが登録されているスロットは、プログラムを示すアイコンが表示されます。プログラムが登録されていないスロットは、＋（プラス）アイコンが表示されます。

・プログラムが登録されているスロットを選択すると、プログラムが起動します。プログラムが登録されていないスロットを選択すると、プログラムを登録できます。

・上下にスライドすると、プログラム一覧をスクロールできます。

・ は各種コンテンツのダウンロードサイト接続ページにリンクしています。本アイコンはランチャー画面から削除することはできません。

補足

• 全てのプログラムをタップすると、プログラム一覧画面が表示されます。対象のプログラムをタップすると、プログラムが起動します。

プログラムを登録する

1. ランチャー画面で対象の ＋ をタップ
2. 登録するプログラムを選択

   選択したスロットにプログラムが登録されます。

プログラムを削除する

1. ランチャー画面で削除
2. 削除するプログラムを選択

   プログラムが消去されます。

   削除するプログラムの数だけ、同様の操作を繰り返します。
3. 実行

ランチャー画面に登録できるプログラム

アイコン	プログラム	アイコン	プログラム
	ActiveSync		RSS Hub
	Adobe Reader LE		SIMマネージャ
	Bubble Breaker		SoftBankメール
	Comm Manager		Teeter
	Excel Mobile		Windows Live
	FM Radio		Windows Media
	Internet Explorer		Word Mobile
	MP3 Trimmer		YouTube
	Messenger		Zip
	NAVITIME		お使いになる前に
	OneNote Mobile		アルバム
	Opera Browser		オーディオブースター
	Outlook		オーナー情報
	PowerPoint Mobile		カメラ
	QuickMark		クイックGPS

アイコン	プログラム	アイコン	プログラム
	ソリティア		仕事
	ファイルエクスプローラ		検索
	ヘルプ		画像とビデオ
	ボイスレコーダー		英語で反義GO!
	ボイス短縮ダイヤル		辞書ウォーカー英語
	メモ		連絡先
	リモートデスクトップモバイル		電卓
	予定表		電話

その他の機能

MP3トリマ

MP3トリマではMP3ファイルを切り出して新しいファイルに保存したり、切り出したファイルを着信音に設定したりできます。

MP3ファイルを切り出す

1. スタート > プログラム > MP3 Trimmer
2. 開く > 対象のMP3ファイルを選択
   MP3 Trimmer画面に戻り、選択したMP3ファイルのタイトルと再生時間が表示されます。
3. 再生
4. 切り出しを開始する位置で開始ポイント
   開始位置マークが移動します。

5. 切り出しを終了する位置で終了ポイント
6. メニュー > 名前を付けて保存 > ファイル名を入力 > OK

補足

- 開始位置マークおよび終了位置マークをドラッグさせても、開始ポイントおよび終了ポイントを設定することができます。

楽曲の一部を着信音に設定する

1. スタート > プログラム > MP3 Trimmer
2. 開く > 対象のMP3ファイルを選択
3. メニュー > 既定の着信音として設定する

■My Documentの「着信音」フォルダに保存する場合

> メニュー > 着信音のフォルダに保存

補足

- MP3ファイルの切り出し後に、メニュー > 既定の着信音として設定するをタップしても着信音に設定できます。

MP3トリマのメニュー

MP3トリマ画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
開く	MP3ファイルを開きます。
既定の着信音として設定する	MP3ファイルを着信音として設定します。
着信音のフォルダに保存	MP3ファイルをMy Documentの「着信音」フォルダに保存します。
名前を付けて保存	別の名前を付けて保存します。
終了	MP3トリマを終了します。
バージョン情報	MP3トリマのバージョン情報を確認します。

クイックGPS

クイックGPSはインターネットから最新の衛星データをダウンロードして、位置情報をすばやく検出できるようにするための機能です。

衛星データをダウンロードする

1. スタート > プログラム > クイックGPS
2. ダウンロード
   衛星データがダウンロードされます。

クイックGPSのメニュー

クイックGPS画面では、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明	
オプション	データが期限切れになったら通知	チェックを付けると、衛星データの有効期間が切れたときに通知します。
	データが期限切れになったら自動ダウンロード	チェックを付けると、衛星データの有効期限が切れたときに自動的にダウンロードします。
	ActiveSyncでPCに接続したときに自動ダウンロード	チェックを付けると、ActiveSyncで本機とPCを接続したとき、衛星データを自動的にダウンロードします。
バージョン情報	クイックGPSのバージョン情報を確認します。	

NAVITIME

NAVITIMEは目的地への最適な経路を検索し、出発から到着までをナビゲーションしてくれるサービスです。

会員登録する

1. スタート ＞ プログラム ＞ NAVITIME

■はじめてNAVITIMEを起動した場合

通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。はい（次回以降も同様）をタップすると、次回から確認画面は表示されなくなります。

2. 登録／インフォメーション ＞ 会員登録／解除

会員登録／解除画面が表示されます。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

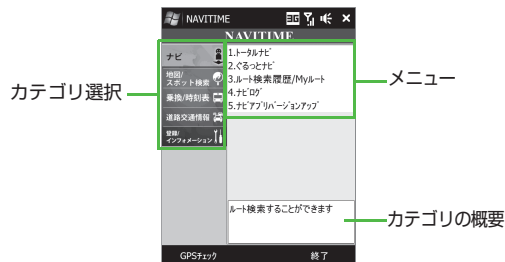
NAVITIMEを利用する

NAVITIMEは目的地までの経路検索や現在地、周辺などの地図検索、乗り換え案内など、さまざまな情報を検索することができます。

● NAVITIMEの詳細については、NAVITIMEのヘルプを参照してください。

1. スタート ＞ プログラム ＞ NAVITIME

2. 情報を検索する

カテゴリを選択し、目的のメニューを選択します。
カテゴリを選択すると、画面右下に概要が表示されます。

■GPSの状態を確認する場合

＞ GPSチェック

■操作中にNAVITIMEのトップメニュー画面に戻る場合

＞ トップメニューへ

補足

• 現在地などの情報を検索できない場合は、クイックGPSで最新の衛星データをダウンロードしてください（P.16-3）。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーで録音／再生する

音声を録音する

1. スタート ＞ プログラム ＞ ボイスレコーダー
2. ● または録音
   録音が開始され、録音時間が表示されます。

■一時停止する場合

＞ 一時停止 ＞ 再開できるようになったら再開

3. ■ または停止
   録音を終了します。

音声を再生する

1. スタート ＞ プログラム ＞ ボイスレコーダー
2. 対象の音声ファイルを選択または ▶
   録音されている内容が再生されます。

■一時停止する場合

＞ ❚❚ または一時停止

■巻戻し／早送りする場合

＞ ⏮ ／ ⏭

■途中で停止する場合

＞ 停止

ボイスレコーダー画面の見かた

ボイスレコーダーのメニュー

ボイスレコーダーでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
名前の変更／移動	音声ファイルの名前変更、移動、保存場所を設定します。 ・メインメモリに保存している音声ファイルには「◉」のアイコンが表示されます。 ・内部ストレージに保存している音声ファイルには「◉」のアイコンが表示されます。
削除	音声ファイルを削除します。
コピー作成	音声ファイルをコピーします。
すべて選択	すべての音声ファイルを選択します。
送信	音声ファイルを利用してインターネットメールを送信します（P.5-21）。

項目	説明
ファイルをビームする	音声ファイルをBluetooth®通信で送信します。
S!メール送信	音声ファイルをS!メールで送信します（P.5-4）。
着信音に設定	音声ファイルを着信音に設定します。
バージョン情報	ボイスレコーダーのバージョン情報を確認します。

録音中に自動的に音量調整する

音声録音中に自動的に音量を調整するかどうかを設定します。

1. スタート ＞ 設定 ＞ システムタブ ＞ マイクロフォンAGC
2. 有効または無効 ＞ ok

名刺リーダー

名刺リーダーはカメラで撮影した名刺の画像から文字を読み取り、読み取った文字をそのまま連絡先に登録できるプログラムです。

名刺リーダーをインストールする

- あらかじめ本機とパソコン側でActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターの設定を行っておく必要があります（P.7-3、P.7-10）。
- あらかじめPCへのUSB接続を「ActiveSync（Outlookと同期）」に設定しておきます。「接続時に接続タイプを確認する」にチェックを付けている場合は、パソコンとの接続時に接続タイプを設定することができます（P.14-5）。
- あらかじめパソコンのDVD／CD-ROMドライブにアプリケーションソフトのCD-ROMをセットしておいてください。

1. **付属のUSBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続する**
2. **パソコン側でCD-ROMを開き、「WorldCard_Mobile.exe」を選択**
3. **画面の指示に従って、インストールを行う**

名刺リーダーを起動する

1. スタート ＞ プログラム ＞ WorldCard Mobile

   名刺リーダーが起動します。
   名刺リーダーの詳細については、名刺リーダーの取扱説明書を参照してください。

QuickMark

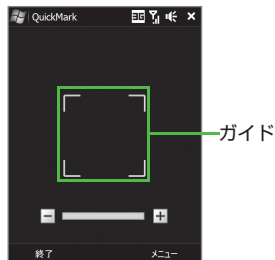
QuickMarkはカメラでQRコードを読み取り、読み取った情報から電話をかけたり、メールを送信したりできるプログラムです。

QRコードを読み取る

1. スタート > プログラム > QuickMark

   読み取り画面が表示されます。

2. ガイドにQRコードを合わせる

   QRコードが自動的に読み取られ、読み取り結果画面が表示されます。

■QRコードがガイドに収まらない場合

[+]／[−]をタップして、QRコードの大きさを調整します。

3. メニュー > 記録リストに保存 > ok

   読み取った情報が保存されます。

■読み取った情報から電話をかける場合

> 電話番号を選択 > ダイヤル

■読み取った情報からインターネットメールを作成する場合

> メールアドレスを選択 > 送信

■読み取った情報をお気に入りに追加する場合

> 件名を選択 > お気に入りに追加 > 確認 > OK > ok

■読み取った情報からWebに接続する場合

> URLを選択 > ナビゲート

■読み取った情報をインターネットメールの本文に挿入して送信する場合

> メニュー > 電子メールで送信

保存した情報を確認する

1. スタート > プログラム > QuickMark

2. メニュー > 記録リスト

   保存した情報の一覧画面が表示されます。

■保存した情報を利用する場合

> 対象の情報を選択 > メニュー > 利用履歴

QuickMarkのメニュー

QuickMarkでは、メニューをタップすることにより、以下の機能を利用できます。

■読み取り画面

項目	説明
アプリについて	QuickMarkの情報を確認します。
ヘルプ	QuickMarkのヘルプを表示します。
記録リスト	保存した情報の一覧画面を表示します。
設定	音声データの復号、ガイドの表示、読み取った情報の自動保存を行うかどうかや、使用するブラウザ、認識するバーコードの種類を設定します。

■読み取り結果画面

項目	説明
お気に入りに追加	読み取った情報がURLの場合、URLをお気に入りに追加します。
記録リストに保存	読み取った情報を保存します。
電子メールで送信	読み取った情報を本文に挿入したインターネットメールを送信します。
テキスト表示	読み取った情報をテキストとして表示します。
キャンセル	QRコードの読み取り画面に戻ります。

■保存情報一覧画面

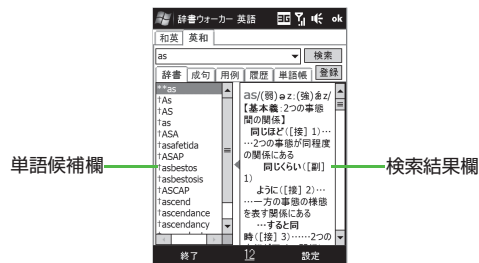
項目	説明
利用履歴	情報を利用します。
記録を削除する	情報を削除します。
全ての記録を削除する	
キャンセル	QRコードの読み取り画面に戻ります。

辞書ウォーカー英語

辞書ウォーカー英語は単語の対訳や成句、用例を調べることができる和英／英和辞典です。

辞書ウォーカー英語を利用する

1. スタート ＞ プログラム ＞ 辞書ウォーカー英語
2. 和英または英和 ＞ 辞書タブ
3. 調べたい単語を入力 ＞ 検索

   検索結果欄に単語の対訳が表示されます。
   入力した文字から予測される単語が単語候補欄に表示されます。
   単語候補欄から単語を選択することもできます。

■単語を単語帳に登録する場合

＞ 登録 ＞ ok

単語帳タブから登録した単語の対訳を表示できます。

■成句を検索する場合（英和辞書のみ）

＞ 成句タブ ＞ 単語を入力 ＞ 検索

■用例を検索する場合（用例タブ）

＞ 用例タブ ＞ 単語を入力 ＞ 検索

補足

- 履歴タブからこれまでに検索した単語の対訳を再度検索することができます。

辞書ウォーカー英語のメニュー

辞書ウォーカー英語では、設定をタップすることにより、以下の機能を利用できます。

項目	説明
ヘルプ	辞書ウォーカー英語のヘルプを表示します。
履歴の消去	履歴タブの履歴を消去します。
辞書レベル	英和辞書の検索レベルをすべて／重要語／最重要語から選択します。
大きいフォント	チェックを付けると、文字が大きく表示されます。
バージョン情報	辞書ウォーカー英語のバージョンを確認します。
左画面を隠す	辞書タブ／履歴タブ／単語帳タブ表示時にチェックを付けると、画面の左側の部分を隠します。

電卓として使う

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算などを行うことができます。

1. スタート ＞ プログラム ＞ 電卓

■例：「23＋57」を計算する場合

＞ 2 ＞ 3 ＞ ＋ ＞ 5 ＞ 7 ＞ ＝

電卓の機能

電卓では四則演算以外に以下の機能を利用できます。

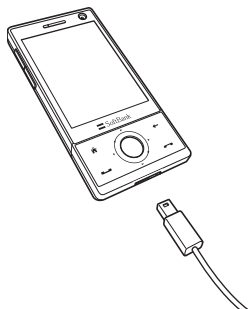
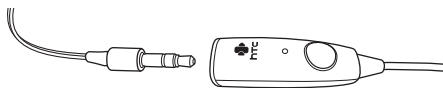
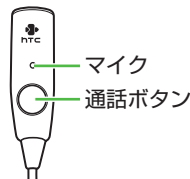
項目	説明
1/x	表示中の数値の逆数（x≠0）を表示します。
%	表示中の数値のパーセンテージを表示します。
√	表示中の数値のルート（平方根）を表示します。
+/-	表示中の数値を＋（プラス）／－（マイナス）に切り替えます。
C	表示中の数値を消去します。
MC	メモリに記憶されている数値を消去します。
MR	メモリに記憶されている数値を表示します。
M+	表示中の数値をメモリに加算します。

補足

- 数値の表示中にメモリ操作切替部分をタップすると、Mが表示され、メモリ操作が有効になります。
  Mをタップすると、表示中の数値がメモリに記憶されます。
  数値が「0」のときにメモリ操作切替部分をタップすると、Mが消え、メモリ操作が無効になります。

マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを使用する

マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルを取り付ける

1. 外部接続端子にマイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの接続コネクタを水平に差し込む

2. マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの3.5mmステレオミニジャックにイヤホンのプラグを水平に差し込む

マイク付ステレオイヤホン変換ケーブルの操作について

機能	操作
電話に出る	着信中に通話ボタンを押します。
電話を切る	通話中に通話ボタンを1秒以上押します。
保留	通話中に通話ボタンを押します。
リダイヤル	通話ボタンをすばやく2回押すと、直前にかけた番号にダイヤルします。
スピードダイヤル	通話ボタンを1秒以上押すと、音声で電話をかけることができます（スピードダイヤルにボイスタグと電話番号を登録しておく必要があります（P.2-6））。

付録

機能一覧

スタートメニュー

項目	サブ項目	参照先
Today		P.1-11
Office Mobile	Excel Mobile	P.8-4
	OneNote® Mobile	P.8-7
	PowerPoint® Mobile	P.8-6
	Word Mobile	P.8-2
Internet Explorer®		P.6-2
予定表		P.4-7
連絡先		P.4-2
オーナー情報		P.14-3
Outlook		P.5-19
プログラム	ゲーム	P.12-12
	ActiveSync	P.7-3
	Adobe Reader LE	P.8-8
	Comm Manager	P.9-2
	FM Radio	P.12-10
	Messenger	P.6-10
	MP3 Trimmer	P.16-2

項目	サブ項目	参照先
プログラム	NAVITIME	P.16-4
	Opera Browser	P.6-5
	QuickMark	P.16-7
	RSS Hub	P.6-13
	SIMマネージャ	P.2-2、P.4-6
	SoftBankメール	P.5-4
	Windows Live™	P.6-9
	Windows Media® Player Mobile	P.12-2
	YouTube	P.12-8
	ZIP	P.8-9
	アルバム	P.15-8
	オーディオブースター	P.12-11
	お使いになる前に	P.1-20
	カメラ	P.11-2
	クイックGPS	P.16-3
	ファイルエクスプローラ	P.10-2
	ボイスレコーダー	P.16-5
	ボイス短縮ダイヤル	P.14-9
	メモ	P.4-12
	リモートデスクトップモバイル	P.9-8

項目	サブ項目	参照先
プログラム	英語で反義GO!	P.12-14
	画像とビデオ	P.11-10
	検索	P.10-7
	仕事	P.4-10
	辞書ウォーカー英語	P.16-9
	電卓	P.16-10
	電話	P.2-3
設定		P.17-4
ヘルプ		—

補足

- スタートメニューとプログラムに表示する項目は変更することができます（P.14-10）。

設定

■個人用

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">サブ項目</th><th>初期値</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="4">Today</td><td rowspan="2">デザイン</td><td>デバイスのテーマを選択</td><td>Htc black</td><td rowspan="4">P.14-4</td></tr>
<tr><td>この画像を背景に使用する</td><td>チェックなし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アイテム</td><td>Today画面に表示する項目</td><td>TouchFLO 3D</td></tr>
<tr><td>［Today］画面の表示</td><td>4時間後</td></tr>
<tr><td rowspan="3">オーナー情報</td><td colspan="2">オーナー情報</td><td>－</td><td rowspan="3">P.2-2</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモ</td><td>－</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>デバイスの電源を入れたときに表示</td><td>チェックなし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ボイス短縮ダイヤル</td><td colspan="2">ボイスタグ</td><td>－</td><td rowspan="5">P.14-9</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">SIM</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">アプリケーション</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">バージョン情報</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ボタン</td><td colspan="2">プログラムボタン</td><td>ボイス短縮ダイヤル</td><td rowspan="3">P.14-10</td></tr>
<tr><td rowspan="2">上／下コントロール</td><td>ハイライト移動開始までの待ち時間</td><td>レベル3</td></tr>
<tr><td>ハイライトの移動速度</td><td>レベル4</td></tr>
<tr><td colspan="3">メニュー</td><td>Internet Explorer、Office Mobile、Outlook、オーナー情報、ヘルプ、予定表、連絡先</td><td>P.14-10</td></tr>
</table>

項目	サブ項目		初期値	参照先
ロック	パスワード	パスワード入力が必要になるまでの時間	チェックなし	P.13-2
	ヒント		–	
入力	入力方法		–	P.14-10
	オプション	録音形式	44,100Hz、16ビット、モノラル(86KB/s)	
		手書き入力用の既定ズーム	200%	
		入力用の既定ズーム	100%	
電話	電話	着信パターン	標準の着信音	P.14-2
		着信音	Ring-Innovation	
		キーパッド	操作音（短）	
	ネットワーク	現在のネットワーク	SoftBank	P.2-11
		ネットワークの選択	自動	
		優先するネットワーク	–	
	帯域	3G/GSM切替	3G	P.2-11
		GSM/3G帯域	Auto	
	暗証番号（PIN）／PIN2	電話使用時に暗証番号（PIN）を要求。	チェックなし	P.13-3
	その他	オート着信機能設定	チェックなし	P.14-2
		固定ダイヤル	–	
		SMSメッセージ	+819066519300	
		発着信規制パスワードを変更	–	

項目	サブ項目		初期値	参照先
電話	詳細設定	SMSメッセージで着信拒否	チェックあり	P.14-2
		通話終了後に新しい電話番号を連絡先に追加	チェックあり	
		接続が確立されたらデバイスをバイブレートする	チェックあり	
		通話接続中にスタイラスが取り出したとき、メモアプリケーションを起動する	チェックあり	
音と通知	サウンド	各種イベント（警告、システム、イベントなど）	チェックなし	P.14-3
		プログラム	チェックあり	
		画面をタップしたとき	チェックなし	
		ボタンを押したとき	チェックなし	
	通知 （電話：着信通知）	着信パターン	―	
		着信音	―	
	通知 （上記以外）	音を鳴らす	―	
		画面にメッセージを表示する	―	
		ライトの点滅時間	―	
		バイブ	―	

■システム

項目	サブ項目		初期値	参照先
TouchFLO	TouchFLO	フィンガースクロールとパンを実行時にサウンドを有効にする	チェックなし	P.14-11
		大きいスタートメニューを有効にする	チェックあり	
		ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する	チェックあり	
	バージョン情報		―	
Windows® Update			―	P.6-12
エラー報告			エラー報告を有効にする	P.14-8
カスタマフィードバック			フィードバックを送信しない	P.14-8
キーロック			電源以外のボタンをロック	P.13-2
ストレージをクリア			―	P.13-4
タスクマネージャ	実行		―	P.14-12
	例外		―	
	ボタン	“X”ボタンで実行中のプログラムを終了	チェックなし	
		Today画面でクイックメニューを有効化	チェックあり	
	その他	クイックメニューでプログラムを並べ替える	プログラムの名前	
		クイックメニューのプログラムアイコンのサイズ	大きいサイズ	

項目	サブ項目		初期値	参照先
デバイス情報	バージョン		－	P.14-8
	ハードウェア		－	
	ID		－	
	通話時間		－	
バージョン情報	バージョン		－	P.14-7
	デバイスID	デバイス名	X04HT	
		説明	－	
	著作権		－	
プログラムの削除			－	P.14-6
マイクロフォンAGC			無効	P.16-6
メモリ	メイン		－	P.14-14
	メモリカード		－	
地域	地域		日本語（日本）	P.14-7
	数値	小数点の記号	.	
		小数点以下の桁数	2	
		桁区切り記号	,	
		区切る桁数	3	
		区切り記号	,	
		負の符号	-	
		負の値の形式	-1.1	
		0の表示	0.7	
		単位	センチ	

項目	サブ項目		初期値	参照先
地域	通貨	通貨記号	¥	P.14-7
		通貨記号の位置	¤1.1	
		小数点の記号	.	
		小数点以下の桁数	0	
		桁区切り記号	,	
		区切る桁数	3	
		負の値の形式	-¤1.1	
	時刻	時刻の形式	H:mm:ss	
		区切り記号	:	
		午前の記号	午前	
		午後の記号	午後	
	日付	短い形式	yy/MM/dd	
		区切り記号	/	
		長い形式	yyyy'年'M'月'd'日'	
		カレンダーの種類	西暦（日本語）	
外付けGPS	プログラム	GPSプログラムポート	COM4	P.14-12
	ハードウェア	GPSハードウェアポート	(なし)	
		ボーレート	4800	
	アクセス	GPSを自動的に管理する(推奨)	チェックあり	
時計とアラーム	時刻		現在地	P.1-18
	アラーム		−	P.14-4

項目	サブ項目		初期値	参照先
時計とアラーム	その他	すべてのプログラムのタイトルバーに時計を表示する	チェックなし	
		デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する	チェックあり	
画面	配置		－	P.14-8
	文字サイズ		レベル4	
管理プログラム			－	P.14-12
終了ボタンの長押し	選択した動作を自動的に実行する		マナーモード／着信音に設定	P.14-11
証明書	個人		－	P.13-4
	中間		－	
	ルート		－	
電源	バッテリ	デバイスの電源が入っており、PCに接続されている時にはバッテリを充電しない	チェックなし	P.14-6
	バックライト	バッテリ使用時	レベル5	
		外部電源使用時	レベル5	
		バックライトの自動調整	チェックあり	
		デバイスロックされている間は、バックライトは常に暗くなります	チェックあり	
	詳細設定	バックライトを消灯するまでの時間	バッテリ使用時：3分 外部電源使用時：3分	
		次の時間経過後、スリープモードにする	バッテリ使用時：40秒 外部電源使用時：30分	

■接続

項目	サブ項目		初期値	参照先
Bluetooth®	デバイス		—	P.9-6
	モード	Bluetoothをオンにする	チェックなし	
	COMポート		—	
	検出タイムアウト	表示モードを切る	なし	
	プロファイル		—	
	セキュリティ	認証（パスキー）が必要です	チェックあり	
Comm Manager	フライトモード		オフ	P.9-2
	通話		オン	
	Bluetooth®		オフ	
	ワイヤレスLAN		オフ	
	Microsoft Direct Push		—	
	データ接続		—	
PCへのUSB接続	PCへのUSB接続		ActiveSync（Outlookと同期）	P.14-5
	接続時に接続タイプを確認する		チェックあり	
Wi-Fi	ワイヤレス	アクセスするネットワーク	アクセスポイントのみ	P.9-3
	ネットワークアダプタ		—	
ドメインへの登録			—	P.9-5

項目	サブ項目		初期値	参照先
ネットワーク設定	留守番電話／転送		―	P.2-14
	発着信規制		―	P.2-16
	割込通話		―	P.2-15
	発信者番号通知		―	P.2-17
	国際電話設定		―	P.2-16
ビーム	すべての着信ビームを受信する		チェックあり	P.14-5
ワイヤレスLAN	メイン		―	P.9-5
	詳細設定		―	
	パワーモード	省電力モード	最高バッテリー	
	LEAP		―	
	Enroll		―	
接続	設定		―	P.9-5
	詳細設定		―	
高度なネットワーク設定	CSDラインの種類	データレート	9600bps（v.32）	P.14-6
		接続要素	非透過モード	
	SMSサービス	SMSを使用するためのサービス	GSM優先	

天気情報の都市一覧

● 日本の都市名のみ記載しています。

県名	都市名
北海道	旭川、江別、函館、北見、釧路、室蘭、帯広、小樽、札幌、苫小牧
青森	青森、八戸、弘前
岩手	盛岡
宮城	仙台、石巻
秋田	秋田
山形	鶴岡、山形
福島	郡山
茨城	日立、水戸、境、土浦、つくば
栃木	小山、足利、宇都宮
群馬	伊勢崎、桐生、前橋、高崎
埼玉	富士見、大宮、上尾、朝霞、深谷、岩槻、春日部、川越、川口、越谷、熊谷、新座、狭山、草加、戸田、所沢、浦和
千葉	我孫子、千葉、船橋、市原、市川、鎌ヶ谷、柏、木更津、松戸、習志野、野田、八千代、流山、浦安
東京	多摩、昭島、調布、八王子、東久留米、東村山、日野、西東京、小平、小金井、国分寺、町田、武蔵野、青梅、立川、東京
神奈川	厚木、茅ヶ崎、海老名、平塚、川崎、小田原、相模原、横浜、横須賀、座間、大和

県名	都市名
新潟	上越、長岡、新潟
富山	高岡、富山
石川	金沢、小松
福井	福井
山梨	甲府
長野	長野、上田
岐阜	岐阜、各務原、大垣、多治見
静岡	清水、富士、藤枝、富士宮、浜松、三島、沼津、静岡、焼津
愛知	半田 、一宮、稲沢、刈谷、小牧、名古屋、西尾、岡崎、瀬戸、豊橋、豊川、豊田
三重	伊勢、桑名、鈴鹿、津、四日市
滋賀	草津、彦根、大津
京都	京都、宇治
大阪	大阪、池田、大東、羽曳野、東大阪、枚方、茨木、和泉、門真、河内長野、岸和田、松原、守口、寝屋川、吹田、高槻、富田林、豊中、八尾
兵庫	尼崎、姫路、伊丹、加古川、神戸、西宮、三田、宝塚
奈良	生駒、樫原、奈良
和歌山	和歌山
鳥取	鳥取、米子
島根	大田、松江
岡山	倉敷、岡山
広島	福山、東広島、広島、呉

県名	都市名
山口	防府、岩国、下関、周南、宇部、山口
徳島	徳島
香川	高松
愛媛	今治、新居浜、松山
高知	高知
福岡	北九州、久留米、大牟田、福岡
佐賀	佐賀
長崎	長崎、佐世保
熊本	熊本、八代
大分	別府、大分
宮崎	都城、宮崎、延岡
鹿児島	鹿児島
沖縄	那覇、浦添

故障かな？と思ったら

症状	確認／処置
電源が入らない	・電源ボタンを押しましたか？ ・電池切れになっていませんか？ ・電池パックは正しく本機に取り付けられていますか？（P.1-15）
電源を入れたのに操作できない	・PINコードを入力する画面が表示されていませんか？（P.13-3） PINコードを入力してください。
電源を入れたときに「SIMカードエラー」というメッセージが表示される	・USIMカードが正しく本機に取り付けられていますか？（P.1-5） ・指定された正しいUSIMカードをお使いですか？ ・USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付着していませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
操作ができない	・パスワード入力の画面が表示されていませんか？ デバイスのロック（P.13-2）が設定されているので、解除するパスワードを入力して**ロックの解除**をタップしてください。
電話がかけられない	・市外局番からダイヤルしていますか？ ・発着信規制サービスの発信制限が設定されていませんか？（P.2-16）

症状	確認／処置
電話がつながらない、メールやWebが利用できない	・「圏外」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・Comm Manager（P.9-2）で、「通話」がオフになっていませんか？ 「通話」をオンにしてください。 ・Comm Manager（P.9-2）で、「フライトモード」がオンになっていませんか？ 「フライトモード」をオフにしてください。 ・内蔵アンテナ（P.1-8）部分を手で覆っていませんか？ 内蔵アンテナ部分を手で覆わないようにして持つと、電波の受信状態が改善される場合があります。
ダイヤルしても話中音（プープー...）が鳴ってつながらない	・市外局番からダイヤルしていますか？ ・「圏外」アイコンが表示されていませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話が途切れたり、切れたりする	・「圏外」アイコンが表示されていませんか？ ・電波の届きにくい場所でかけていませんか？ ・電池切れになっていませんか？
充電中に熱くなる	・充電中、充電器が熱くなったり、長時間使用すると本機が熱くなったりすることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたままにして使用していると、低温やけどになる恐れがあります。 ・充電中に一定の温度を超えた場合は、自動的に充電を停止します。一定の温度以下に戻ると、自動的に充電を再開します。

症状	確認／処置
プログラムを起動してもそのプログラムの最初の画面が表示されない	・すでにそのプログラムを起動していませんか？ プログラムを起動している場合は、最後に動作していた状態の画面が表示されます。一度プログラムを終了させてから、再度起動させてください。
充電できない	・充電器のミニUSBプラグが本機に確実に差し込まれていますか？（P.1-16） ・ACアダプタのACプラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？（P.1-16） ・電池パックが本機に装着されていますか？ ・本機や電池パックの充電端子、充電器のミニUSBプラグ、本機の外部接続端子（USBポート）が汚れていませんか？ 端子部をきれいにしてください。 ・使用環境の温度が5℃～35℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。 新しい電池パックと交換してください。

症状	確認／処置
電池の消耗が早い	• 使用環境（周囲の温度／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。「充電時間と利用可能時間の目安」（P.1-13）、「電池パックの持ちについて」（P.1-14）を参照してください。 • ワイヤレスLANやBluetooth® の通信機能がオンになっていると、電池パックの消耗が早くなります。Comm Manager（P.9-2）で、使用していない通信機能をオフにしてください。 • Exchange Serverによるプッシュメールの受信（Microsoft Direct Push）をオンにしていると電池パックの消耗が早くなります。プッシュメールの受信のオン／オフについては、P.9-2を参照してください。
Bluetooth® 対応機器から検出されない	• Comm ManagerでBluetooth® の通信機能がオフになっていませんか？ Bluetooth® の接続設定についてはP.9-6を参照してください。
ワイヤレスLAN（無線LAN）に接続できない	• Comm ManagerでワイヤレスLANの通信機能がオフになっていませんか？ ワイヤレスLANの接続設定についてはP.9-3を参照してください。
パソコンと接続してもデータの同期やファイルのやりとりができない	• 付属のActiveSync、Windows Mobile® デバイスセンターをパソコンにインストールしましたか？ データの同期についてはP.7-1を参照してください。
動作が不安定	• 複数のプログラムを同時に起動している場合など、メモリの空き容量が不足すると、本機の動作が不安定になる場合があります。

こんなときはご使用になれません

「圏外」が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所に移動してください。
本機がロックされているとき	誤操作防止のため本機がロックされています。ロックを解除しないと操作することはできません。ただし、ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
Comm Managerで通話がオフ、またはフライトモードがオンのとき	Comm Manager（P.9-2）で「通話」がオフになっていると電話をかけることができません。また「フライトモード」がオンになっていると、すべての電波の発信が制限されます。
電池残量不足のとき	電池残量がなくなっています。電池パックを充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。

ローマ字入力表

■五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA(CA)	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI(SHI)	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI(CHI)	つ　TU(TSU)	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU(FU)	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N（NN）				

※ローマ字入力はキーボードでのみ利用できます。

■濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PI	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

■拗音１（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA（SHA）	しゅ　SYU（SHU）	しょ　SYO（SHO）
ちゃ　TYA（CHA）	ちゅ　TYU（CHU）	ちょ　TYO（CHO）
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA（JA）	じゅ　ZYU（JU）	じょ　ZYO（JO）
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

■拗音２（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

■拗音３（その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

■小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA	ゅ　LYU	ょ　LYO	っ　LTU	

■「ん」の入力

・通常は「N」を入力
・「ん」の次に母音（A, I, U, E, O）またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例：
KANSEI － かんせい
TANNI　－　たんい
KONNYAKU　－　こんやく

■「っ」の入力

・子音を２回連続して入力（NとYを除く）

例：
SAKKA　－　さっか
HASSINN　－　はっしん

記号／絵文字一覧

記号一覧

■全角記号

	、	。	，	．	・	：	；	？	！
゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ
ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒
≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ
Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ
λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ
φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш
Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л
м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х
ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴
┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫
┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥
┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍
℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾
㍽	㍼	∮	∑	∟	⊿				

■半角記号

<table>
<tr><td> </td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td></tr>
<tr><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td></tr>
<tr><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td><td>`</td><td>{</td></tr>
<tr><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

絵文字一覧

※ ＊が付いている絵文字は動く絵文字です。

※ 絵文字はSMS、S!メールでのみ使用できます。メモなど絵文字非対応の機能では、絵文字は表示されません。また、絵文字非対応ソフトバンク携帯電話では、絵文字は表示されません。

ActiveSyncの動作環境(パソコン)

本機をパソコンと接続してデータを同期するためには、パソコンにMicrosoft® ActiveSync®プログラムがインストールされている必要があります。
ActiveSyncは「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

Windows® XP Service Pack 1および2
Windows® XP Tablet PC Edition
Windows® XP Media Center Edition
Windows® XP Professional x64 Edition
Windows® 2000 Service Pack 4
Windows® Server 2003 Service Pack 1
Windows® Server 2003 Service Pack 1 for Itanium-powered Systems
Windows® Server 2003 Standard x64 Edition

アプリケーション

データの同期(電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り)
Microsoft® Office XP/Microsoft® Outlook® XP
Microsoft® Office 2003/Microsoft® Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® 2007
Microsoft® Internet Explorer® 6.0以降
Microsoft® Systems Management Server 2.0

Windows Mobile®デバイスセンターの動作環境(パソコン)

本機とWindows Vista搭載のパソコンと接続してデータを同期するには、Windows Mobile®デバイスセンターを利用します。
Windows Mobile®デバイスセンターは「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。

オペレーティングシステム

Windows Vista® Ultimate
Windows Vista® Enterprise
Windows Vista® Business
Windows Vista® Home Premium
Windows Vista® Home Basic

アプリケーション

データの同期(電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り)
Microsoft® Office XP/Microsoft Outlook® XP
Microsoft® Office 2003/Microsoft Outlook® 2003
Microsoft® Outlook® 2007
Internet Explorer® 7

仕様

システム情報

プロセッサ	Qualcomm MSM7201A 528MHz
メモリ	- ROM：256 Mバイト - RAM：192 Mバイト - 内部ストレージ：4Gバイト
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows Mobile® 6.1 professional

電源

電池パック	リチウムイオンポリマー電池、900 mAh
充電時間	ACアダプタ使用時：約180分 パソコンとのUSB接続時：約300分
連続待受時間	3Gモードの場合：約430時間 GSMモードの場合：約290時間
連続通話時間	3Gモードの場合：約90分 GSMモードの場合：約190分
メディア再生	約370分（WMV）：約580分（WMA）
電源電圧	ACアダプタ：入力AC100-240V、出力DC5V シガーライター充電器：入力DC12／24V、出力DC5V

ディスプレイ

LCD	2.8"カラー透過型TFT LCD （バックライトLED付き）
解像度	640×480（65,536色）

W-CDMA／GSM／EDGEモジュール

通信方式および帯域	• W-CDMA、HSDPA（3Gハイスピード） - 900MHz／2100MHz • GSM／GPRS／EDGE - 900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

外装

寸法	51mm(W) × 102mm(H) × 11.35mm(D)
質量	110g（電池パックを含む）

カメラ

タイプ	メインカメラ：320万画素カラーCMOS カメラ インカメラ：31万画素カラー CMOSカメラ
解像度	2048×1536（QVGA）、1600×1200 (UXGA)、1280×960 (SXGA)、640×480 (VGA)、320×240 (QVGA)
デジタルズーム	最大4倍

オーディオ／ビデオ

オーディオ	AAC+／AAC／AMR／WMA／MP3／MIDI
ビデオ	WMV／MPEG-4／H.263／H.264／M-JPEG

外部接続

ミニUSB	USB 2.0、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth®	Bluetooth® 標準規格Ver. 2.0＋EDR準拠 Power Class 2 GAP（汎用アクセスプロファイル） SDP（サービスディスカバリーアプリケーションプロファイル） SPP（シリアルポートプロファイル） HSP（ヘッドセットプロファイル） HID（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル） OPP（オブジェクトプッシュプロファイル） HFP（ハンズフリープロファイル） GOEP（汎用オブジェクト交換プロファイル） A2DP（オーディオプロファイル） AVRCP（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル） BPP（基本印刷プロファイル） PBAP（フォンブックアクセスプログラム）
ワイヤレスLAN	IEEE 802.11b/g

ACアダプタ

電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
出力電圧／出力電流	5V／1A
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ	42mm(W) × 77mm(H) × 22mm(D)

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター

総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
＋81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

地域	内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	フリーコール 0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	フリーコール 0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	フリーコール 0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	フリーコール 0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-250-113（無料）

索引

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

り

る

れ

ろ

わ

A

B

C

E

F

H

I

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

W

Y

Z

SoftBank X04HT取扱説明書

2008年11月　第1版

ソフトバンクモバイル株式会社

※ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank X04HT
製造元：HTC Corporation

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※　回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※　プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（連絡先、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。